世界のあしたが見えるまち。
TSUKUBA

つくば市
学校等適正配置計画・指針

令和 7 年(2025 年) 3 月

〔対象期間〕

令和 6 年度（2024 年度）から

令和 25 年度（2043 年度）まで

これからのやさしさのものさし
つくばSDGs

目　　次

１章　つくば市学校等適正配置計画・指針について　・・・・・・・・　１
１．計画の目的・意義
２．計画の位置づけ
３．計画期間

２章　つくば市及びつくば市の学校等の現況について　・・・・・・・　４
１．つくば市の概要
２．つくば市の人口、世帯数及び児童生徒数
３．学区等の状況

３章　計画見直しに当たって考慮すべき事項　・・・・・・・・・・　14
１．つくば市が目指す教育
２．人口の動向
３．国等で示されている基準
４．地域の実情に応じた学校等の配置
５．近年の新設校建設の状況
６．大規模校・小規模校それぞれの良さを生かす取り組み
７．つくば市学校施設長寿命化計画との連携・整合
８．公立幼稚園への市民ニーズとその対応

４章　今期学校等適正配置計画・指針における基本的な考え方　・　17
１．学校等の標準規模
２．標準の通学距離
３．地域特性やニーズへの配慮及び地域の合意形成

５章　学校別の将来推計　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　19
１．構成と概要
２．児童・生徒数推計の方法
３．小学校区の将来推計
４．中学校区の将来推計
５．義務教育学校区の将来推計

６章　学校別の配置方針　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　66
１．配置方針の検討手順
２．小学校の配置方針
３．中学校の配置方針
４．義務教育学校の配置方針

１章　つくば市学校等適正配置計画・指針について

１．計画の目的・意義

本計画は、つくば市が目指す教育を実現する基礎的インフラストラクチュアである、幼稚園・小学校・中学校・義務教育学校（以下、学校等という）の配置について、中長期的な指針を示すことを目的としています。

また、その中長期的な指針を示すため、つくば市における学校等の適正な配置に関する考え方を示すとともに、幼児・児童・生徒数の推計を行い、学校等の将来的な状況の把握を行います。

中長期的な指針を示すことには、次のような意義があります。

- 今後のつくば市の学校等の状況や教育行政の展開について見通しが持て、中長期的に目標と施策を設定することができます。
- 市民に、将来直面するであろう課題を予め示すことで、課題解決への協力を得ることができます。

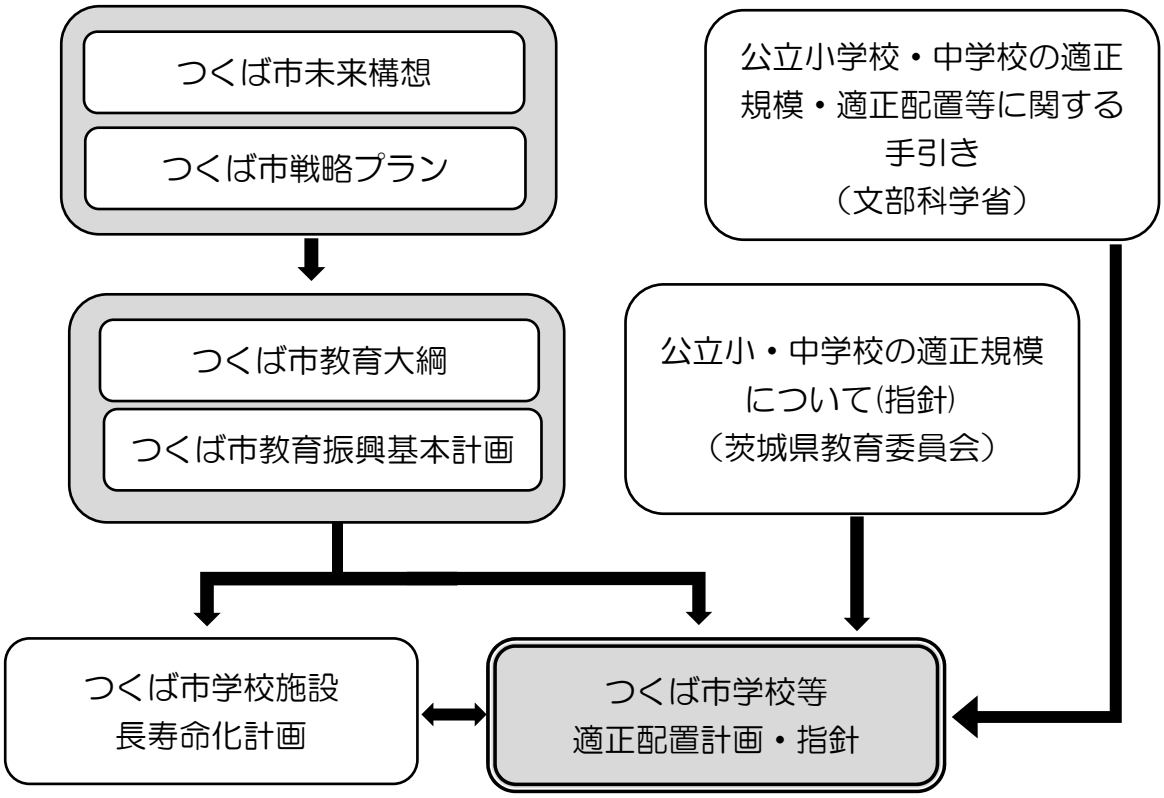
2．計画の位置づけ

本計画は、本市のまちづくりの基本理念や目指すまちの姿を示した「つくば市未来構想」及びその実現のための「つくば市戦略プラン」並びに本市の教育の根幹となる「つくば市教育大綱」及びその実現のための「つくば市教育振興基本計画」を上位計画としています。

つくば市未来構想における「つながりを力に未来をつくる」というまちづくりの理念と、つくば市教育大綱における「一人ひとりが幸せな人生を送ること」という本市の教育における最上位の目標に基づき、学校等の適正配置に関する中長期的な指針を示します。

また、本計画は「つくば市学校施設長寿命化計画」と密接に関わり、相互に連携・整合を図っていくこととしています。

なお、本計画の策定においては、文部科学省で策定された「公立小学校・中学校の適正規模・適正配置等に関する手引き」及び茨城県教育委員会で策定された「公立小・中学校の適正規模について(指針)」を参考にしています。



３．計画期間

本計画の計画期間は、令和６年度(2024 年度)から令和 25 年度(2043 年度)までとします。本計画の児童生徒数等の推計は現在のつくば市の関連するデータをもとに行っており、今後様々な社会的な要因等の変化によってつくば市の様相が移り変わり、児童生徒数等も本計画推計との相違が生じてくることが予想されます。そのため、計画に柔軟性を持たせるとともに、５年ごとに状況の変化に応じた計画の見直しを行っていきます。

２章　つくば市及びつくば市の学校等の現況について

１．つくば市の概要

つくば市は、1987 年 11 月 30 日、筑波研究学園都市を構成する６市町村のうち筑波郡大穂町・豊里町・谷田部町・新治郡桜村の３町１村が合併して誕生しました。1987 年当時の公立学校数は、幼稚園 15 園、小学校 31 校、中学校 10 校でした。

その後、翌年１月 31 日に筑波郡筑波町、2002 年 11 月１日に稲敷郡茎崎町が加わり、現在は、面積 283.72 平方キロメートルの中に幼稚園 15 園、小学校 32 校、中学校 14 校、義務教育学校４校が配置されています。

また、市内では、つくばエクスプレスの沿線開発、公務員宿舎跡地等の開発など、新たな都市基盤の整備が進められています。

２．つくば市の人口、世帯数及び児童生徒数

本市の人口は 257,756 人（2024 年５月１日現在）で、 県内では水戸市に次いで第２位となっています。筑波研究学園都市として、人口構成は他の同規模の都市とは大きく異なっており、世帯数の多さや生産年齢人口割合の高さが特徴です。

つくばエクスプレス開業に伴う沿線開発により、市内全体として今後 10 年程度に渡っては、更に人口が増加していくことが見込まれています。

■つくば市人口及び児童生徒数等の推移

（各年５月１日現在：常住人口及び学校基本調査結果）

	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年
人　口	222,416	229,084	232,085	235,709	239,397	243,246	245,376	249,973	254,669	257,756
世帯数（戸）	93,760	99,519	101,569	103,801	106,425	108,235	113,367	116,313	119,900	122,372
園児数	1,004	925	924	893	836	749	623	554	554	510
児童数	13,458	13,831	14,101	14,511	14,801	15,098	15,445	15,758	16,016	16,260
生徒数	5,807	5,847	5,894	5,864	5,900	6,145	6,392	6,608	6,586	6,621

３．学区等の状況

（1）学区と通学距離圏

小学校、中学校、義務教育学校の学区及び幼稚園の園区は、現在、次の図表のとおりとなっています。また、義務教育諸学校等の施設費の国庫負担等に関する法律施行令（第４条）において示されている法定通学距離（小学校おおむね４㎞圏・中学校おおむね６㎞圏）を図の一部に示します。

① 通学区域表

中学校名	小学校名	通学区域
大穂中学校	大曽根小学校	大曽根　玉取　若森　佐　蓮沼　花畑一丁目　花畑二丁目　花畑三丁目　大穂　立原　鹿島台　篠崎(市道 2―2185 号、2―2180 号及び 2―2258 号以東の区域に限る。)　筑穂一丁目　筑穂二丁目　筑穂三丁目
	前野小学校	前野　篠崎(市道2―2185号、2―2180号及び2―2258号以東の区域を除く。)　長高野　北原
	要小学校	要　南原　西沢　本沢　北郷　西原
	吉沼小学校	吉沼　西高野　大砂　五人受　大久保
豊里中学校	沼崎小学校	沼崎　酒丸　東光台一丁目　東光台二丁目　東光台三丁目　東光台四丁目　東光台五丁目　土田　高野　遠東　旭　百家　豊里の杜一丁目　豊里の杜二丁目　中東
	今鹿島小学校	今鹿島　上里
	上郷小学校	上郷　木俣　野畑　手子生　田倉　緑ケ原一丁目　緑ケ原二丁目　緑ケ原三丁目　緑ケ原四丁目
谷田部中学校	谷田部小学校	谷田部(常磐自動車道以南の区域を除く。)　羽成　小白硲　観音台一丁目　観音台二丁目　観音台三丁目　台町一丁目　台町二丁目　台町三丁目　上横場　今泉　藤本
	柳橋小学校	平　大白硲　柳橋　新井　山中　御幸が丘　大わし　八幡台
高山中学校	真瀬小学校	真瀬　鍋沼新田　高須賀　高良田
	島名小学校	島名　中別府　下別府　上河原崎　鬼ケ窪　高田　面野井(県道土浦坂東線より南側の区域に限る。)　下河原崎
	香取台小学校	島名香取台　島名諏訪　水堀
手代木中学校	葛城小学校	葛城根崎　苅間(研究学園駅東交差点から春日一丁目西交差点へ向かう県道取手つくば線より北側の区域を除く。)　原　西大橋　西岡　小野崎(松代交差点から学園西交差点へ向かう国道 408 号線より北側の区域に限る。)　島　学園南二丁目　学園南三丁目　研究学園七丁目(3 番地から 14 番地までに限る。)
	手代木南小学校	手代木　西大沼　松代四丁目　松代五丁目　東新井(1 番地から 12 番地まで)　小野崎(松代交差点から学園西交差点へ向かう国道 408 号線より北側の区域を除く。)
	松代小学校	松代一丁目　松代二丁目　松代三丁目　西郷

中学校名	小学校名	通学区域
谷田部東中学校	小野川小学校	中内　館野　榎戸　北中妻　赤塚　下原　梶内　南中妻　下横場　稲岡　北中島　市之台　新牧田　高野台一丁目　高野台二丁目　高野台三丁目　鷹野原
	二の宮小学校	小野川　二の宮一丁目　二の宮二丁目　二の宮三丁目　二の宮四丁目　上原　松野木　長峰
	東小学校	東一丁目　東二丁目　稲荷前　梅園一丁目　梅園二丁目
桜中学校	栄小学校	上境　中根　栄　松栄　松塚　横町　大　金田　古来　吉瀬　さくらの森
	九重小学校	上ノ室　花室(花園以西の区域を除く。)　妻木　東岡　柴崎(小太郎団地を除く。)　流星台
	栗原小学校	上野　栗原　柴崎(小太郎団地に限る。)　桜一丁目　桜二丁目　桜三丁目　春風台
並木中学校	桜南小学校	上広岡　下広岡　大角豆(下大角豆及び大角豆南部に限る。)　並木三丁目(8 番地から 26 番地まで)　並木四丁目(5 番地から 17 番地まで)
	並木小学校	並木一丁目　並木二丁目　並木三丁目(1 番地から 7 番地まで)　並木四丁目(1 番地から 4 番地まで)　大角豆(下大角豆及び大角豆南部を除く。)
竹園東中学校	竹園東小学校	竹園三丁目　千現一丁目(3 番地から 10 番地まで)　倉掛　吾妻四丁目　花園　花室(花園以西の区域に限る。)
	竹園西小学校	竹園一丁目　竹園二丁目　千現一丁目(1 番地及び 2 番地並びに 11 番地から 23 番地まで)　千現二丁目　東新井(13 番地から 38 番地まで)
吾妻中学校	吾妻小学校	吾妻一丁目　吾妻二丁目　吾妻三丁目　天久保一丁目　天久保二丁目　天久保三丁目　天久保四丁目　天王台一丁目　天王台二丁目　天王台三丁目
高崎中学校	茎崎第一小学校	若栗　中山　菅間　樋の沢　大井　西大井　池向　高崎　稲荷原　天宝喜　明神　牧園　城山　高見原　若葉
茎崎中学校	茎崎第二小学校	下岩崎　細見　小山　自由ヶ丘　梅ヶ丘　茎崎　上岩崎　大舟戸　駒込　あしび野　富士見台　泊崎
	茎崎第三小学校	小茎　六斗　九万坪　房内　宝陽台　桜が丘　森の里
研究学園中学校	研究学園小学校	研究学園一丁目　研究学園二丁目　研究学園三丁目　研究学園五丁目(1 番地から 18 番地までに限る。)　学園南一丁目　中東原新田　面野井(県道土浦坂東線より北側の区域に限る。)

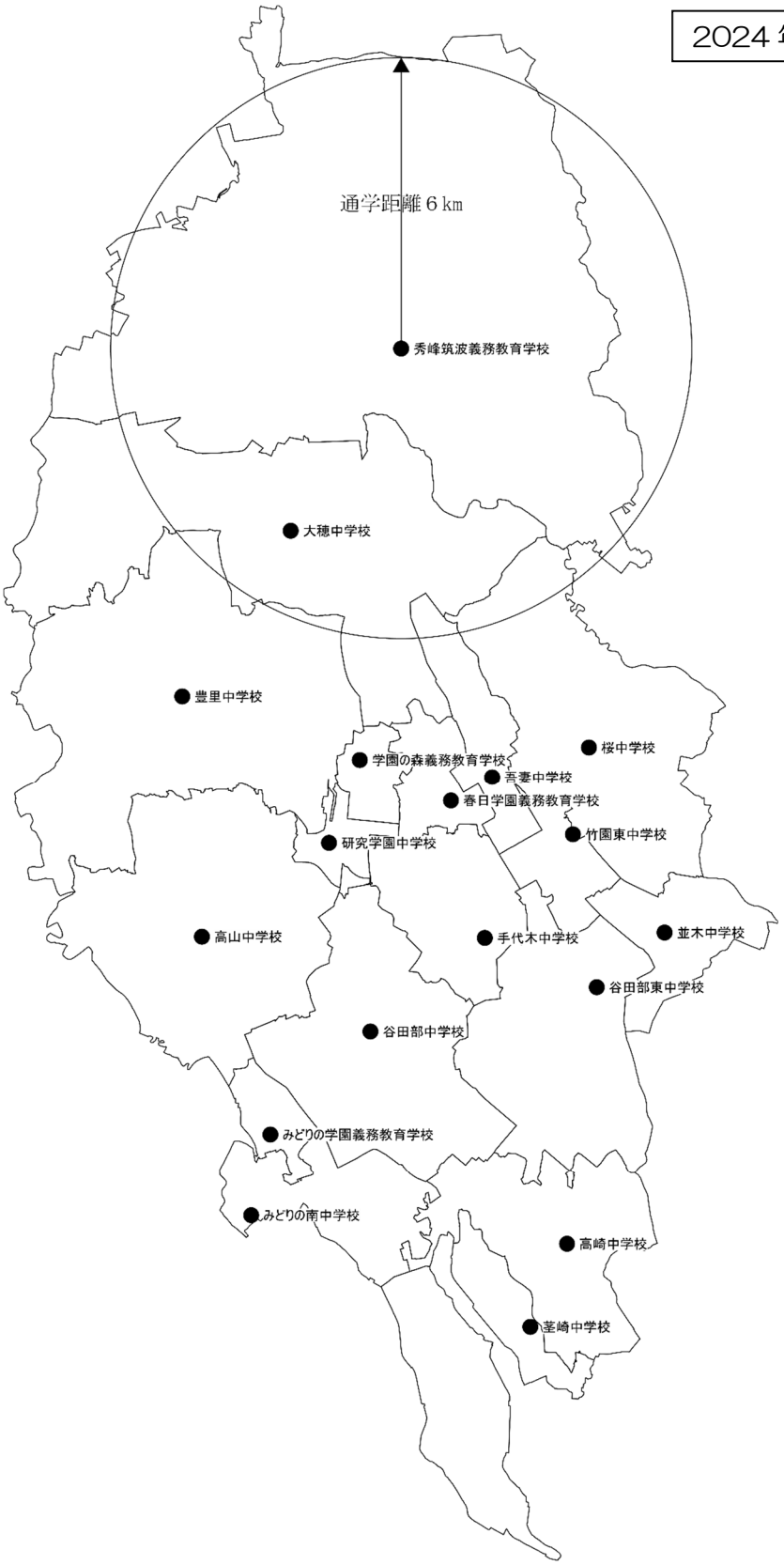
中学校名	小学校名	通学区域
みどりの南中学校	谷田部南小学校	谷田部(常磐自動車道以南の区域に限る。) 境田 境松 古館 緑が丘 東丸山
	みどりの南小学校	飯田 中野 片田 西栗山 みどりの南 みどりの東 根崎
春日学園義務教育学校		西平塚 東平塚(学園の森二丁目以西の区域を除く。) 下平塚 春日一丁目 春日二丁目 春日三丁目 春日四丁目 学園の森三丁目(14 番地から 31 番地までに限る。) 研究学園六丁目 研究学園七丁目(3 番地から 14 番地までを除く。) 苅間(研究学園駅東交差点から春日一丁目西交差点へ向かう県道取手つくば線より北側の区域に限る。)
秀峰筑波義務教育学校		田中 水守 山木 和台 上沢 田水山 沼田 国松 上大島 筑波 神郡 臼井 小沢 杉木 漆所 大貫 北条 君島 泉 小泉 山口 平沢 小田 北太田 小和田 大形 下大島 作谷 安食 寺具 明石 中菅間 上菅間 洞下 池田 高野原新田 磯部
学園の森義務教育学校		東平塚(学園の森二丁目以西の区域に限る。) 学園の森一丁目 学園の森二丁目 学園の森三丁目(1 番地から 13 番地まで及び 32 番地から 50 番地までに限る。) 研究学園四丁目 研究学園五丁目(19 番地以降に限る。)
みどりの学園義務教育学校		上萱丸 下萱丸 花島新田 みどりの一丁目 みどりの二丁目 みどりの中央

② 小学校区図

2024 年５月現在
通学距離４km
秀峰筑波義務教育学校
吉沼小学校
前野小学校
大曽根小学校
今鹿島小学校
栗原小学校
沼崎小学校
要小学校
栄小学校
上郷小学校
学園の森義務教育学校
春日学園義務教育学校
吾妻小学校
九重小学校
研究学園小学校
竹園東小学校
葛城小学校
竹園西小学校
島名小学校
松代小学校
並木小学校
手代木南小学校
桜南小学校
香取台小学校
真瀬小学校
柳橋小学校
二の宮小学校
東小学校
小野川小学校
谷田部小学校
みどりの学園義務教育学校
みどりの南小学校
谷田部南小学校
茎崎第一小学校
茎崎第三小学校
茎崎第二小学校

③　中学校区図

2024 年５月現在



④　市内学園一覧

つくば市では、小学校及び中学校を合わせた小中一貫型小学校・中学校の名称を、学園名として次表のとおり定めています。

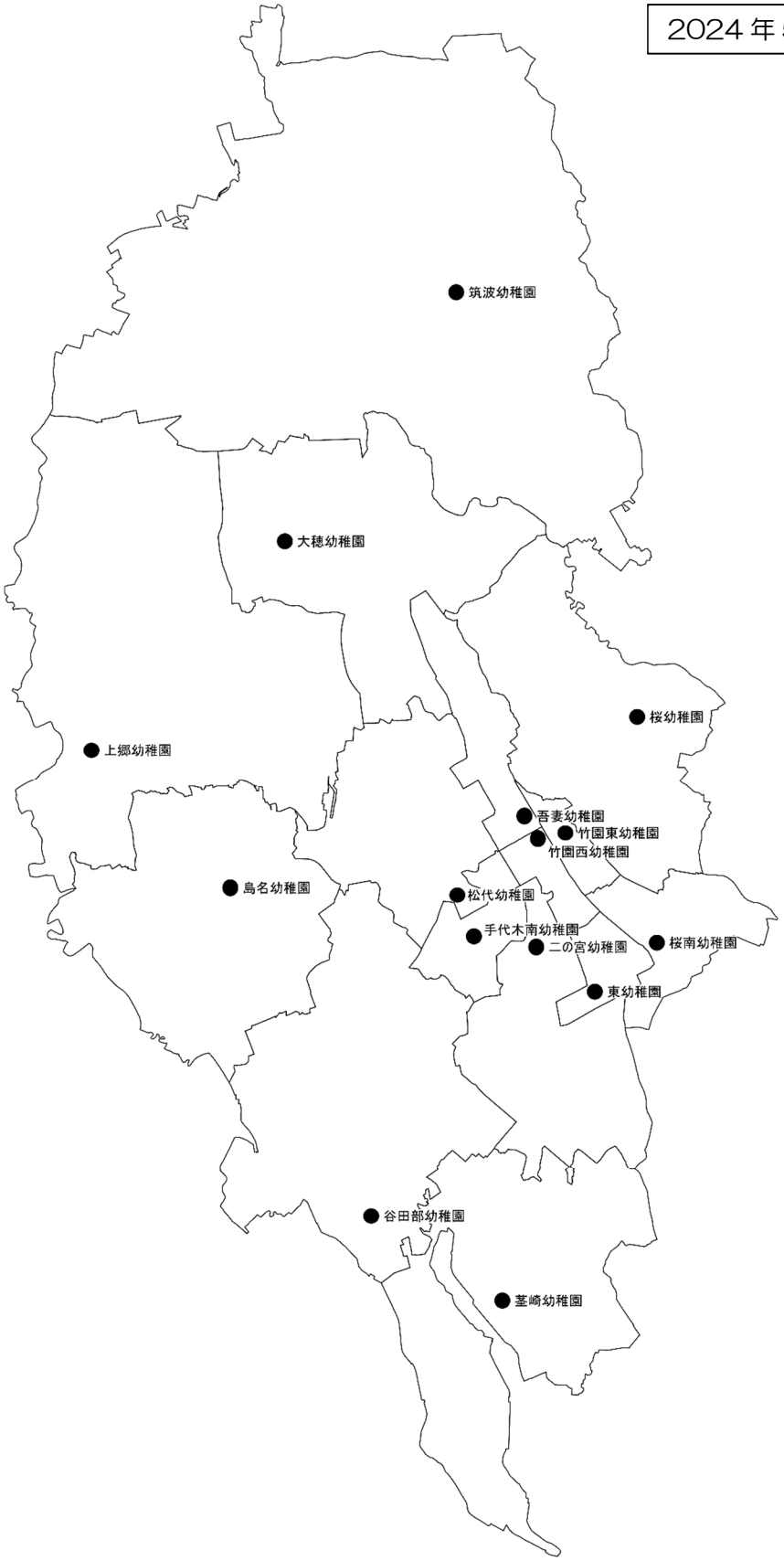
学園名	学校名
大穂学園	大穂中、大曽根小、前野小、要小、吉沼小
豊里学園	豊里中、沼崎小、今鹿島小、上郷小
輝翔学園	谷田部中、谷田部小、柳橋小
高山学園	高山中、真瀬小、島名小、香取台小
光輝学園	手代木中、葛城小、手代木南小、松代小
洞峰学園	谷田部東中、小野川小、二の宮小、東小
桜学園	桜中、栄小、九重小、栗原小
竹園学園	竹園東中、竹園東小、竹園西小
桜並木学園	並木中、桜南小、並木小
吾妻学園	吾妻中、吾妻小
茎崎学園	茎崎中、茎崎第二小、茎崎第三小
高崎学園	高崎中、茎崎第一小
虹色（ないろ）学園	研究学園中、研究学園小
翠輝（すいき）学園	みどりの南中、谷田部南小、みどりの南小
春日学園（施設一体型）	春日学園義務教育
秀峰筑波（施設一体型）	秀峰筑波義務教育
学園の森（施設一体型）	学園の森義務教育
みどりの学園（施設一体型）	みどりの学園義務教育

⑤　幼稚園園区

幼稚園名	通園区域	
大穂幼稚園	大曽根小学校、前野小学校及び要小学校の通学区域	
上郷幼稚園	吉沼小学校、沼崎小学校、今鹿島小学校及び上郷小学校の通学区域	
谷田部幼稚園	谷田部小学校、谷田部南小学校、柳橋小学校、みどりの学園義務教育学校及びみどりの南小学校の通学区域	
島名幼稚園	真瀬小学校、島名小学校及び香取台小学校の通学区域	
手代木南幼稚園	３歳児及び３歳児から入園している者	手代木南小学校、松代小学校及び葛城小学校の通学区域
	上記以外の者	手代木南小学校の通学区域
二の宮幼稚園	小野川小学校及び二の宮小学校の通学区域	
桜幼稚園	栄小学校、九重小学校及び栗原小学校の通学区域	
竹園東幼稚園	竹園東小学校の通学区域	
吾妻幼稚園	吾妻小学校の通学区域	
桜南幼稚園	桜南小学校及び並木小学校の通学区域	
竹園西幼稚園	竹園西小学校の通学区域	
筑波幼稚園	秀峰筑波義務教育学校の通学区域	
東幼稚園	東小学校の通学区域	
松代幼稚園	葛城小学校、松代小学校、春日学園義務教育学校、学園の森義務教育学校及び研究学園小学校の通学区域	
茎崎幼稚園	茎崎第一小学校、茎崎第二小学校及び茎崎第三小学校の通学区域	

⑥　幼稚園区図

2024年５月現在



（2）指定学校変更可能区域

つくば市では、教育委員会で指定した学校より距離が近く、通学の安全性も確保できること等の理由から、指定学校変更可能区域を次表のとおり設定しています。

該当区域	指定学校		変更可能学校	
	小学校	中学校	小学校	中学校
今鹿島（前木）	今鹿島小	豊里中	沼崎小	
梅園１丁目・２丁目	東小	谷田部東中	並木小	並木中
大砂	吉沼小	大穂中	今鹿島小	豊里中
学園の森３丁目（1～13 番地、32～50 番地）	学園の森	学園の森	春日学園	春日学園
学園の森３丁目（14～31 番地）	春日学園	春日学園	学園の森	学園の森
春日１丁目	春日学園	春日学園	吾妻小	吾妻中
吉瀬（上広岡との境界線）	栄小	桜中	桜南小	並木中
高野（一本松、豊里中付近）	沼崎小	豊里中	今鹿島小	
島	葛城小	手代木中	松代小	
島名（行政区みずほ団地）	島名小	高山中	谷田部小	谷田部中
西岡（新生区会を除く）	葛城小	手代木中	松代小	
二の宮１丁目	二の宮小	谷田部東中	竹園西小	竹園東中
花室（花園以西）	竹園東小	竹園東中	九重小	桜中
花園	竹園東小	竹園東中	九重小	桜中
西栗山	みどりの南小	みどりの南中	みどりの学園 谷田部南小	みどりの学園
中野	みどりの南小	みどりの南中	みどりの学園 谷田部南小	みどりの学園
みどりの南１番地から３番地及び７番地から 12 番地	みどりの南小	みどりの南中	みどりの学園 谷田部南小	みどりの学園
みどりの南上記以外の番地	みどりの南小	みどりの南中	谷田部南小	
片田	みどりの南小	みどりの南中	谷田部南小	
飯田	みどりの南小	みどりの南中	谷田部南小	
根崎	みどりの南小	みどりの南中	谷田部南小	
みどりの東	みどりの南小	みどりの南中	谷田部南小	

３章　計画見直しに当たって考慮すべき事項

１．つくば市が目指す教育

本市では令和２年(2020 年)３月に、つくば市の教育の根幹となる『つくば市教育大綱』を策定しました。現代は、グローバル化や社会の多様化の進展、AI 等の新たな技術の発達、環境問題等の地球規模の課題等により、将来の予測が困難な時代となっています。その中で、「一人ひとりが幸せな人生を送ること」を教育の最上位の目標とし、「教え」から「学び」へ、「管理」から「自己決定」へ、「認知能力の偏重」から「非認知能力の再認識」へ、といった教育における考え方の転換を行っていくことを目指しています。

また、その目標の達成に向けて、令和３年(2021 年)３月に『第３期つくば市教育振興基本計画』を策定し、夢に向かってよりよい未来をひらく学びの実現のため、各種教育施策を推進しています。

２．人口の動向

つくば市の人口は年々増加していますが、令和 17 年(2035 年)から令和 22 年(2040 年)頃に最も多くなり、その後は減少に転じる見込みとなっています。なお、０歳から 14 歳までの年少人口については、現在がおおむねピークであり、今後減少に転じる見込みとなっています。

また、つくば駅周辺やつくばエクスプレス沿線開発地域等においては人口が増加していますが、それ以外の地域では横ばい又は減少となっており、各地区の現状に応じた対応が必要となります。

３．国等で示されている基準

学校規模については、法令上、学級数により設定されており、小学校・中学校はともに 12 学級以上 18 学級以下、義務教育学校は 18 学級以上 27 学級以下を標準としています。ただし、この標準は、地域の実態その他により特別な事情のあるときはこの限りではないという、弾力的なものとなっています※１。

また、茨城県教育委員会が示している小学校・中学校の適正規模の基準としては、小学校は 12 学級以上、中学校は９学級以上が望ましいとしています※２。

なお、文部科学省では、従来から 25 学級以上の学校を大規模校、31 学級以上の学校を過大規模校としています※３。

通学距離については、小学校ではおおむね４キロメートル以内、中学校及び義務教育学校ではおおむね６キロメートル以内という基準を、公立小・中学校の施設費の国庫負担対象として適正な規模としています※４。

※１　学校教育法施行規則第 41 条、第 79 条、第 79 条の３

※２　平成 20 年４月　茨城県教育委員会『公立小・中学校の適正規模について(指針)』から

※３　平成 27 年１月 27 日　文部科学省『公立小学校・中学校の適正規模・適正配置等に関する手引き』から

※４　義務教育諸学校の施設費の国庫負担等に関する法律施行令　第４条第１項第２号

４．地域の実情に応じた学校等の配置

市内には幼稚園 15 園、小学校 32 校、中学校 14 校、義務教育学校４校があります。これらは教育のための施設であるだけでなく、それぞれ地域コミュニティの核としての機能も有しています。

一方で、市内の学校等は合併以前の旧町村時代に建設され、現在も当時の通学区域を引き継いでいるものが多くあります。そのため、一部の地域においては必ずしも現在のつくば市の実態にあった学区となっていないこともあります。

５．近年の新設校建設の状況

本市では、主に人口が急増しているつくばエクスプレス沿線開発地区において、新設校の建設を進めてきました。

平成 24 年度(2012 年度)に春日義務教育学校(開校時は春日小学校、春日中学校)、平成 30 年度(2018 年度)に秀峰筑波義務教育学校、学園の森義務教育学校、みどりの学園義務教育学校、令和５年度(2023 年度)に香取台小学校、研究学園小学校、研究学園中学校、令和６年度(2024 年度)にみどりの南小学校、みどりの南中学校が開校しました。また、令和８年度(2026 年度)に(仮称)中根・金田台地区小学校の開校を予定しています。

６．大規模校・小規模校それぞれの良さを生かす取り組み

大規模校については、教室数の確保やインターネット環境の増設などのハード面での整備を行うとともに、教員の加配や会計年度任用職員の配置、縦割り班による清掃や行事を通した異学年交流機会の創出等を行っています。多様なバックグラウンドや様々な視点を持つ子どもたちが自然に触れ合うことができるといった大規模校の強みを発揮できるような取り組みを進めています。

小規模校については、市内の小規模校５校で、特色ある教育活動の研究を行う「小規模校プロジェクト」を実施しています。異学年交流や対話活動を盛んに行い、子ども達が人とつながることのよさを実感しながら、のびのびと学べる環境の整備や、外部人材を活用しながら、自分の興味に沿って学びを深められるような取り組みを進めています。

なお、複式学級が発生する規模の学校については、小規模特認校制度を導入する予定です。これは従来の通学区域は残したままで、通学区域に関係なく、市内のどこからでも就学を認める制度であり、小規模を生かした特色ある教育活動を行うとともに、その教育活動へ関心のある方を広く受け入れていくことで、一定の児童数確保を目指していきます。

大規模校・小規模校それぞれに、様々な要因による良さや課題がある中で、市内の各学校において、その良さをどういかしていくか、課題をどのように解決していくか、全教職員で協議し、子どもたちにとって、より良い学びにつながるよう、工夫をして教育を行っています。

７．つくば市学校施設長寿命化計画との連携・整合

本市における学校施設の今後の具体的な対応方針や長寿命化の実施計画を定める計画として、令和３年(2021 年)３月に『つくば市学校施設長寿命化計画』を策定しました。

学校施設の規模や配置計画等の方針について、本計画と適宜整合を図っていくものとしています。

８．公立幼稚園への市民ニーズとその対応

つくば市内における就学前年齢の幼児数は増加していますが、公立幼稚園全体の入園幼児数は減少しています。

本市が令和５年度に実施した「つくば市子育てアンケート」の結果によると、公立幼稚園に求められるものとして、３歳児保育や平日の延長保育の実施などが挙げられています。令和４年度(2022 年度)から手代木南幼稚園で、令和５年度(2023 年度)から茎崎幼稚園で３歳児保育を実施していますが、他の幼稚園での３歳児保育の実施や預かり保育の実施については、教職員の配置等の課題があります。

４章　今期学校等適正配置計画・指針における基本的な考え方

本計画の見直しに当たっては、「２章　つくば市及びつくば市の学校等の現状について」及び「３章　計画見直しに当たって考慮すべき事項」を踏まえた上で、以下の点に十分配慮しながら検討を行います。

１．学校等の標準規模

一般的に、一定の集団規模の学校をバランスよく配置することには、「児童生徒の教育環境の充実」「学校運営の円滑化」「教育予算の効率化」等のメリットがあるとされています。

国が示す基準では、小学校・中学校はともに 12 学級以上 18 学級以下、義務教育学校は 18 学級以上 27 学級以下を標準としており、茨城県教育委員会においては、小学校は 12 学級以上、中学校は９学級以上が望ましいとしています。

学校規模については、国と県の考え方に開きがありますが、本市においては、よりよい教育活動の活性化を図るため、小学校においては「学級数 12～24 学級（学年２～４学級）」、中学校においては「学級数 12～18 学級（学年４～６学級）」となる学校を『標準規模校』とします。義務教育学校においては、教科の専門性を生かした学習指導、児童生徒へのきめ細やかな対応の観点から「学級数 18～45 学級（学年 2～5 学級）」となる学校を『標準規模校』とします。なお、学級数が標準規模校に満たない学校を『小規模校』、学級数が標準規模を超える学校を『大規模校』とします。

ただし、学校規模の標準については法令上も「特別な事情があるときはこの限りではない」という弾力的なものとなっており、地域の実情や将来的な児童生徒数推計等により、標準規模校以外を許容しないものではありません。

しかしながら、小規模校の中でも、複式学級が発生する規模の学校については、小規模校における課題や保護者の不安等が大きくなることが想定されるため、小規模校のメリットを最大限生かす方策や、課題の解消・緩和策を積極的に行っていくこととします。

なお、幼稚園については、幼稚園設置基準において１学級の幼児数は 35 人以下を原則としています。本市では１学級の幼児数を、満３歳の幼児の学級にあっては 18 人以下、満４歳及び満５歳の幼児の学級にあっては 30 人以下と定めて運用しており、その定員をおおむね充足する状態を標準の規模とします。

２．標準の通学距離

学校の配置に当たっては、児童生徒の通学条件を考慮することが必要です。

国では、公立小・中学校の通学距離について、小学校でおおむね４キロメートル以内、中学校ではおおむね６キロメートル以内という基準を、公立小・中学校の施設費の国庫負担対象となる学校統合の条件として定めていることから、通学条件を通学距離によって捉えることが一般的となっています。

本市においても、それに準拠し、小学校でおおむね４キロメートル以内、中学校ではおおむね６キロメートル以内を標準の通学距離とします。ただし、道路状況等の通学路の安全性や交通機関等の利用可能性など、様々な地域の状況に留意します。

なお、幼稚園については、現状においても、通園バスを運行し、複数の小学校区を合わせて園

区としているものが多いことから、通園距離の標準は設けません。

３．地域特性やニーズへの配慮及び地域の合意形成

学校等は幼児及び児童生徒の教育を主な目的とする施設ですが、地域住民から見た学校は、地域社会の将来を担う人材を育てる中核的な場所であるとともに、地域コミュニティの核として、防災、地域の交流の場など様々な機能も有しています。

また、子ども達に求められる資質や能力は、多様な人々と関わり、様々な経験を重ねていく中で育まれるものであり、学校のみで育成できるものではありません。加えて、近年の社会の変化に伴い、学校等に求められるニーズも多様化・複雑化しています。学校・家庭・地域・行政等がそれぞれの役割を果たし、コミュニケーションを図りながら補完し支えあっていく必要があります。

そのため、学校配置の適正化を検討する上では、保護者や地域住民等と、教育上の課題やまちづくりも含めた将来的なビジョンを共有し、十分な理解や協力を得ていくことが最も重要になってきます。

５章　学校別の将来推計

将来の適正配置を検討するにあたり、予め学校別の児童・生徒数の将来推計を行います。将来推計は、「推移グラフ及び表」を用いたものと、「推移図」で示したものに整理します。推移グラフ及び表は各学校別にパターン化して記載します。

推移グラフ及び表の記載内容の理解を図ってもらうために、最初にこれらの「構成と概要」の説明を行います。

１．構成と概要

学校別に次の内容を記載しており事例を挙げて説明します。

（1）基本情報

（2）児童生徒・学級数の「推移グラフ」

（3）児童生徒・学級数の「推移表」

（1）基本情報

学校別の基本情報は、次の事例に示すように①から⑭まであります。それぞれの概要を下記に記述します。

■基本情報の事例（大曽根小の場合を例示）

①所在地	大曽根 2917
②指定学校変更制度	なし
③中学校区	大穂
④隣接学区	吾妻・要・前野・栗原・秀峰筑波

⑤R6 年度児童数	538
⑥R6 年度学級数	普 18　特 6
⑦公務員宿舎関連	－
⑧ＴＸ関連	－

⑨R6 年度最大保有普通教室数			28
⑩R6 年度保有特別支援教室数			2
最大時使用教室数（R7 年度）	⑪普通		19
	特支	⑫特支教室	2
		⑬普通教室転用	2
⑭不足教室数		－	

①【所在地】学校所在地の住所

②【指定学校変更制度】指定学校変更制度対象校の場合は変更先学区

③【中学校区（小学校）、小学校区（中学校）】小学校は中学校区、中学校は小学校区について記載

④【隣接学区（学園）】隣接している学区名、学園名

⑤【R6 年度児童・生徒数】R6.5.1 特別支援教室在籍者を含む児童・生徒の総数

⑥【R6 年度学級数】R6.5.1 現在の普通学級と特別支援学級の数

※学級規模については、小学校区の標準規模校を「学級数 12～24 学級（学年２～4 学級）」、中学校の標準規模校を「学級数 12～18 学級（学年 4～6 学級）」また、義務教育学校の標準規模校を「学級数 18～45 学級（学年 2～5 学級）」とする

⑦【公務員宿舎関連】学区内に公務員宿舎廃止の対象地を含む場合に地区名を記載

⑧【TX 関連】学区内につくばエクスプレス沿線の土地区画整理事業地を含む場合に、地区名を記載

⑨【R6 年度最大保有普通教室数】R6 年度の普通教室と普通教室に転用可能な教室の総数

⑩【R6 年度保有特別支援教室数】R6 年度の特別支援教室専用として設置している教室の総数

⑪【最大時使用教室数・普通】最大使用時に必要な普通教室数

⑫【最大時使用教室数・特別支援】最大使用時に特別支援教室専用として使用する教室の総数

⑬【最大時使用教室数・特別支援（普通教室転用）】最大使用時に特別支援教室専用として設置している教室が足りず普通教室を転用する教室数（転用時は普通教室１教室を特別支援教室２教室として利用）

⑭【不足教室数】最大使用時の普通教室数と特別支援教室専用として転用する普通教室が⑨【R6 年度最大保有普通教室数】を超える場合にその数を記載

（2）児童生徒・学級数の推移グラフ及び表

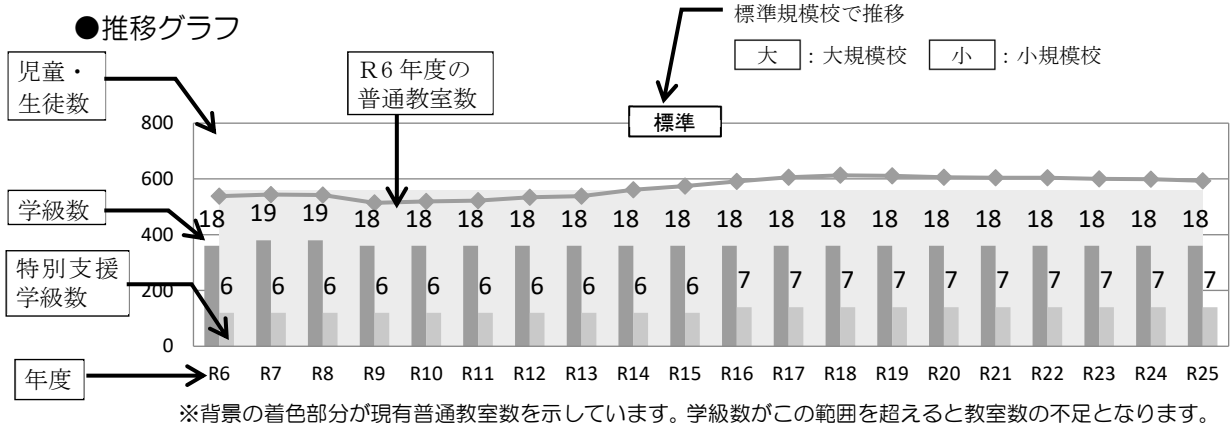
将来の児童生徒・学級数の推移を次の事例のようにグラフと表で示しています。

■児童生徒・学級数の推移グラフ及び表の事例（大曽根小の場合）

①「推移グラフ」は、本計画の推計による１年毎の全校児童・生徒数（特別支援学級在籍者を含む）及び学級数を示しています。

②「推移表」は、本計画の推計による５年毎の学年別児童・生徒数（特別支援学級在籍者を含む）及び学級数を示しています。

●推移グラフ



※背景の着色部分が現有普通教室数を示しています。学級数がこの範囲を超えると教室数の不足となります。

●推移表

年度／学年	R6 年度		R10 年度		R15 年度		R20 年度		R25 年度	
	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数
1 年	77	3	86	3	101	3	100	3	96	3
2 年	80	3	85	3	104	3	102	3	102	3
3 年	77	2	80	3	103	3	101	3	97	3
4 年	116	4	97	3	94	3	102	3	101	3
5 年	90	3	85	3	87	3	101	3	98	3
6 年	98	3	86	3	85	3	100	3	99	3
計	538	18	519	18	574	18	606	18	593	18

（3）学級数の算出方法

今回の見直しにあたり各学校の学級数は次の基準により算出しています。

【令和６年度】

・小学校１年生～5 年生は 35 人学級とした。

・小学校６年生及び中学生は茨城県学級編制弾力化の基準を適用した。（別表参照）

【令和７年度以降】

・小学生は 35 人学級とした。

・中学生は令和８年度以降、１年生から順次 35 人学級となる。令和８年度は１年生、令和９年度は１～２年生、令和 10 年度以降は１～３年生で 35 人学級とした。それ以外は茨城県学級編制弾力化の基準を適用した。（別表参照）

■(別表)学級編制弾力化の早見表

在籍児童・生徒数 （人）	学級編制の弾力化 （弾力化後の学級数）	標準学級数 （40 人編制）
1～40	1	1
41～80	2	2
81～107	3	3
108～120	4	
121～142	4	4
143～160	5	
161～177	5	5
178～200	6	

児童数及び生徒数が少ない場合は次の基準により複式学級とした。

- 小学校１年生を含む連続した学年で８人以内
- 小学校１年生を含まない連続した学年で 16 人以内
- 中学校において連続した学年で８人以内

2．児童・生徒数推計の方法

つくば市が実施している人口推計（コーホート要因法）を使用し、小学校区単位で男女別・各歳別の人口を推計し、各歳人口を基に児童・生徒数を推計しました。

●令和５年(2023 年)10 月１日現在の住民基本台帳人口を基準として、行政区ごとに推計

●コーホート要因法では、t+1 年の人口は t 年の人口に、人口変動の３要素（出生・死亡・移動）を乗じて算出

	t 年	t+1 年	t+2 年	・・・
０歳	N(0 歳 t 年)	N(0 歳 t+1 年)	N(0 歳 t+2 年)	・・・
１歳	N(1 歳 t 年)	N(1 歳 t+1 年)	N(1 歳 t+2 年)	・・・
２歳	N(2 歳 t 年)	N(2 歳 t+1 年)	N(2 歳 t+2 年)	・・・
・・・	・・・	・・・	・・・	・・・

※N(1 歳 t+1 年) ＝ N(0 歳 t 年) × （生残率＋純移動率）

※N(0 歳 t+1 年) ＝ 15～49 歳の女性人口(t+1 年) × 子ども女性比

●つくば市の現状を反映するため、移動率について行政区ごとに転入・転出に分けた計算、子ども女性比の行政区ごとの算出及び地域的な補正、TX 沿線開発地区の移動をビルドアップ曲線への近似で算出、新築マンションの情報反映など、市独自の考え方を取り入れた推計を実施

※ただし、新築マンションの計画等が決定していないものについては未反映のため、今後の動向を注視し、適宜推計の見直しを行う必要がある。

●算出した推計値から、学区ごとに、令和６年度現在の児童生徒数及び各年齢の未就学児童数との差異について補正を実施

●小学６年生から７年生(中学１年生)の移行時には、私立・県立中学受験の学校ごとの実績を考慮して推計

●特別支援学級数は、学校ごとに現在の児童生徒数と特別支援学級の割合から算出して推計

●指定学校変更可能区域による指定学校の変更について実績を考慮して推計

3．小学校区の将来推計

（1）小学校の推移グラフ及び表

① 大曽根小学校 【大穂学園】

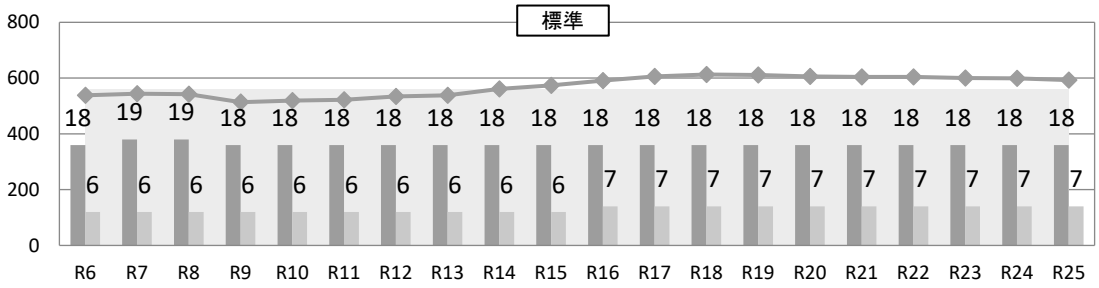
ア 基本情報

所在地	大曽根 2917
指定学校変更制度	なし
中学校区	大穂
隣接学区	吾妻・要・前野・栗原・秀峰筑波

R6 年度児童数	538
R6 年度学級数	普 18　特 6
公務員宿舎関連	－
ＴＸ関連	－

R6 年度最大保有普通教室数			28
R6 年度保有特別支援教室数			2
最大時使用教室数（R7 年度）	普通		19
	特支	特支教室	2
		普通教室転用	2
不足教室数			－

イ 児童・学級数の推移グラフ及び表



年度 / 学年	R6 年度		R10 年度		R15 年度		R20 年度		R25 年度	
	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数
1 年	77	3	86	3	101	3	100	3	96	3
2 年	80	3	85	3	104	3	102	3	102	3
3 年	77	2	80	3	103	3	101	3	97	3
4 年	116	4	97	3	94	3	102	3	101	3
5 年	90	3	85	3	87	3	101	3	98	3
6 年	98	3	86	3	85	3	100	3	99	3
計	538	18	519	18	574	18	606	18	593	18

② 前野小学校 【大穂学園】

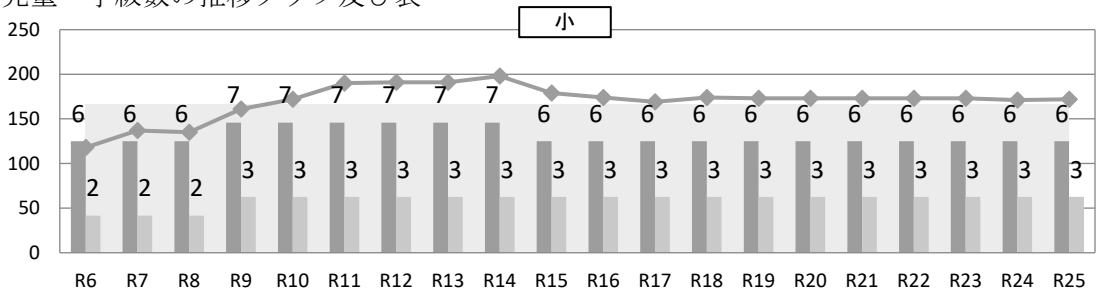
ア 基本情報

所在地	前野 1367
指定学校変更制度	なし
中学校区	大穂
隣接学区	要・沼崎・今鹿島・吉沼・大曽根・秀峰筑波

R6 年度児童数	118
R6 年度学級数	普 6　特 2
公務員宿舎関連	－
ＴＸ関連	－

R6 年度最大保有普通教室数			8
R6 年度保有特別支援教室数			1
最大時使用教室数（R9 年度）	普通		7
	特支	特支教室	1
		普通教室転用	1
不足教室数			－

イ 児童・学級数の推移グラフ及び表



年度 / 学年	R6 年度		R10 年度		R15 年度		R20 年度		R25 年度	
	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数
1 年	28	1	32	1	28	1	28	1	28	1
2 年	14	1	48	2	28	1	28	1	29	1
3 年	22	1	20	1	28	1	29	1	28	1
4 年	20	1	28	1	29	1	29	1	29	1
5 年	22	1	29	1	32	1	30	1	29	1
6 年	12	1	15	1	34	1	29	1	29	1
計	118	6	172	7	179	6	173	6	172	6

③ 要小学校 【大穂学園】

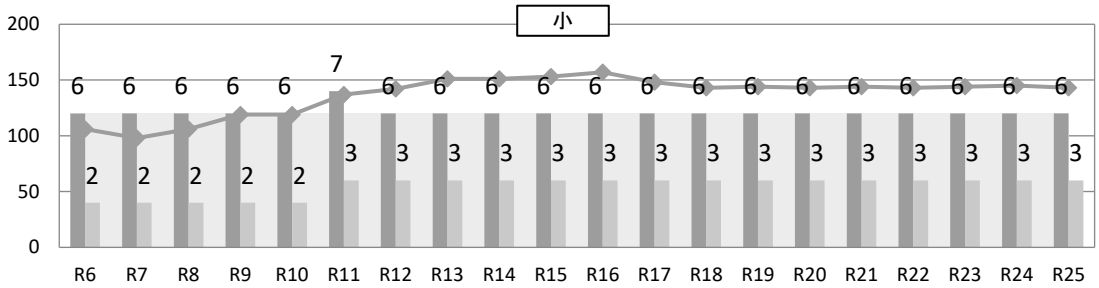
ア 基本情報

所在地	要 449-1
指定学校変更制度	なし
中学校区	大穂
隣接学区	沼崎・前野・大曽根・吾妻・春日学園・学園の森

R6 年度児童数	106
R6 年度学級数	普 6　特 2
公務員宿舎関連	－
ＴＸ関連	－

R6 年度最大保有普通教室数			6
R6 年度保有特別支援教室数			2
最大時使用教室数 (R11 年度)	普通		7
	特支	特支教室	2
		普通教室転用	1
不足教室数			(7+1)-6=2 教室

イ 児童・学級数の推移グラフ及び表



年度 / 学年	R6 年度		R10 年度		R15 年度		R20 年度		R25 年度	
	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数
1 年	25	1	21	1	27	1	26	1	26	1
2 年	15	1	24	1	24	1	24	1	23	1
3 年	17	1	21	1	22	1	22	1	23	1
4 年	12	1	13	1	29	1	24	1	24	1
5 年	16	1	24	1	33	1	24	1	25	1
6 年	21	1	16	1	18	1	23	1	22	1
計	106	6	119	6	153	6	143	6	143	6

④ 吉沼小学校 【大穂学園】

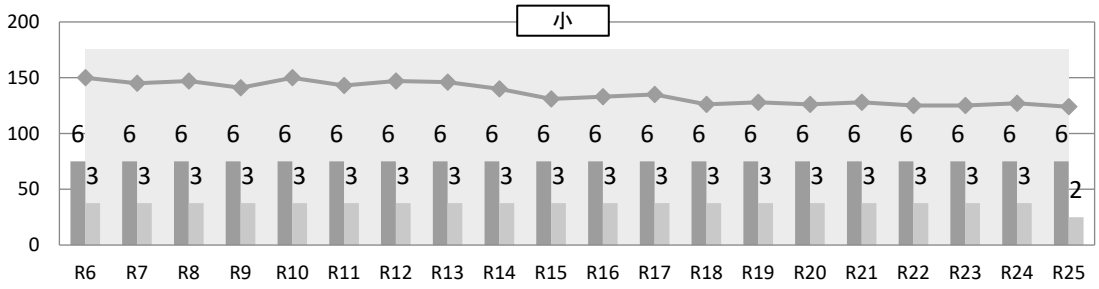
ア 基本情報

所在地	吉沼 1010
指定学校変更制度	今鹿島
中学校区	大穂
隣接学区	前野・今鹿島・上郷・秀峰筑波

R6 年度児童数	150
R6 年度学級数	普 6　特 3
公務員宿舎関連	－
ＴＸ関連	－

R6 年度最大保有普通教室数			14
R6 年度保有特別支援教室数			0
最大時使用教室数 (R7 年度)	普通		6
	特支	特支教室	0
		普通教室転用	2
不足教室数			－

イ 児童・学級数の推移グラフ及び表



年度 / 学年	R6 年度		R10 年度		R15 年度		R20 年度		R25 年度	
	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数
1 年	20	1	18	1	19	1	19	1	18	1
2 年	27	1	26	1	21	1	21	1	21	1
3 年	12	1	29	1	20	1	20	1	20	1
4 年	29	1	24	1	29	1	22	1	21	1
5 年	28	1	24	1	21	1	22	1	22	1
6 年	34	1	29	1	21	1	22	1	22	1
計	150	6	150	6	131	6	126	6	124	6

⑤ 沼崎小学校 【豊里学園】

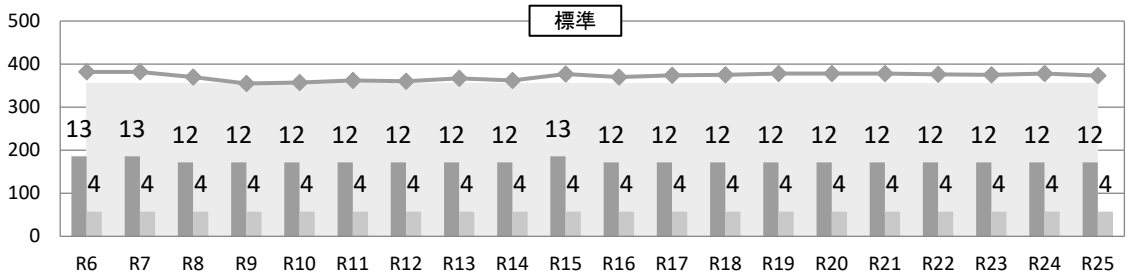
ア 基本情報

所在地	沼崎 1650
指定学校変更制度	今鹿島
中学校区	豊里
隣接学区	上郷・島名・要・前野・今鹿島・研究学園・学園の森

R6 年度児童数	382
R6 年度学級数	普 13　特 4
公務員宿舎関連	－
ＴＸ関連	－

R6 年度最大保有普通教室数			25
R6 年度保有特別支援教室数			3
最大時使用教室数 (R7 年度)	普通		13
	特支	特支教室	3
		普通教室転用	1
不足教室数			－

イ 児童・学級数の推移グラフ及び表



年度 / 学年	R6 年度		R10 年度		R15 年度		R20 年度		R25 年度	
	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数
1 年	57	2	65	2	62	2	59	2	60	2
2 年	51	2	51	2	61	2	66	2	62	2
3 年	64	2	65	2	64	2	60	2	64	2
4 年	67	2	60	2	59	2	65	2	60	2
5 年	78	3	59	2	60	2	62	2	65	2
6 年	65	2	57	2	71	3	66	2	62	2
計	382	13	357	12	377	13	378	12	373	12

⑥ 今鹿島小学校 【豊里学園】

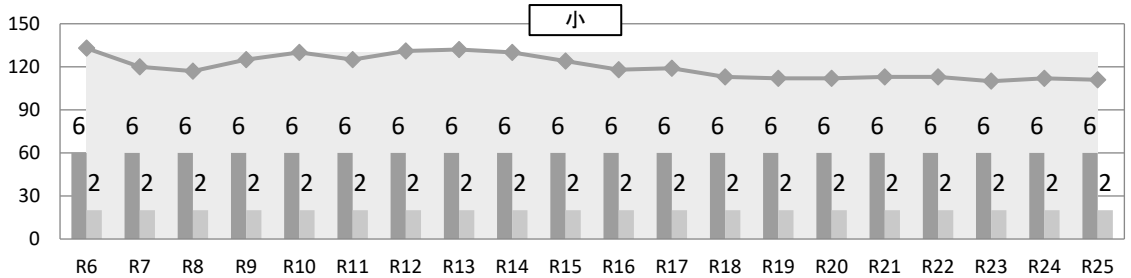
ア 基本情報

所在地	今鹿島 1762
指定学校変更制度	沼崎
中学校区	豊里
隣接学区	上郷・沼崎・前野・吉沼

R6 年度児童数	133
R6 年度学級数	普 6　特 2
公務員宿舎関連	－
ＴＸ関連	－

R6 年度最大保有普通教室数			13
R6 年度保有特別支援教室数			0
最大時使用教室数 (R7 年度)	普通		6
	特支	特支教室	0
		普通教室転用	1
不足教室数			－

イ 児童・学級数の推移グラフ及び表



年度 / 学年	R6 年度		R10 年度		R15 年度		R20 年度		R25 年度	
	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数
1 年	15	1	25	1	18	1	18	1	17	1
2 年	22	1	26	1	18	1	18	1	18	1
3 年	20	1	20	1	19	1	18	1	18	1
4 年	19	1	18	1	25	1	19	1	19	1
5 年	22	1	17	1	19	1	19	1	19	1
6 年	35	1	24	1	25	1	20	1	20	1
計	133	6	130	6	124	6	112	6	111	6

⑦ 上郷小学校 【豊里学園】

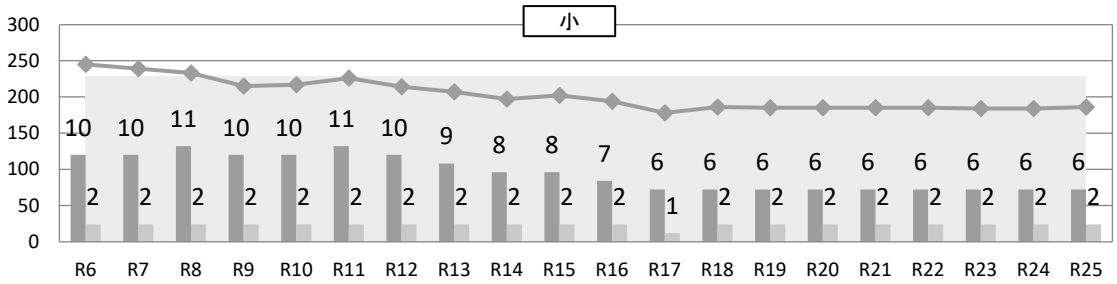
ア 基本情報

所在地	上郷 2499
指定学校変更制度	なし
中学校区	豊里
隣接学区	真瀬・島名・沼崎・今鹿島・吉沼

R6 年度児童数	245
R6 年度学級数	普 10　特 2
公務員宿舎関連	－
ＴＸ関連	－

R6 年度最大保有普通教室数			19
R6 年度保有特別支援教室数			5
最大時使用教室数（R8 年度）	普通		11
	特支	特支教室	2
		普通教室転用	0
不足教室数			－

イ 児童・学級数の推移グラフ及び表



年度 / 学年	R6 年度		R10 年度		R15 年度		R20 年度		R25 年度	
	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数
1 年	37	1	39	2	31	1	29	1	31	1
2 年	30	1	28	1	30	1	30	1	30	1
3 年	39	2	41	2	31	1	30	1	29	1
4 年	46	2	38	2	23	1	31	1	31	1
5 年	47	2	38	2	44	2	32	1	33	1
6 年	46	2	33	1	43	2	33	1	32	1
計	245	10	217	10	202	8	185	6	186	6

⑧ 谷田部小学校 【輝翔学園】

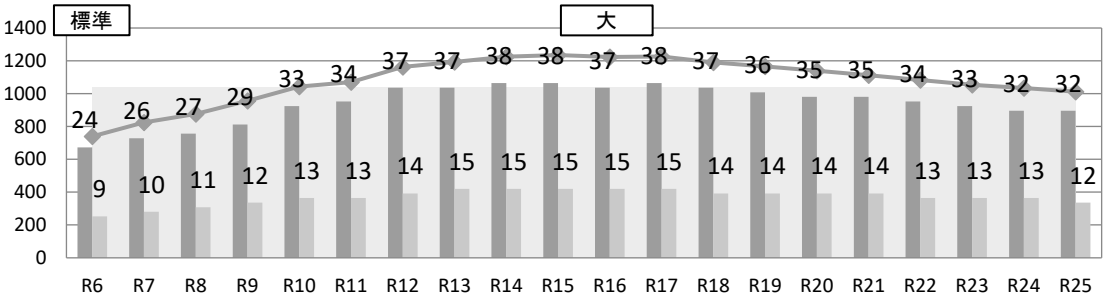
ア 基本情報

所在地	谷田部 2938
指定学校変更制度	なし
中学校区	谷田部
隣接学区	真瀬・島名・香取台・柳橋・手代木南・小野川・茎崎第一・谷田部南・みどりの南・みどりの学園

R6 年度児童数	740
R6 年度学級数	普 24　特 9
公務員宿舎関連	－
ＴＸ関連	島名・福田坪地区（陣場）

R6 年度最大保有普通教室数			37
R6 年度保有特別支援教室数			5
最大時使用教室数（R14 年度）	普通		38
	特支	特支教室	5
		普通教室転用	5
不足教室数			(38+5)-37＝6 教室

イ 児童・学級数の推移グラフ及び表



年度 / 学年	R6 年度		R10 年度		R15 年度		R20 年度		R25 年度	
	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数
1 年	113	4	199	6	195	6	174	5	155	5
2 年	155	5	182	6	203	6	180	6	161	5
3 年	119	4	174	5	207	6	185	6	166	5
4 年	112	4	178	6	221	7	195	6	170	5
5 年	134	4	132	4	195	6	201	6	177	6
6 年	107	3	178	6	214	7	204	6	183	6
計	740	24	1043	33	1235	38	1139	35	1012	32

⑨ 柳橋小学校 【輝翔学園】

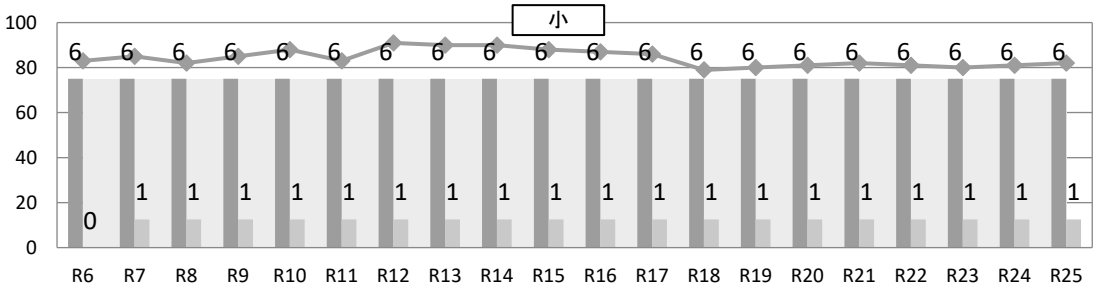
ア 基本情報

所在地	柳橋 360
指定学校変更制度	なし
中学校区	谷田部
隣接学区	谷田部・香取台・島名・研究学園・葛城・手代木南

R6 年度児童数	83
R6 年度学級数	普 6
公務員宿舎関連	－
ＴＸ関連	－

R6 年度最大保有普通教室数			6
R6 年度保有特別支援教室数			1
最大時使用教室数 (R7 年度)	普通		6
	特支	特支教室	1
		普通教室転用	0
不足教室数			－

イ 児童・学級数の推移グラフ及び表



年度 / 学年	R6 年度		R10 年度		R15 年度		R20 年度		R25 年度	
	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数
1 年	10	1	15	1	14	1	14	1	13	1
2 年	17	1	14	1	12	1	13	1	13	1
3 年	12	1	14	1	12	1	12	1	13	1
4 年	12	1	14	1	20	1	13	1	12	1
5 年	16	1	12	1	13	1	13	1	15	1
6 年	16	1	19	1	17	1	16	1	16	1
計	83	6	88	6	88	6	81	6	82	6

⑩ 真瀬小学校 【高山学園】

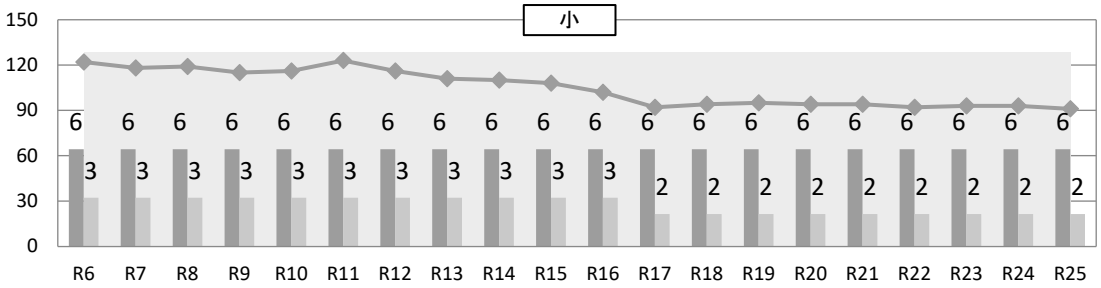
ア 基本情報

所在地	真瀬 2103
指定学校変更制度	なし
中学校区	高山
隣接学区	谷田部・島名・上郷・みどりの学園

R6 年度児童数	122
R6 年度学級数	普 6　特 3
公務員宿舎関連	－
ＴＸ関連	－

R6 年度最大保有普通教室数			12
R6 年度保有特別支援教室数			3
最大時使用教室数 (R7 年度)	普通		6
	特支	特支教室	3
		普通教室転用	0
不足教室数			－

イ 児童・学級数の推移グラフ及び表



年度 / 学年	R6 年度		R10 年度		R15 年度		R20 年度		R25 年度	
	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数
1 年	20	1	20	1	16	1	15	1	14	1
2 年	15	1	20	1	15	1	15	1	15	1
3 年	19	1	18	1	16	1	16	1	15	1
4 年	22	1	20	1	15	1	15	1	15	1
5 年	18	1	22	1	25	1	16	1	16	1
6 年	28	1	16	1	21	1	17	1	16	1
計	122	6	116	6	108	6	94	6	91	6

⑪ 島名小学校 【高山学園】

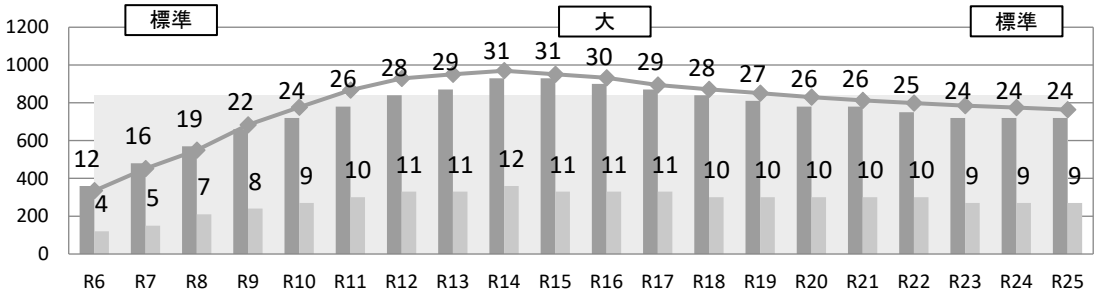
ア 基本情報

所在地	島名 537-1
指定学校変更制度	谷田部
中学校区	高山
隣接学区	谷田部・真瀬・上郷・沼崎・研究学園・柳橋・葛城・香取台

R6 年度児童数	335
R6 年度学級数	普 12　特 4
公務員宿舎関連	－
ＴＸ関連	上河原崎・中西地区（かみかわ、高山、万博公園西）

R6 年度最大保有普通教室数			28
R6 年度保有特別支援教室数			3
最大時使用教室数（R14 年度）	普通		31
	特支	特支教室	3
		普通教室転用	5
不足教室数		(31+5)-28=8 教室	

イ 児童・学級数の推移グラフ及び表



年度 / 学年	R6 年度		R10 年度		R15 年度		R20 年度		R25 年度	
	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数
1 年	77	3	158	5	145	5	126	4	118	4
2 年	70	2	165	5	150	5	131	4	123	4
3 年	62	2	134	4	153	5	135	4	124	4
4 年	40	2	132	4	160	5	140	4	130	4
5 年	52	2	98	3	178	6	146	5	134	4
6 年	34	1	89	3	165	5	152	5	135	4
計	335	12	776	24	951	31	830	26	764	24

⑫ 香取台小学校 【高山学園】

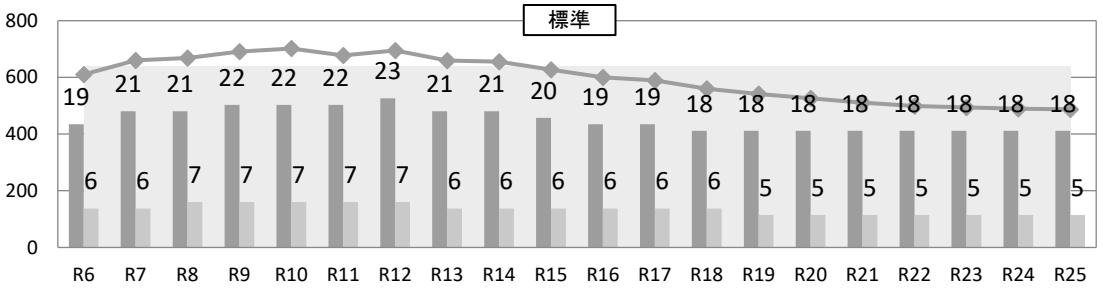
ア 基本情報

所在地	島名 1716
指定学校変更制度	なし
中学校区	高山
隣接学区	島名・柳橋・谷田部

R6 年度児童数	610
R6 年度学級数	普 19　特 6
公務員宿舎関連	－
ＴＸ関連	島名・福田坪地区（香取台、諏訪）

R6 年度最大保有普通教室数			28
R6 年度保有特別支援教室数			4
最大時使用教室数（R12 年度）	普通		23
	特支	特支教室	4
		普通教室転用	2
不足教室数		－	

イ 児童・学級数の推移グラフ及び表



年度 / 学年	R6 年度		R10 年度		R15 年度		R20 年度		R25 年度	
	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数
1 年	96	3	118	4	92	3	81	3	76	3
2 年	114	4	121	4	98	3	80	3	78	3
3 年	109	3	102	3	101	3	86	3	80	3
4 年	100	3	139	4	117	4	86	3	82	3
5 年	98	3	100	3	97	3	95	3	83	3
6 年	93	3	122	4	122	4	98	3	88	3
計	610	19	702	22	627	20	526	18	487	18

⑬ 葛城小学校 【光輝学園】

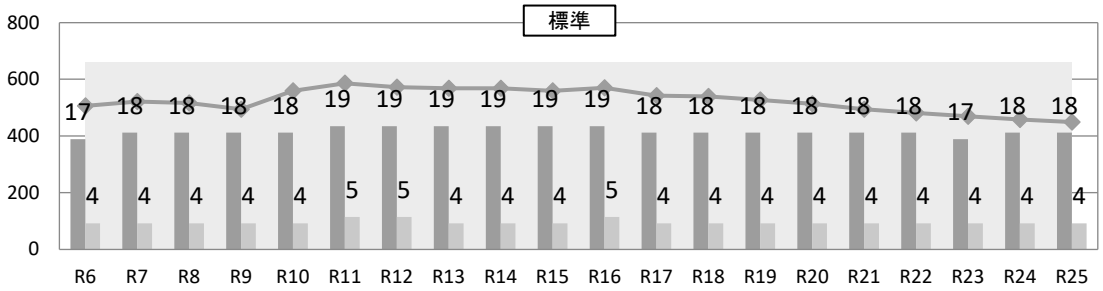
ア 基本情報

所在地	苅間 689
指定学校変更制度	松代
中学校区	手代木
隣接学区	島名・柳橋・手代木南・松代・竹園西・吾妻・春日学園・研究学園

R6 年度児童数	506
R6 年度学級数	普 17　特 4
公務員宿舎関連	－
ＴＸ関連	葛城地区（学園南）

R6 年度最大保有普通教室数			29
R6 年度保有特別支援教室数			4
最大時使用教室数（R11 年度）	普通		19
	特支	特支教室	4
		普通教室転用	1
不足教室数			－

イ 児童・学級数の推移グラフ及び表



年度 / 学年	R6 年度		R10 年度		R15 年度		R20 年度		R25 年度	
	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数
1 年	95	3	81	3	93	3	79	3	72	3
2 年	74	3	99	3	95	3	83	3	73	3
3 年	80	3	96	3	95	3	84	3	72	3
4 年	100	3	100	3	86	3	85	3	77	3
5 年	83	3	99	3	111	4	90	3	75	3
6 年	74	2	84	3	79	3	92	3	80	3
計	506	17	559	18	559	19	513	18	449	18

⑭ 手代木南小学校 【光輝学園】

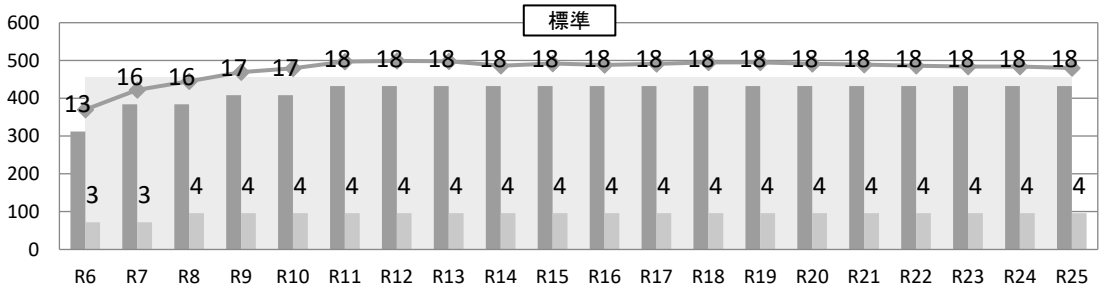
ア 基本情報

所在地	松代 4-24
指定学校変更制度	なし
中学校区	手代木
隣接学区	松代・葛城・柳橋・谷田部・小野川・二の宮・竹園西・吾妻

R6 年度児童数	370
R6 年度学級数	普 13　特 3
公務員宿舎関連	松代 4 丁目、5 丁目
ＴＸ関連	－

R6 年度最大保有普通教室数			19
R6 年度保有特別支援教室数			4
最大時使用教室数（R11 年度）	普通		18
	特支	特支教室	4
		普通教室転用	0
不足教室数			－

イ 児童・学級数の推移グラフ及び表



年度 / 学年	R6 年度		R10 年度		R15 年度		R20 年度		R25 年度	
	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数
1 年	71	2	84	3	79	3	76	3	76	3
2 年	57	2	75	3	82	3	80	3	77	3
3 年	75	3	93	3	83	3	80	3	79	3
4 年	51	2	85	3	77	3	84	3	81	3
5 年	67	2	76	3	82	3	84	3	83	3
6 年	49	2	66	2	89	3	87	3	84	3
計	370	13	479	17	492	18	491	18	480	18

⑮ 松代小学校 【光輝学園】

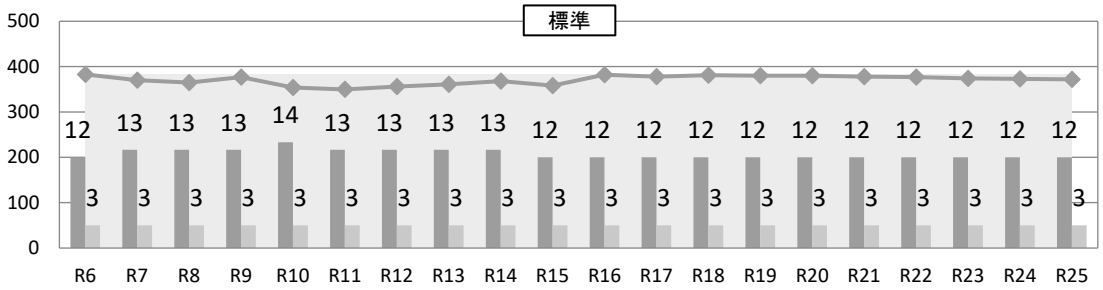
ア 基本情報

所在地	松代 3-3-1
指定学校変更制度	なし
中学校区	手代木
隣接学区	手代木南・葛城

R6 年度児童数	383
R6 年度学級数	普 12　特 3
公務員宿舎関連	－
ＴＸ関連	－

R6 年度最大保有普通教室数			23
R6 年度保有特別支援教室数			1
最大時使用教室数 (R10 年度)	普通		14
	特支	特支教室	1
		普通教室転用	1
不足教室数			－

イ 児童・学級数の推移グラフ及び表



年度 / 学年	R6 年度		R10 年度		R15 年度		R20 年度		R25 年度	
	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数
1 年	50	2	39	2	62	2	61	2	60	2
2 年	71	2	71	3	64	2	63	2	61	2
3 年	63	2	58	2	64	2	63	2	62	2
4 年	60	2	57	2	58	2	64	2	62	2
5 年	65	2	54	2	69	2	64	2	63	2
6 年	74	2	75	3	41	2	65	2	64	2
計	383	12	354	14	358	12	380	12	372	12

⑯ 小野川小学校 【洞峰学園】

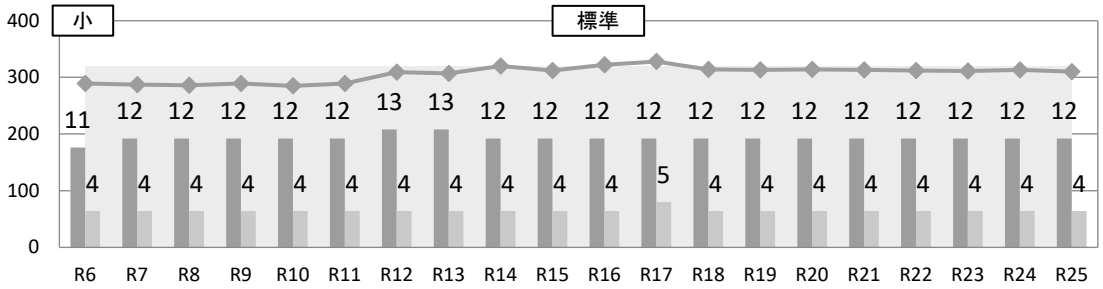
ア 基本情報

所在地	館野 731
指定学校変更制度	なし
中学校区	谷田部東
隣接学区	谷田部・手代木南・茎崎第一・二の宮・東・桜南

R6 年度児童数	289
R6 年度学級数	普 11　特 4
公務員宿舎関連	－
ＴＸ関連	－

R6 年度最大保有普通教室数			20
R6 年度保有特別支援教室数			0
最大時使用教室数 (R12 年度)	普通		13
	特支	特支教室	0
		普通教室転用	2
不足教室数			－

イ 児童・学級数の推移グラフ及び表



年度 / 学年	R6 年度		R10 年度		R15 年度		R20 年度		R25 年度	
	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数
1 年	52	2	47	2	53	2	58	2	53	2
2 年	36	1	58	2	55	2	53	2	55	2
3 年	47	2	40	2	53	2	53	2	49	2
4 年	55	2	53	2	68	2	49	2	52	2
5 年	44	2	50	2	39	2	53	2	49	2
6 年	55	2	37	2	44	2	48	2	52	2
計	289	11	285	12	312	12	314	12	310	12

⑰ 二の宮小学校 【洞峰学園】

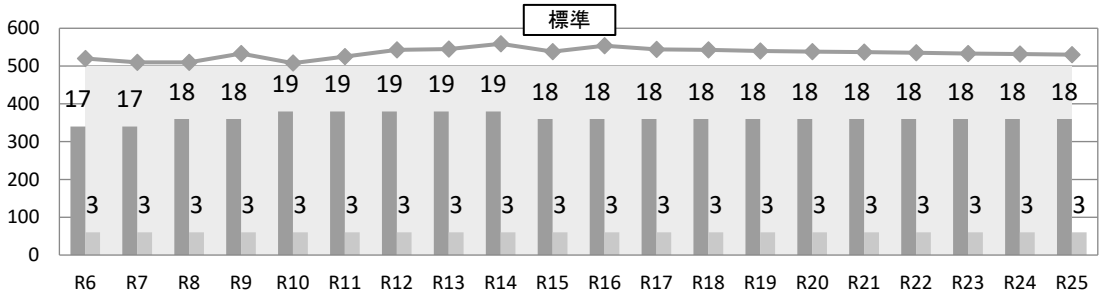
ア 基本情報

所在地	二の宮 4-11
指定学校変更制度	竹園西
中学校区	谷田部東
隣接学区	小野川・手代木南・竹園西・東

R6 年度児童数	520
R6 年度学級数	普 17　特 3
公務員宿舎関連	－
ＴＸ関連	－

R6 年度最大保有普通教室数			25
R6 年度保有特別支援教室数			3
最大時使用教室数 (R10 年度)	普通		19
	特支	特支教室	3
		普通教室転用	0
不足教室数			－

イ 児童・学級数の推移グラフ及び表



年度 / 学年	R6 年度		R10 年度		R15 年度		R20 年度		R25 年度	
	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数
1 年	65	2	72	3	88	3	85	3	85	3
2 年	75	3	107	4	88	3	88	3	86	3
3 年	94	3	78	3	91	3	89	3	87	3
4 年	88	3	91	3	92	3	91	3	89	3
5 年	85	3	74	3	102	3	91	3	91	3
6 年	113	3	86	3	77	3	94	3	92	3
計	520	17	508	19	538	18	538	18	530	18

⑱ 東小学校 【洞峰学園】

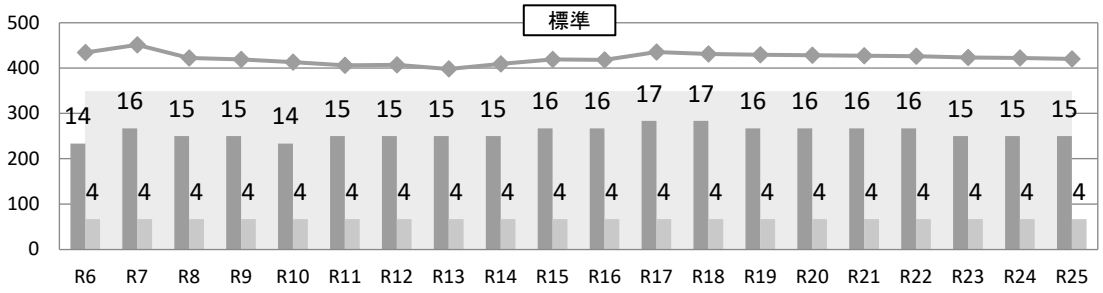
ア 基本情報

所在地	東 2-24
指定学校変更制度	並木
中学校区	谷田部東
隣接学区	小野川・二の宮・竹園西・並木・桜南

R6 年度児童数	434
R6 年度学級数	普 14　特 4
公務員宿舎関連	－
ＴＸ関連	－

R6 年度最大保有普通教室数			21
R6 年度保有特別支援教室数			0
最大時使用教室数 (R17 年度)	普通		17
	特支	特支教室	0
		普通教室転用	2
不足教室数			－

イ 児童・学級数の推移グラフ及び表



年度 / 学年	R6 年度		R10 年度		R15 年度		R20 年度		R25 年度	
	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数
1 年	77	3	69	2	70	2	69	2	68	2
2 年	60	2	62	2	71	3	70	2	68	2
3 年	75	2	59	2	72	3	71	3	70	2
4 年	67	2	82	3	75	3	72	3	71	3
5 年	87	3	76	3	56	2	72	3	71	3
6 年	68	2	65	2	75	3	74	3	72	3
計	434	14	413	14	419	16	428	16	420	15

⑲ 栄小学校 【桜学園】

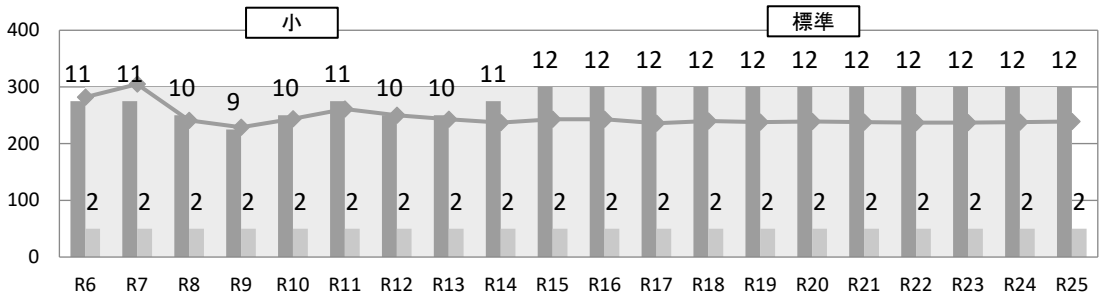
ア 基本情報

所在地	金田 54
指定学校変更制度	桜南
中学校区	桜
隣接学区	栗原・九重・桜南

R6 年度児童数	282
R6 年度学級数	普 11　特 2
公務員宿舎関連	－
ＴＸ関連	中根・金田台地区（さくらの森）

R6 年度最大保有普通教室数			12
R6 年度保有特別支援教室数			2
最大時使用教室数（R15 年度）	普通		12
	特支	特支教室	2
		普通教室転用	0
不足教室数			－

イ 児童・学級数の推移グラフ及び表



年度 / 学年	R6 年度		R10 年度		R15 年度		R20 年度		R25 年度	
	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数
1 年	61	2	39	2	38	2	40	2	38	2
2 年	43	2	33	1	40	2	38	2	39	2
3 年	31	1	45	2	39	2	38	2	40	2
4 年	56	2	49	2	36	2	41	2	40	2
5 年	42	2	46	2	48	2	41	2	40	2
6 年	49	2	32	1	42	2	41	2	42	2
計	282	11	244	10	243	12	239	12	239	12

⑳ 九重小学校 【桜学園】

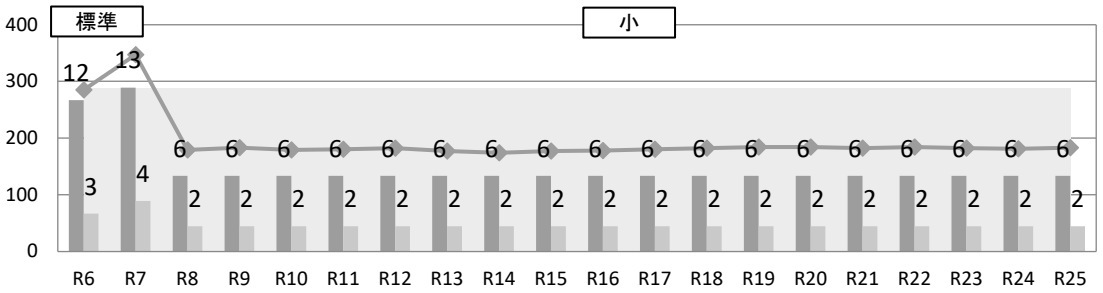
ア 基本情報

所在地	上ノ室 2126
指定学校変更制度	竹園東
中学校区	桜
隣接学区	栄・栗原・吾妻・竹園東・並木・桜南

R6 年度児童数	285
R6 年度学級数	普 12　特 3
公務員宿舎関連	－
ＴＸ関連	中根・金田台地区（流星台）

R6 年度最大保有普通教室数			13
R6 年度保有特別支援教室数			4
最大時使用教室数（R7 年度）	普通		13
	特支	特支教室	4
		普通教室転用	0
不足教室数			－

イ 児童・学級数の推移グラフ及び表



年度 / 学年	R6 年度		R10 年度		R15 年度		R20 年度		R25 年度	
	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数
1 年	55	2	27	1	30	1	29	1	30	1
2 年	56	2	30	1	30	1	30	1	29	1
3 年	49	2	34	1	29	1	30	1	31	1
4 年	38	2	33	1	29	1	32	1	31	1
5 年	41	2	27	1	30	1	31	1	31	1
6 年	46	2	28	1	29	1	32	1	31	1
計	285	12	179	6	177	6	184	6	183	6

㉑ 栗原小学校 【桜学園】

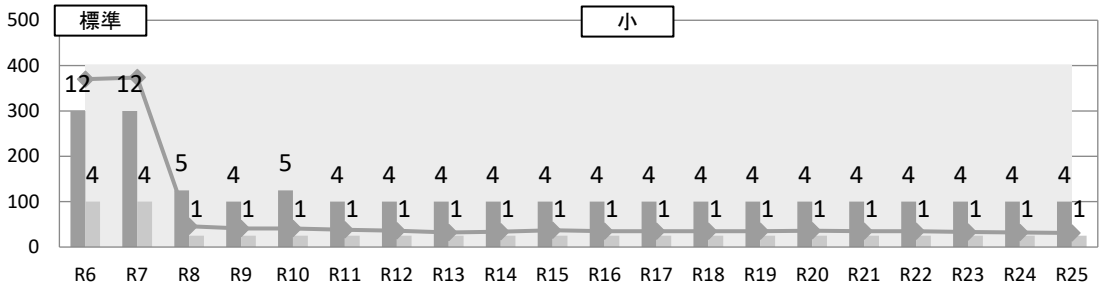
ア 基本情報

所在地	栗原 2018
指定学校変更制度	なし
中学校区	桜
隣接学区	大曽根・吾妻・九重・栄・秀峰筑波

R6 年度児童数	370
R6 年度学級数	普 12　特 4
公務員宿舎関連	－
ＴＸ関連	中根・金田台地区（春風台）

R6 年度最大保有普通教室数			16
R6 年度保有特別支援教室数			1
最大時使用教室数（R7 年度）	普通		12
	特支	特支教室	1
		普通教室転用	2
不足教室数			－

イ 児童・学級数の推移グラフ及び表



年度 / 学年	R6 年度		R10 年度		R15 年度		R20 年度		R25 年度	
	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数
1 年	69	2	7	1	6	1	6	1	4	1
2 年	66	2	3	1	6	1	4	1	6	1
3 年	63	2	4		6		6		4	
4 年	56	2	9	1	6	1	6	1	6	1
5 年	61	2	9	1	5		7		4	
6 年	55	2	9	1	8	1	7	1	7	1
計	370	12	41	5	37	4	36	4	31	4

㉒（仮称）中根･金田台地区小学校 【桜学園】 ※令和 8 年 4 月開校予定

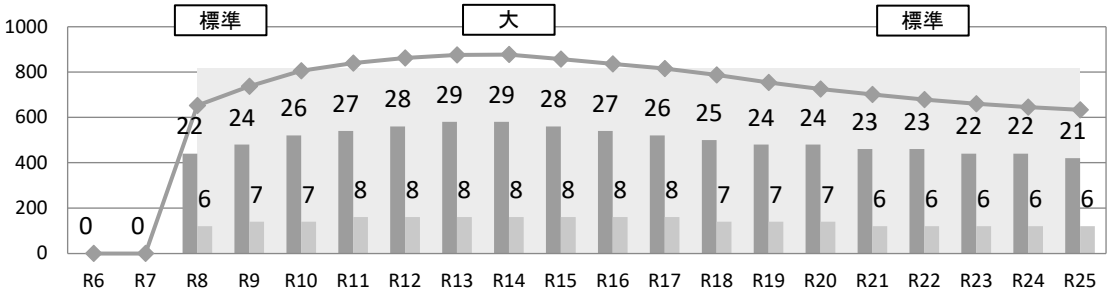
ア 基本情報

所在地	（春風台 16-1、17-1）
指定学校変更制度	－
中学校区	桜
隣接学区	栗原・栄・九重・吾妻

R6 年度児童数	－
R6 年度学級数	－
公務員宿舎関連	－
ＴＸ関連	中根・金田台地区（春風台、桜の森、流星台）

R8 年度最大保有普通教室数			41
R8 年度保有特別支援教室数			6
最大時使用教室数（R13 年度）	普通		29
	特支	特支教室	6
		普通教室転用	1
不足教室数			－

イ 児童・学級数の推移グラフ及び表



年度 / 学年	R6 年度		R10 年度		R15 年度		R20 年度		R25 年度	
	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数
1 年	－	－	144	5	134	4	107	4	98	3
2 年	－	－	154	5	137	4	112	4	100	3
3 年	－	－	136	4	146	5	118	4	104	3
4 年	－	－	133	4	146	5	122	4	107	4
5 年	－	－	124	4	145	5	130	4	111	4
6 年	－	－	114	4	149	5	136	4	113	4
計	－	－	805	26	857	28	725	24	633	21

㉓ 竹園東小学校 【竹園学園】

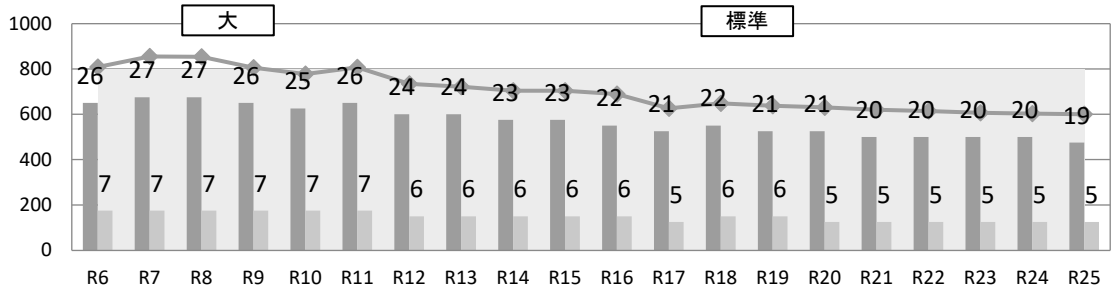
ア 基本情報

所在地	竹園 3-13
指定学校変更制度	九重
中学校区	竹園東
隣接学区	九重・並木・竹園西・吾妻

R6 年度児童数	808
R6 年度学級数	普 26　特 7
公務員宿舎関連	竹園 3 丁目
ＴＸ関連	－

R6 年度最大保有普通教室数			32
R6 年度保有特別支援教室数			11
最大時使用教室数 (R7 年度)	普通		27
	特支	特支教室	7
		普通教室転用	0
不足教室数			－

イ 児童・学級数の推移グラフ及び表



年度 / 学年	R6 年度		R10 年度		R15 年度		R20 年度		R25 年度	
	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数
1 年	151	5	123	4	103	3	97	3	92	3
2 年	118	4	113	4	108	4	99	3	96	3
3 年	139	4	129	4	112	4	103	3	99	3
4 年	150	5	129	4	86	3	107	4	101	3
5 年	124	4	160	5	169	5	111	4	104	3
6 年	126	4	123	4	126	4	113	4	108	4
計	808	26	777	25	704	23	630	21	600	19

㉔ 竹園西小学校 【竹園学園】

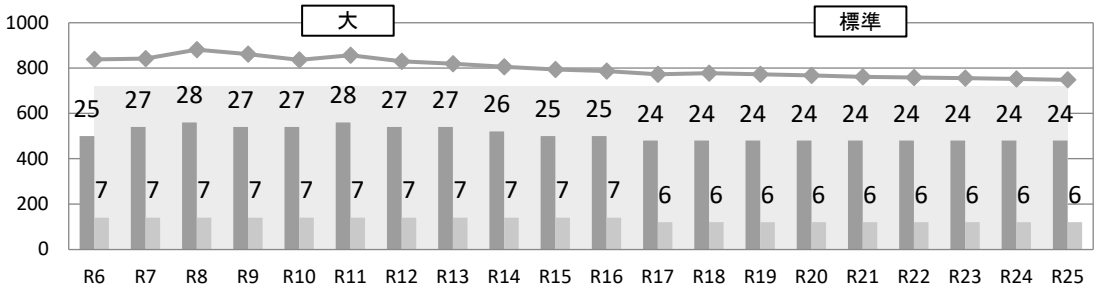
ア 基本情報

所在地	竹園 2-19-3
指定学校変更制度	なし
中学校区	竹園東
隣接学区	吾妻・竹園東・並木・東・二の宮・手代木南・葛城

R6 年度児童数	838
R6 年度学級数	普 25　特 7
公務員宿舎関連	竹園 1 丁目
ＴＸ関連	－

R6 年度最大保有普通教室数			36
R6 年度保有特別支援教室数			1
最大時使用教室数 (R8 年度)	普通		28
	特支	特支教室	1
		普通教室転用	3
不足教室数			－

イ 児童・学級数の推移グラフ及び表



年度 / 学年	R6 年度		R10 年度		R15 年度		R20 年度		R25 年度	
	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数
1 年	143	4	133	4	126	4	122	4	119	4
2 年	119	4	140	4	130	4	124	4	122	4
3 年	159	5	147	5	133	4	127	4	124	4
4 年	167	5	141	5	121	4	130	4	126	4
5 年	112	3	150	5	145	5	131	4	128	4
6 年	138	4	125	4	138	4	133	4	129	4
計	838	25	836	27	793	25	767	24	748	24

㉕ 桜南小学校 【桜並木学園】

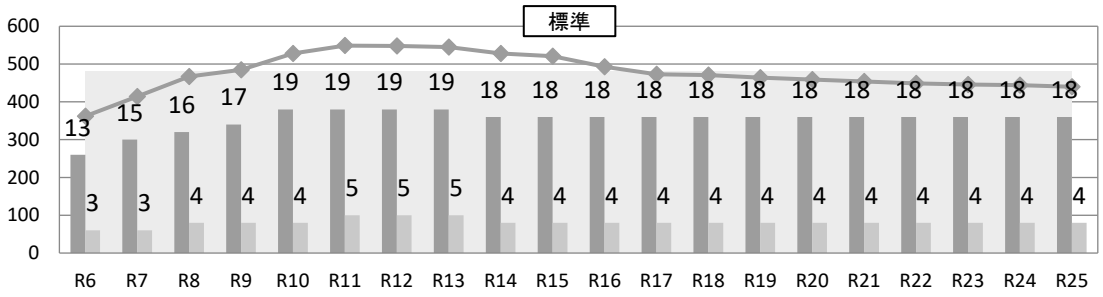
ア 基本情報

所在地	大角豆 789-1
指定学校変更制度	なし
中学校区	並木
隣接学区	小野川・東・並木・九重・栄

R6 年度児童数	362
R6 年度学級数	普 13　特 3
公務員宿舎関連	並木 3 丁目、4 丁目
ＴＸ関連	－

R6 年度最大保有普通教室数			24
R6 年度保有特別支援教室数			3
最大時使用教室数 (R11 年度)	普通		19
	特支	特支教室	3
		普通教室転用	1
不足教室数			－

イ 児童・学級数の推移グラフ及び表



年度 / 学年	R6 年度		R10 年度		R15 年度		R20 年度		R25 年度	
	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数
1 年	67	2	115	4	81	3	75	3	72	3
2 年	72	3	89	3	83	3	76	3	75	3
3 年	60	2	95	3	83	3	77	3	73	3
4 年	57	2	83	3	77	3	76	3	73	3
5 年	55	2	72	3	94	3	77	3	73	3
6 年	51	2	74	3	103	3	78	3	74	3
計	362	13	528	19	521	18	459	18	440	18

㉖ 並木小学校 【桜並木学園】

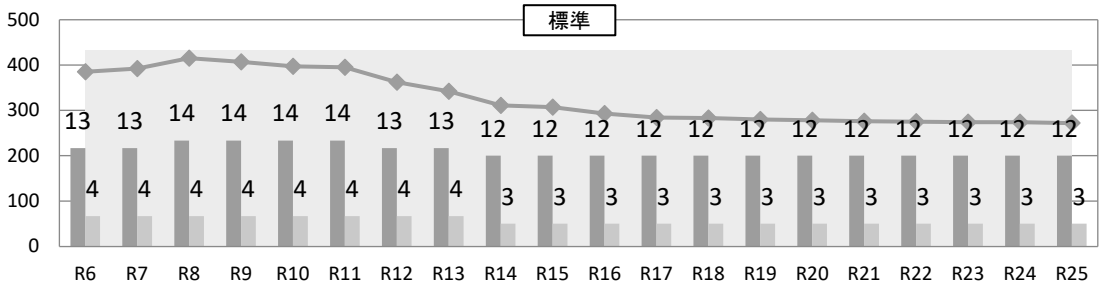
ア 基本情報

所在地	並木 2-12
指定学校変更制度	なし
中学校区	並木
隣接学区	東・竹園西・竹園東・九重・桜南

R6 年度児童数	385
R6 年度学級数	普 13　特 4
公務員宿舎関連	並木 2 丁目、4 丁目
ＴＸ関連	－

R6 年度最大保有普通教室数			26
R6 年度保有特別支援教室数			3
最大時使用教室数 (R8 年度)	普通		14
	特支	特支教室	3
		普通教室転用	1
不足教室数			－

イ 児童・学級数の推移グラフ及び表



年度 / 学年	R6 年度		R10 年度		R15 年度		R20 年度		R25 年度	
	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数
1 年	77	3	57	2	44	2	43	2	41	2
2 年	54	2	54	2	47	2	45	2	45	2
3 年	65	2	79	3	49	2	46	2	45	2
4 年	62	2	70	2	48	2	47	2	45	2
5 年	57	2	80	3	57	2	47	2	47	2
6 年	70	2	57	2	62	2	50	2	49	2
計	385	13	397	14	307	12	278	12	272	12

㉗ 吾妻小学校 【吾妻学園】

※公務員宿舎跡地の大規模な開発が見込まれているが、開発計画や建設戸数等が未定のため、児童数推計には反映していない。

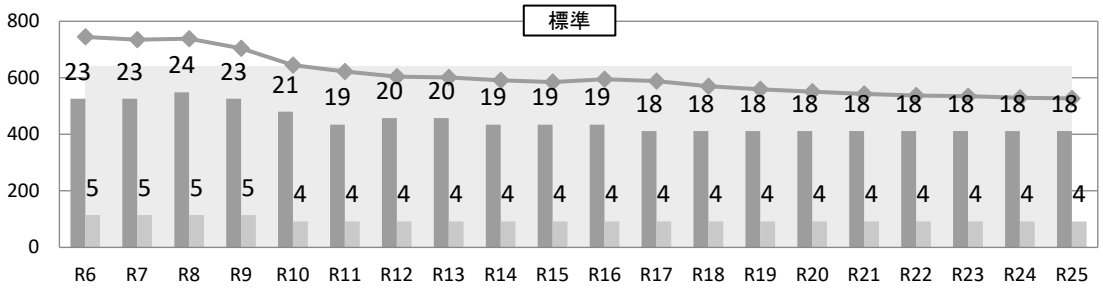
ア 基本情報

所在地	吾妻 2-16
指定学校変更制度	なし
中学校区	吾妻
隣接学区	大曽根・栗原・九重・竹園東・竹園西・手代木南・葛城・要・春日学園

R6 年度児童数	745
R6 年度学級数	普 23　特 5
公務員宿舎関連	吾妻 1 丁目～3 丁目
ＴＸ関連	－

R6 年度最大保有普通教室数			28
R6 年度保有特別支援教室数			10
最大時使用教室数 (R8 年度)	普通		24
	特支	特支教室	5
		普通教室転用	0
不足教室数			－

イ 児童・学級数の推移グラフ及び表



年度 / 学年	R6 年度		R10 年度		R15 年度		R20 年度		R25 年度	
	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数
1 年	131	4	85	3	97	3	89	3	87	3
2 年	120	4	106	4	98	3	90	3	86	3
3 年	137	4	105	3	101	3	91	3	88	3
4 年	132	4	104	3	112	4	94	3	90	3
5 年	93	3	131	4	99	3	95	3	91	3
6 年	132	4	114	4	78	3	92	3	85	3
計	745	23	645	21	585	19	551	18	527	18

㉘ 茎崎第二小学校 【茎崎学園】

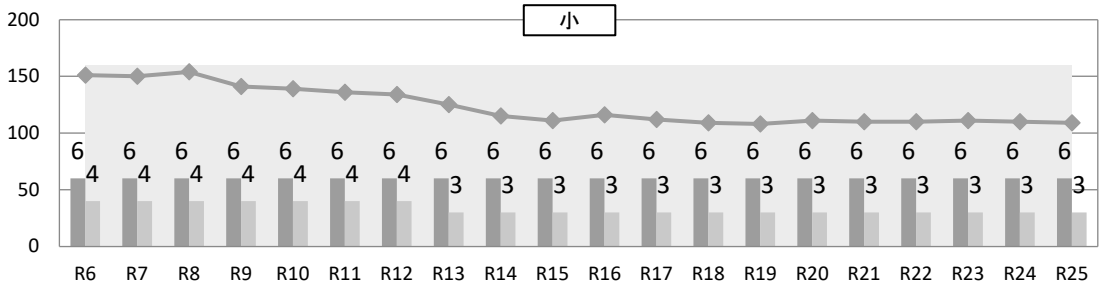
ア 基本情報

所在地	上岩崎 1076
指定学校変更制度	なし
中学校区	茎崎
隣接学区	茎崎第一・谷田部南

R6 年度児童数	151
R6 年度学級数	普 6　特 4
公務員宿舎関連	－
ＴＸ関連	－

R6 年度最大保有普通教室数			16
R6 年度保有特別支援教室数			6
最大時使用教室数 (R7 年度)	普通		6
	特支	特支教室	4
		普通教室転用	0
不足教室数			－

イ 児童・学級数の推移グラフ及び表



年度 / 学年	R6 年度		R10 年度		R15 年度		R20 年度		R25 年度	
	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数
1 年	21	1	16	1	16	1	19	1	16	1
2 年	24	1	21	1	18	1	17	1	18	1
3 年	20	1	28	1	18	1	19	1	19	1
4 年	33	1	27	1	20	1	18	1	18	1
5 年	22	1	23	1	21	1	20	1	18	1
6 年	31	1	24	1	18	1	18	1	20	1
計	151	6	139	6	111	6	111	6	109	6

㉙ 茎崎第三小学校 【茎崎学園】

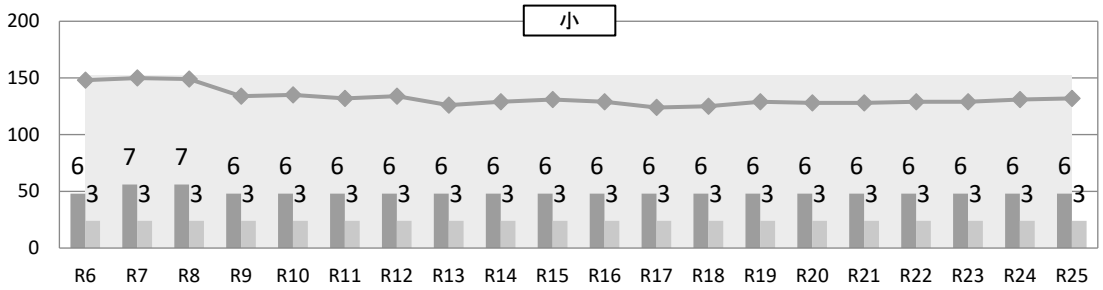
ア 基本情報

所在地	小茎 798-1
指定学校変更制度	なし
中学校区	茎崎
隣接学区	茎崎第一

R6 年度児童数	148
R6 年度学級数	普 6　特 3
公務員宿舎関連	－
ＴＸ関連	－

R6 年度最大保有普通教室数			19
R6 年度保有特別支援教室数			3
最大時使用教室数 (R7 年度)	普通		7
	特支	特支教室	3
		普通教室転用	0
不足教室数			－

イ 児童・学級数の推移グラフ及び表



年度 / 学年	R6 年度		R10 年度		R15 年度		R20 年度		R25 年度	
	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数
1 年	17	1	21	1	21	1	21	1	20	1
2 年	25	1	20	1	22	1	20	1	21	1
3 年	21	1	21	1	18	1	20	1	21	1
4 年	36	1	25	1	20	1	22	1	23	1
5 年	23	1	19	1	25	1	21	1	23	1
6 年	26	1	29	1	25	1	24	1	24	1
計	148	6	135	6	131	6	128	6	132	6

㉚ 茎崎第一小学校 【高崎学園】

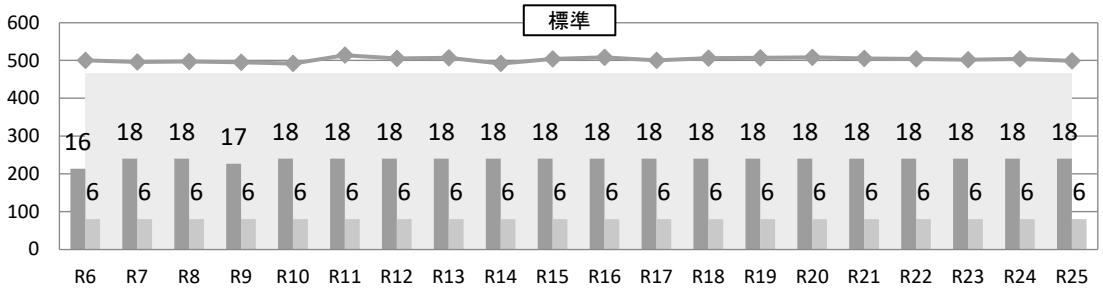
ア 基本情報

所在地	高崎 2290
指定学校変更制度	なし
中学校区	高崎
隣接学区	茎崎第二・茎崎第三・谷田部南・谷田部・小野川

R6 年度児童数	500
R6 年度学級数	普 16　特 6
公務員宿舎関連	－
ＴＸ関連	－

R6 年度最大保有普通教室数			35
R6 年度保有特別支援教室数			3
最大時使用教室数 (R7 年度)	普通		18
	特支	特支教室	3
		普通教室転用	2
不足教室数			－

イ 児童・学級数の推移グラフ及び表



年度 / 学年	R6 年度		R10 年度		R15 年度		R20 年度		R25 年度	
	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数
1 年	78	3	77	3	83	3	83	3	77	3
2 年	71	2	72	3	82	3	83	3	83	3
3 年	81	2	96	3	83	3	82	3	83	3
4 年	79	3	85	3	76	3	85	3	83	3
5 年	96	3	87	3	96	3	86	3	85	3
6 年	95	3	75	3	84	3	89	3	88	3
計	500	16	492	18	504	18	508	18	499	18

㉛ 研究学園小学校 【虹色学園】

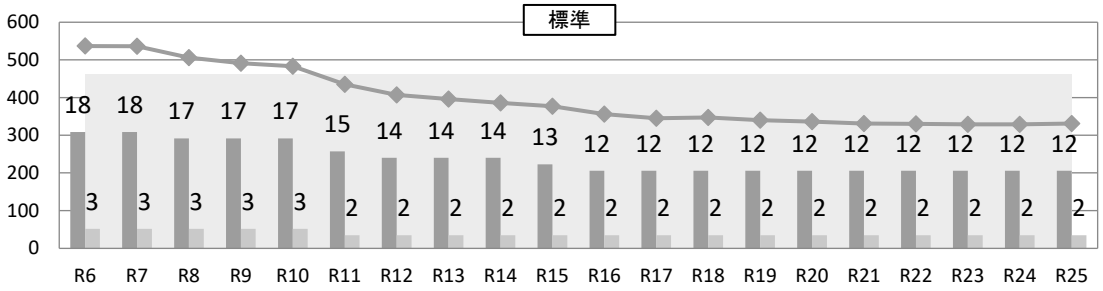
ア 基本情報

所在地	研究学園 2-26
指定学校変更制度	なし
中学校区	研究学園
隣接学区	沼崎・葛城・柳橋・島名・学園の森・春日学園

R6 年度児童数	537
R6 年度学級数	普 18　特 3
公務員宿舎関連	－
ＴＸ関連	葛城地区（研究学園 4 丁目～5 丁目、学園南 1 丁目）

R6 年度最大保有普通教室数			27
R6 年度保有特別支援教室数			4
最大時使用教室数 (R7 年度)	普通		18
	特支	特支教室	3
		普通教室転用	0
不足教室数			－

イ 児童・学級数の推移グラフ及び表



年度 / 学年	R6 年度		R10 年度		R15 年度		R20 年度		R25 年度	
	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数
1 年	81	3	75	3	56	2	51	2	53	2
2 年	110	4	69	2	59	2	53	2	54	2
3 年	87	3	68	2	60	2	56	2	54	2
4 年	86	3	72	3	56	2	56	2	56	2
5 年	98	3	86	3	66	2	59	2	57	2
6 年	75	2	113	4	80	3	61	2	57	2
計	537	18	483	17	377	13	336	12	331	12

㉜ 谷田部南小学校 【翠輝学園】

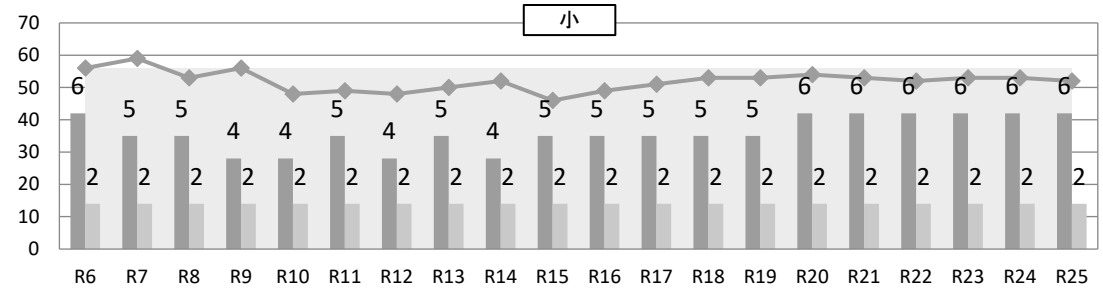
ア 基本情報

所在地	境田 191-1
指定学校変更制度	なし
中学校区	みどりの南
隣接学区	谷田部・茎崎第一・茎崎第二・みどりの南

R6 年度児童数	56
R6 年度学級数	普 6　特 2
公務員宿舎関連	－
ＴＸ関連	－

R6 年度最大保有普通教室数			8
R6 年度保有特別支援教室数			3
最大時使用教室数 (R20 年度)	普通		6
	特支	特支教室	2
		普通教室転用	0
不足教室数			－

イ 児童・学級数の推移グラフ及び表



年度 / 学年	R6 年度		R10 年度		R15 年度		R20 年度		R25 年度	
	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数
1 年	7	1	6	1	8	1	9	1	8	1
2 年	6	1	13	1	9	1	9	1	9	1
3 年	14	1	7	1	9	1	9	1	9	1
4 年	9	1	7		7	1	9	1	8	1
5 年	13	1	8	1	7		9	1	9	1
6 年	7	1	7		6	1	9	1	9	1
計	56	6	48	4	46	5	54	6	52	6

㉝ みどりの南小学校 【翠輝学園】

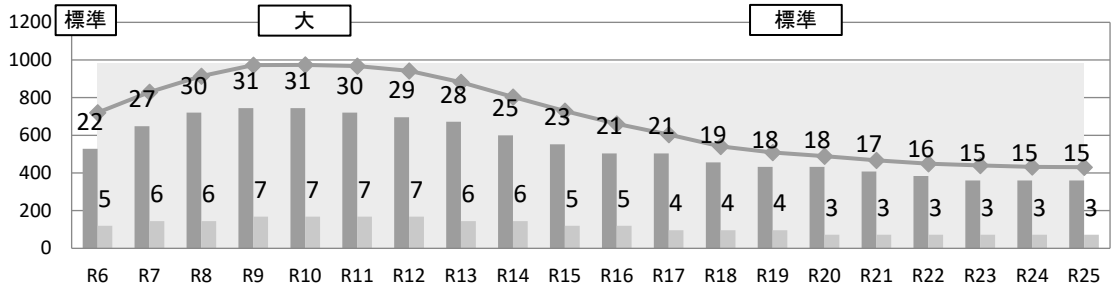
ア 基本情報

所在地	みどりの南 106-3
指定学校変更制度	谷田部南・みどりの学園
中学校区	みどりの南
隣接学区	谷田部・谷田部南・みどりの学園

R6 年度児童数	720
R6 年度学級数	普 22　特 5
公務員宿舎関連	－
ＴＸ関連	萱丸地区（みどりの南、みどりの東）

R6 年度最大保有普通教室数			41
R6 年度保有特別支援教室数			5
最大時使用教室数（R9 年度）	普通		31
	特支	特支教室	5
		普通教室転用	1
不足教室数			－

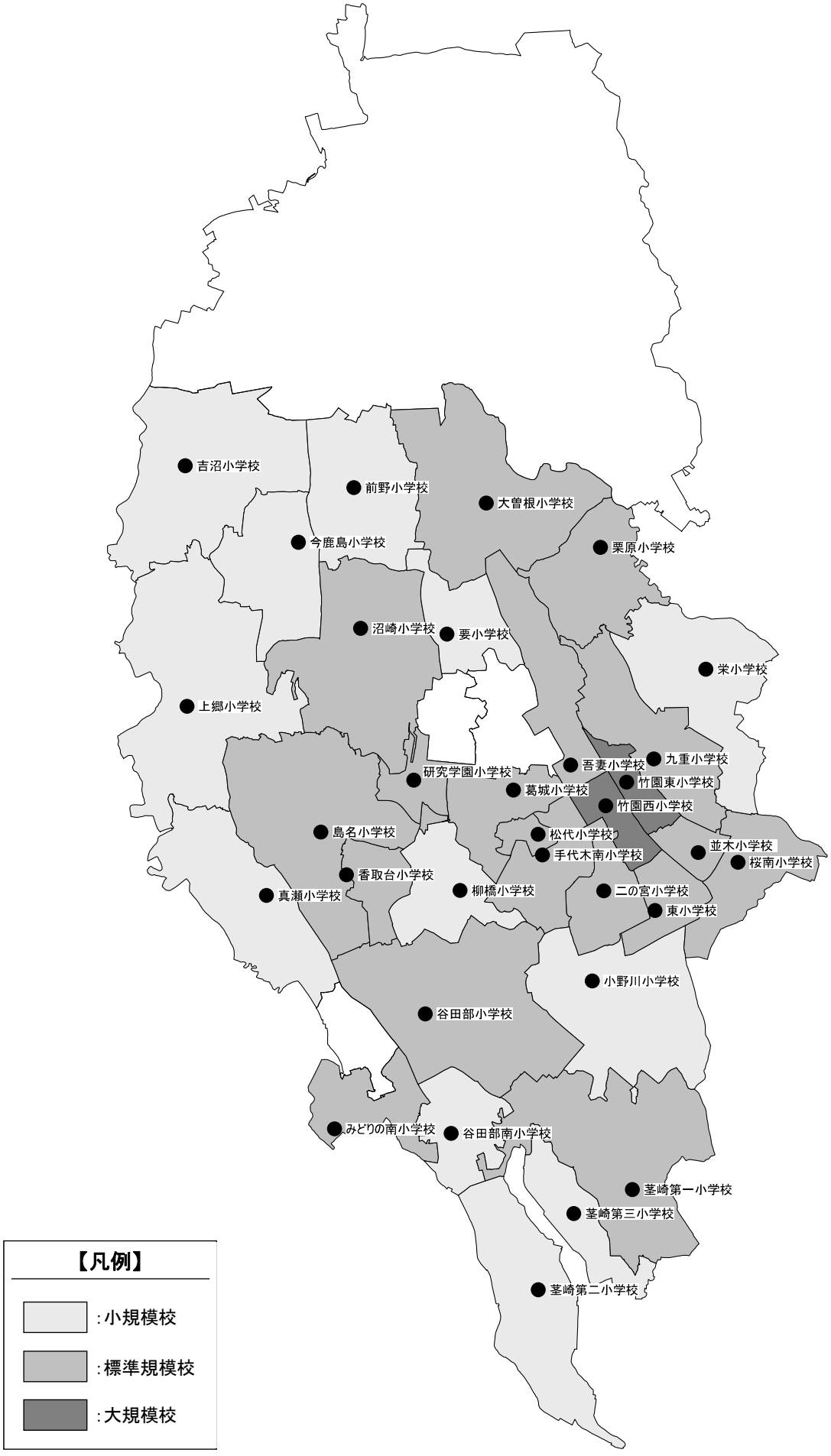
イ 児童・学級数の推移グラフ及び表



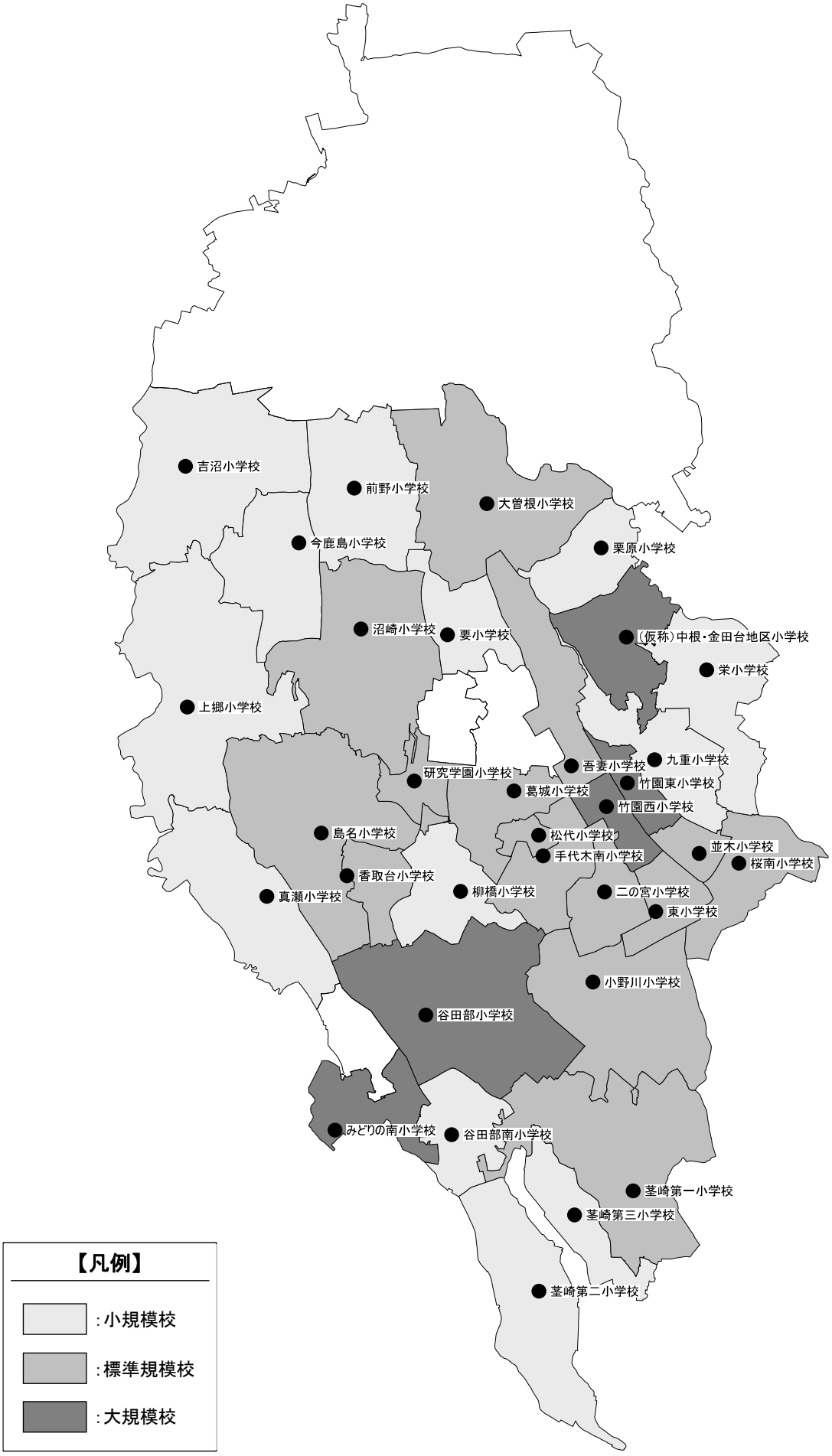
年度 / 学年	R6 年度		R10 年度		R15 年度		R20 年度		R25 年度	
	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数
1 年	162	5	153	5	93	3	73	3	67	2
2 年	142	4	170	5	97	3	73	3	69	2
3 年	151	5	178	6	105	3	78	3	70	2
4 年	108	3	166	5	142	5	82	3	71	3
5 年	92	3	164	5	139	4	87	3	74	3
6 年	65	2	143	5	153	5	96	3	80	3
計	720	22	974	31	729	23	489	18	431	15

（2）小学校区の期別推移図

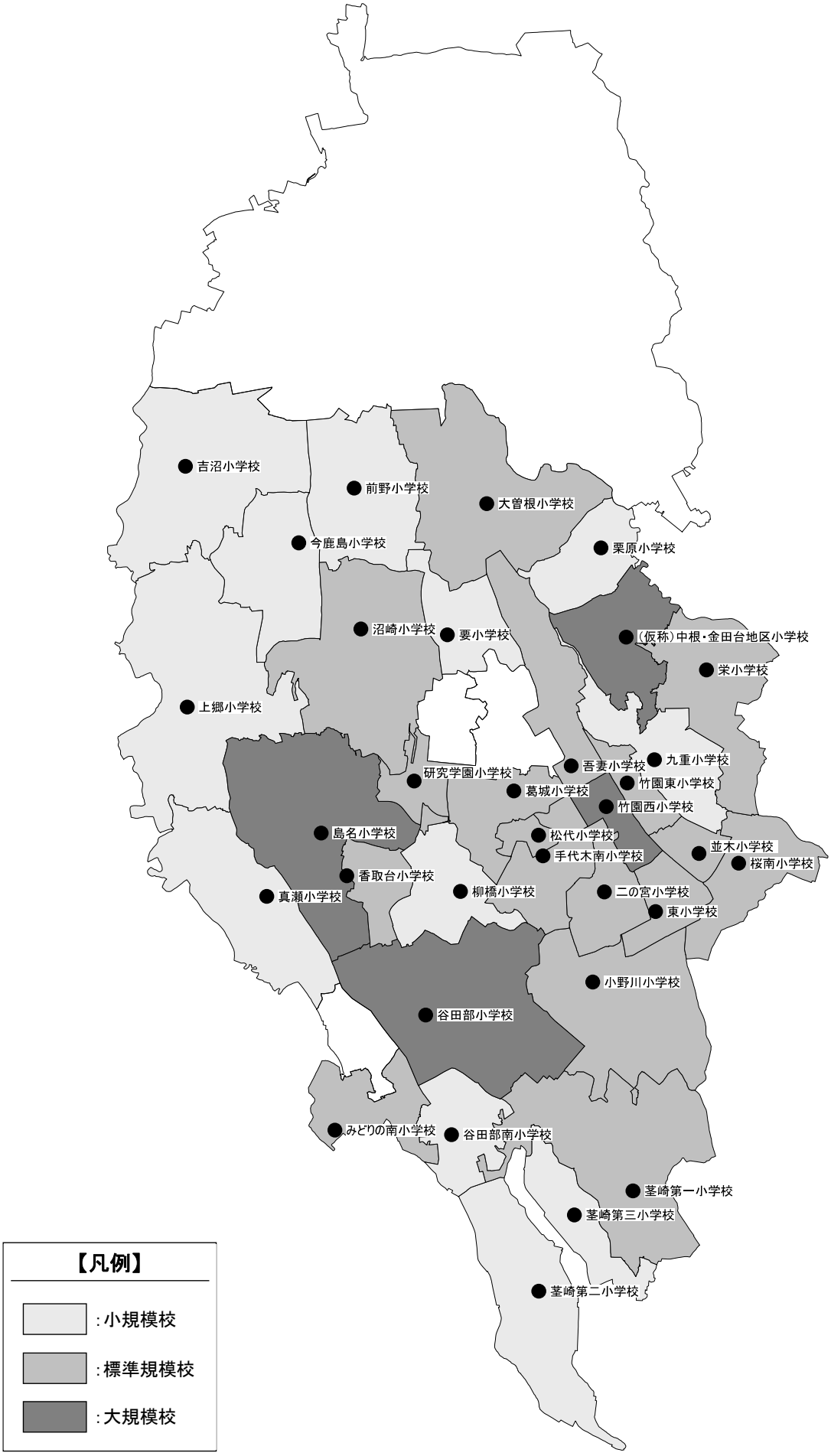
【令和 6 年度】



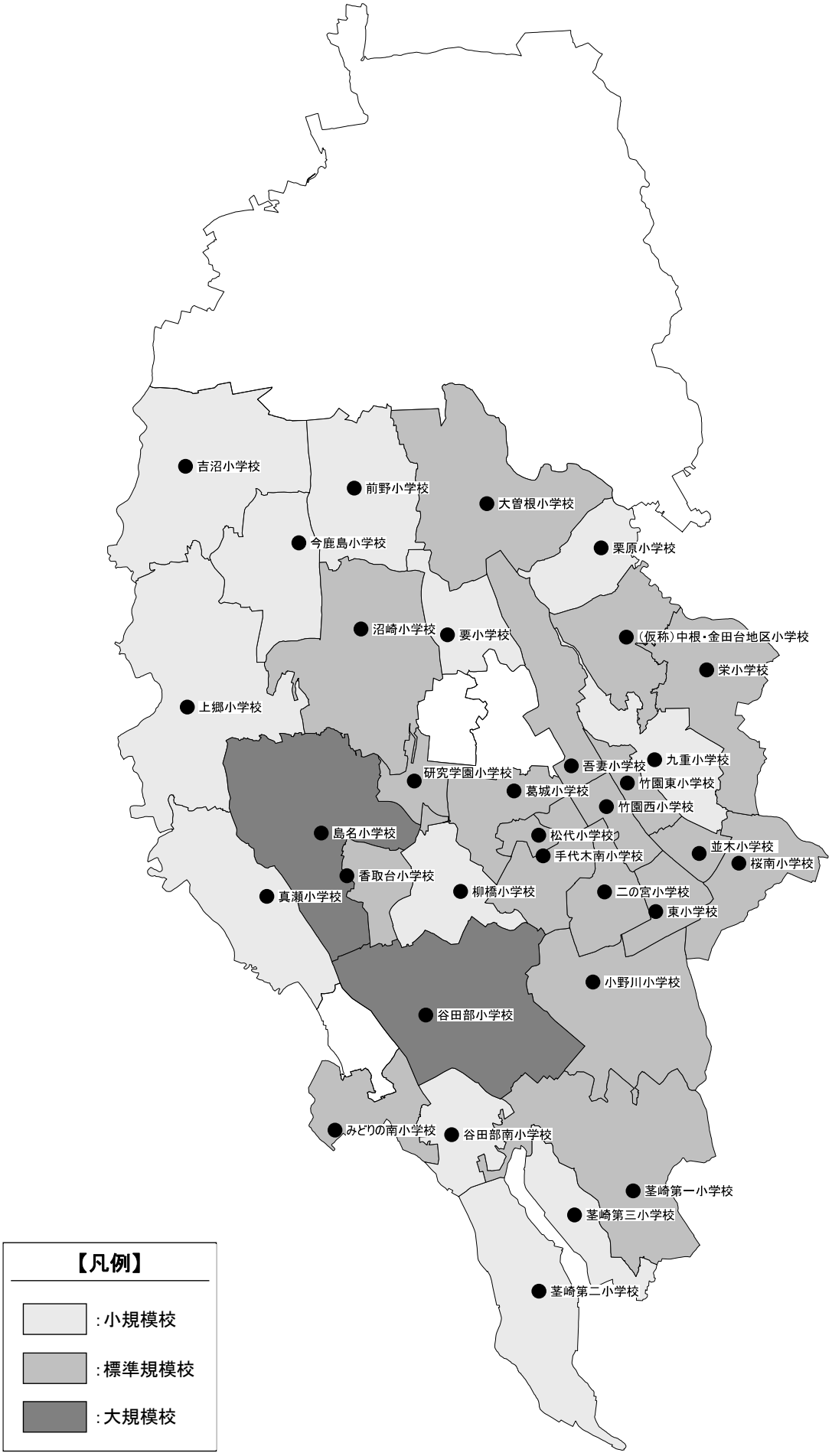
【令和 10 年度】


吉沼小学校
前野小学校
大曽根小学校
今鹿島小学校
栗原小学校
沼崎小学校
要小学校
（仮称）中根・金田台地区小学校
栄小学校
上郷小学校
吾妻小学校
九重小学校
研究学園小学校
竹園東小学校
葛城小学校
竹園西小学校
島名小学校
松代小学校
並木小学校
手代木南小学校
桜南小学校
香取台小学校
真瀬小学校
柳橋小学校
二の宮小学校
東小学校
小野川小学校
谷田部小学校
みどりの南小学校
谷田部南小学校
茎崎第一小学校
茎崎第三小学校
茎崎第二小学校
【凡例】
：小規模校
：標準規模校
：大規模校

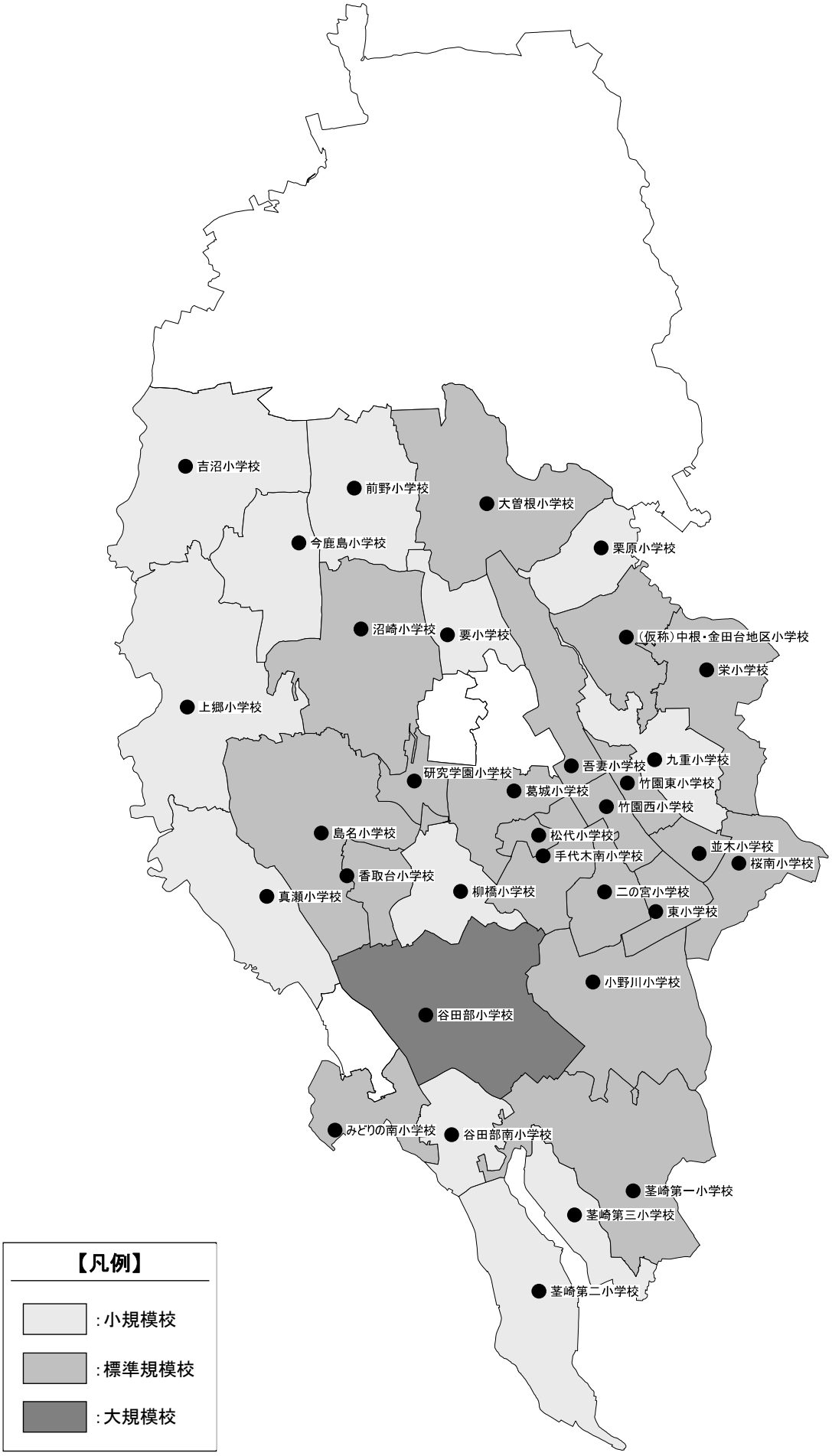
【令和 15 年度】


吉沼小学校
前野小学校
大曽根小学校
今鹿島小学校
栗原小学校
沼崎小学校
要小学校
（仮称）中根・金田台地区小学校
栄小学校
上郷小学校
吾妻小学校
九重小学校
研究学園小学校
竹園東小学校
葛城小学校
竹園西小学校
島名小学校
松代小学校
並木小学校
手代木南小学校
桜南小学校
香取台小学校
真瀬小学校
柳橋小学校
二の宮小学校
東小学校
小野川小学校
谷田部小学校
みどりの南小学校
谷田部南小学校
茎崎第一小学校
茎崎第三小学校
茎崎第二小学校
【凡例】
：小規模校
：標準規模校
：大規模校

【令和 20 年度】


吉沼小学校
前野小学校
大曽根小学校
今鹿島小学校
栗原小学校
沼崎小学校
要小学校
（仮称）中根・金田台地区小学校
栄小学校
上郷小学校
吾妻小学校
九重小学校
研究学園小学校
竹園東小学校
葛城小学校
竹園西小学校
島名小学校
松代小学校
並木小学校
手代木南小学校
桜南小学校
香取台小学校
真瀬小学校
柳橋小学校
二の宮小学校
東小学校
小野川小学校
谷田部小学校
みどりの南小学校
谷田部南小学校
茎崎第一小学校
茎崎第三小学校
茎崎第二小学校
【凡例】
：小規模校
：標準規模校
：大規模校

【令和 25 年度】


吉沼小学校
前野小学校
大曽根小学校
今鹿島小学校
栗原小学校
沼崎小学校
要小学校
（仮称）中根・金田台地区小学校
栄小学校
上郷小学校
吾妻小学校
九重小学校
研究学園小学校
竹園東小学校
葛城小学校
竹園西小学校
島名小学校
松代小学校
並木小学校
手代木南小学校
桜南小学校
香取台小学校
真瀬小学校
柳橋小学校
二の宮小学校
東小学校
小野川小学校
谷田部小学校
みどりの南小学校
谷田部南小学校
茎崎第一小学校
茎崎第三小学校
茎崎第二小学校
【凡例】
：小規模校
：標準規模校
：大規模校

4．中学校区の将来推計

（1）中学校の推移グラフ及び表

① 大穂中学校 【大穂学園】

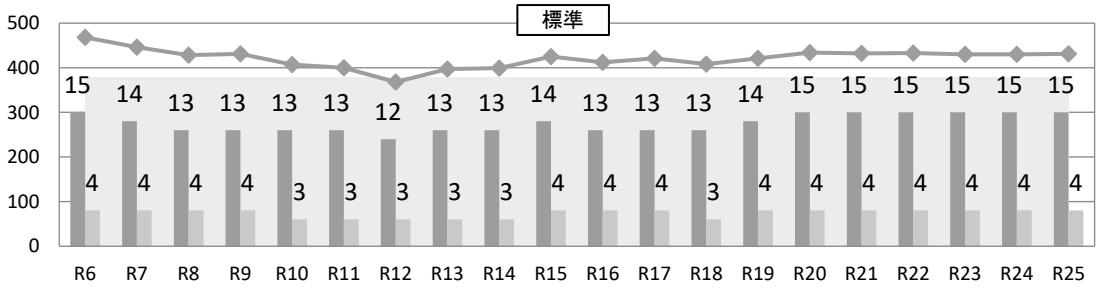
ア 基本情報

所在地	篠崎 475
指定学校変更制度	豊里
小学校区	大曽根・前野・要・吉沼
隣接学区	豊里・吾妻・桜・秀峰筑波・学園の森・春日学園

R6 年度生徒数	468
R6 年度学級数	普 15　特 4
公務員宿舎関連	－
ＴＸ関連	－

R6 年度最大保有普通教室数			19
R6 年度保有特別支援教室数			5
最大時使用教室数（R20 年度）	普通		15
	特支	特支教室	4
		普通教室転用	0
不足教室数		－	

イ 生徒・学級数の推移グラフ及び表



年度 / 学年	R6 年度		R10 年度		R15 年度		R20 年度		R25 年度	
	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数
1 年	156	5	113	4	156	5	146	5	144	5
2 年	152	5	162	5	125	4	143	5	143	5
3 年	160	5	132	4	144	5	145	5	144	5
計	468	15	407	13	425	14	434	15	431	15

② 豊里中学校 【豊里学園】

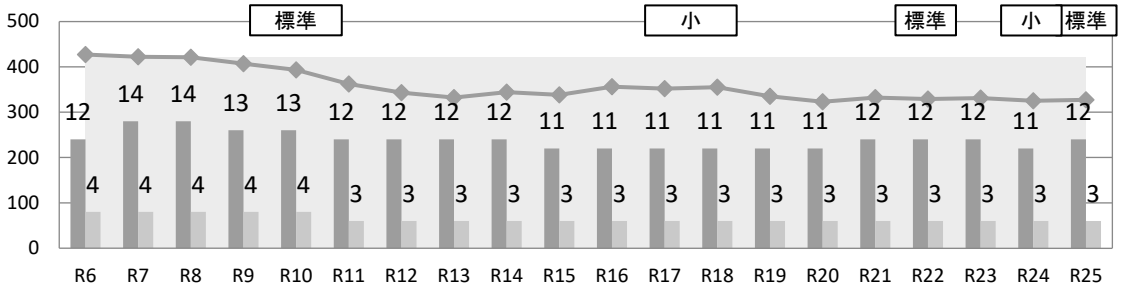
ア 基本情報

所在地	高野 1213
指定学校変更制度	なし
小学校区	沼崎・今鹿島・上郷
隣接学区	大穂・高山・研究学園・学園の森

R6 年度生徒数	427
R6 年度学級数	普 12　特 4
公務員宿舎関連	－
ＴＸ関連	－

R6 年度最大保有普通教室数			21
R6 年度保有特別支援教室数			7
最大時使用教室数（R7 年度）	普通		14
	特支	特支教室	4
		普通教室転用	0
不足教室数		－	

イ 生徒・学級数の推移グラフ及び表



年度 / 学年	R6 年度		R10 年度		R15 年度		R20 年度		R25 年度	
	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数
1 年	142	4	121	4	100	3	107	4	109	4
2 年	144	4	130	4	124	4	112	4	107	4
3 年	141	4	142	5	114	4	104	3	111	4
計	427	12	393	13	338	11	323	11	327	12

③ 谷田部中学校 【輝翔学園】

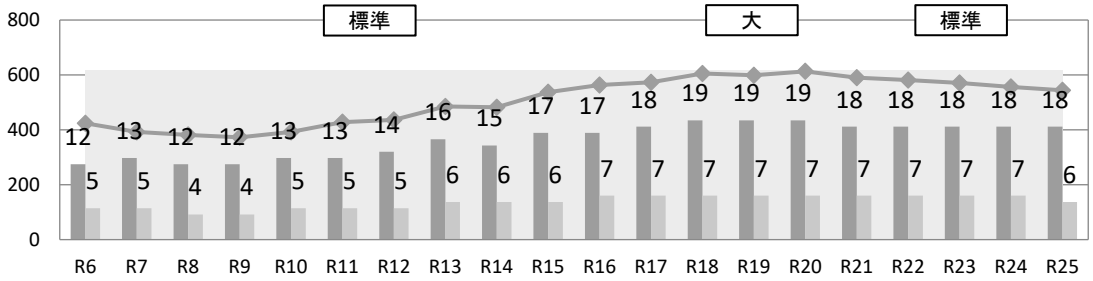
ア 基本情報

所在地	谷田部 6100
指定学校変更制度	なし
小学校区	谷田部・柳橋
隣接学区	高山・研究学園・手代木・谷田部東・高崎・みどりの南・みどりの学園

R6 年度生徒数	424
R6 年度学級数	普 12　特 5
公務員宿舎関連	－
ＴＸ関連	島名・福田坪地区（陣馬）

R6 年度最大保有普通教室数			27
R6 年度保有特別支援教室数			3
最大時使用教室数（R18 年度）	普通		19
	特支	特支教室	3
		普通教室転用	2
不足教室数			－

イ 生徒・学級数の推移グラフ及び表



年度 / 学年	R6 年度		R10 年度		R15 年度		R20 年度		R25 年度	
	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数
1 年	127	4	127	4	184	6	198	6	178	6
2 年	149	4	123	4	175	5	198	6	179	6
3 年	148	4	142	5	178	6	217	7	187	6
計	424	12	392	13	537	17	613	19	544	18

④ 高山中学校 【高山学園】

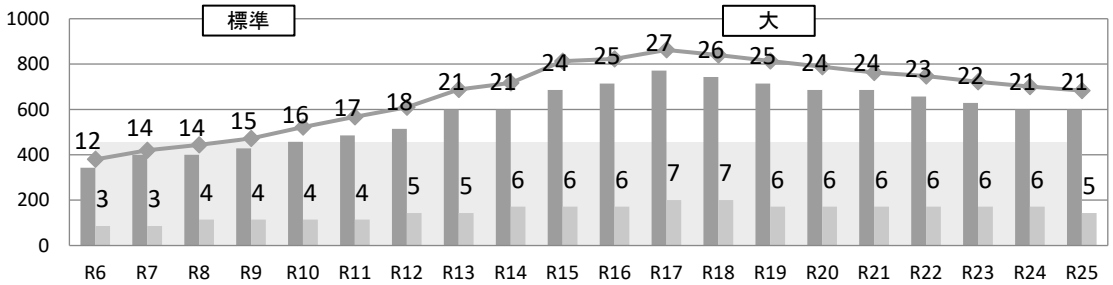
ア 基本情報

所在地	下河原崎 503
指定学校変更制度	谷田部
小学校区	真瀬・島名・香取台
隣接学区	豊里・研究学園・手代木・谷田部・みどりの学園

R6 年度生徒数	380
R6 年度学級数	普 12　特 3
公務員宿舎関連	－
ＴＸ関連	上河原崎・中西地区・島名・福田坪地区

R6 年度最大保有普通教室数			16
R6 年度保有特別支援教室数			4
最大時使用教室数（R17 年度）	普通		27
	特支	特支教室	4
		普通教室転用	2
不足教室数			(27+2)-16＝13 教室

イ 生徒・学級数の推移グラフ及び表



年度 / 学年	R6 年度		R10 年度		R15 年度		R20 年度		R25 年度	
	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数
1 年	128	4	196	6	298	9	255	8	224	7
2 年	139	4	159	5	241	7	258	8	229	7
3 年	113	4	167	5	274	8	275	8	230	7
計	380	12	522	16	813	24	788	24	683	21

⑤ 手代木中学校 【光輝学園】

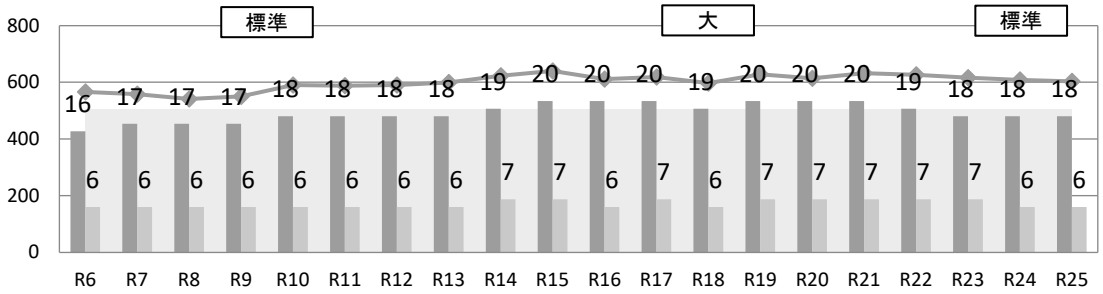
ア 基本情報

所在地	松代 5-10
指定学校変更制度	なし
小学校区	葛城・手代木南・松代
隣接学区	谷田部・谷田部東・竹園東・吾妻・研究学園・高山・春日学園

R6 年度生徒数	566
R6 年度学級数	普 16　特 6
公務員宿舎関連	松代 4 丁目、5 丁目
ＴＸ関連	葛城地区（学園南）

R6 年度最大保有普通教室数			19
R6 年度保有特別支援教室数			14
最大時使用教室数 (R15 年度)	普通		20
	特支	特支教室	7
		普通教室転用	0
不足教室数			(20+0)-19=1 教室

イ 生徒・学級数の推移グラフ及び表



年度 / 学年	R6 年度		R10 年度		R15 年度		R20 年度		R25 年度	
	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数
1 年	175	5	198	6	212	7	211	7	200	6
2 年	206	6	195	6	218	7	211	7	199	6
3 年	185	5	197	6	210	6	192	6	204	6
計	566	16	590	18	640	20	614	20	603	18

⑥ 谷田部東中学校 【洞峰学園】

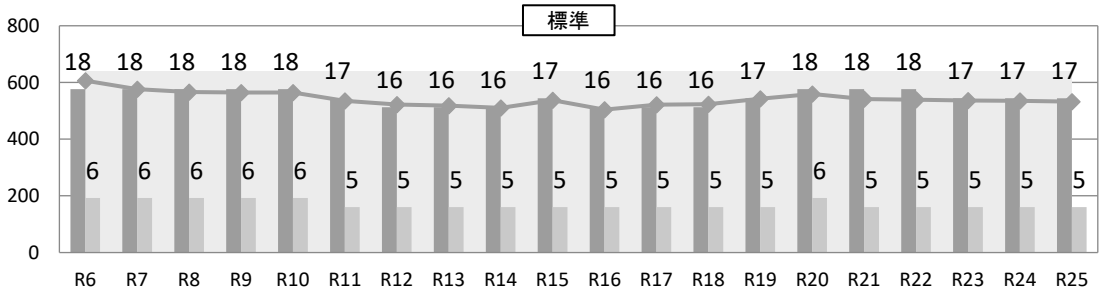
ア 基本情報

所在地	東 2-25-1
指定学校変更制度	竹園東・並木
小学校区	小野川・二の宮・東
隣接学区	谷田部・手代木・竹園東・並木・高崎

R6 年度生徒数	606
R6 年度学級数	普 18　特 6
公務員宿舎関連	－
ＴＸ関連	－

R6 年度最大保有普通教室数			20
R6 年度保有特別支援教室数			8
最大時使用教室数 (R7 年度)	普通		18
	特支	特支教室	6
		普通教室転用	0
不足教室数			－

イ 生徒・学級数の推移グラフ及び表



年度 / 学年	R6 年度		R10 年度		R15 年度		R20 年度		R25 年度	
	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数
1 年	182	5	192	6	192	6	180	6	175	5
2 年	195	6	180	6	149	5	180	6	178	6
3 年	229	7	192	6	196	6	199	6	179	6
計	606	18	564	18	537	17	559	18	532	17

⑦ 桜中学校 【桜学園】

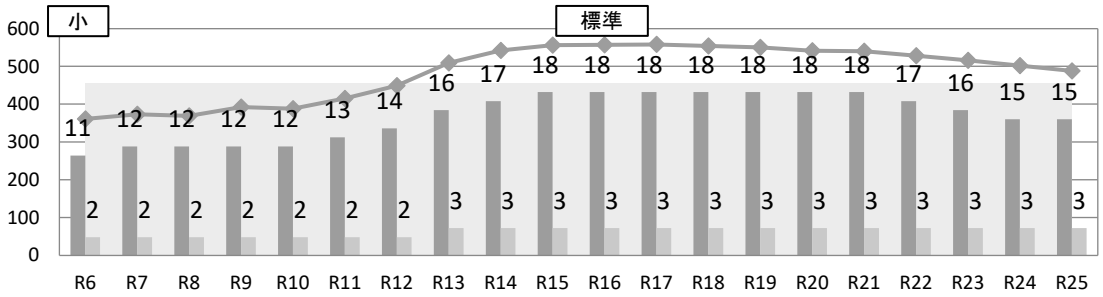
ア 基本情報

所在地	さくらの森 32
指定学校変更制度	並木
小学校区	栄・九重・栗原
隣接学区	大穂・竹園東・並木・吾妻・秀峰筑波

R6 年度生徒数	361
R6 年度学級数	普 11　特 2
公務員宿舎関連	－
ＴＸ関連	中根・金田台地区

R6 年度最大保有普通教室数			19
R6 年度保有特別支援教室数			1
最大時使用教室数 (R15 年度)	普通		18
	特支	特支教室	1
		普通教室転用	1
不足教室数			－

イ 生徒・学級数の推移グラフ及び表



年度 / 学年	R6 年度		R10 年度		R15 年度		R20 年度		R25 年度	
	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数
1 年	110	3	124	4	186	6	180	6	158	5
2 年	125	4	138	4	186	6	183	6	163	5
3 年	126	4	126	4	184	6	178	6	167	5
計	361	11	388	12	556	18	541	18	488	15

⑧ 竹園東中学校 【竹園学園】

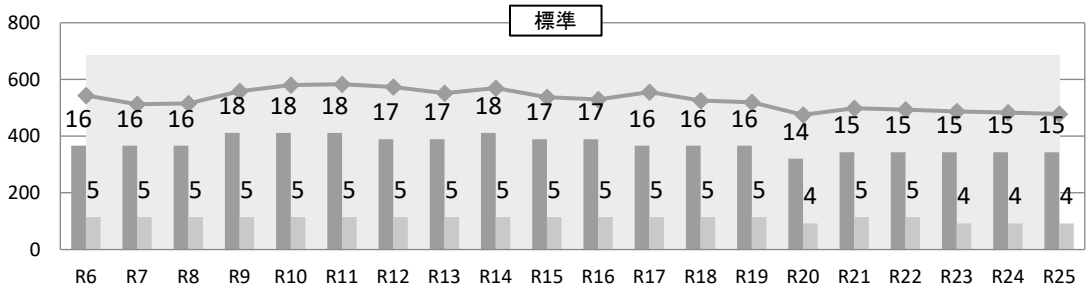
ア 基本情報

所在地	竹園 3-11
指定学校変更制度	桜
小学校区	竹園東・竹園西
隣接学区	手代木・谷田部東・桜・並木・吾妻

R6 年度生徒数	543
R6 年度学級数	普 16　特 5
公務員宿舎関連	竹園 1 丁目、3 丁目
ＴＸ関連	－

R6 年度最大保有普通教室数			30
R6 年度保有特別支援教室数			6
最大時使用教室数 (R9 年度)	普通		18
	特支	特支教室	5
		普通教室転用	0
不足教室数			－

イ 生徒・学級数の推移グラフ及び表



年度 / 学年	R6 年度		R10 年度		R15 年度		R20 年度		R25 年度	
	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数
1 年	170	5	205	6	171	5	166	5	157	5
2 年	158	5	213	7	184	6	169	5	159	5
3 年	215	6	162	5	182	6	140	4	162	5
計	543	16	580	18	537	17	475	14	478	15

⑨ 並木中学校 【桜並木学園】

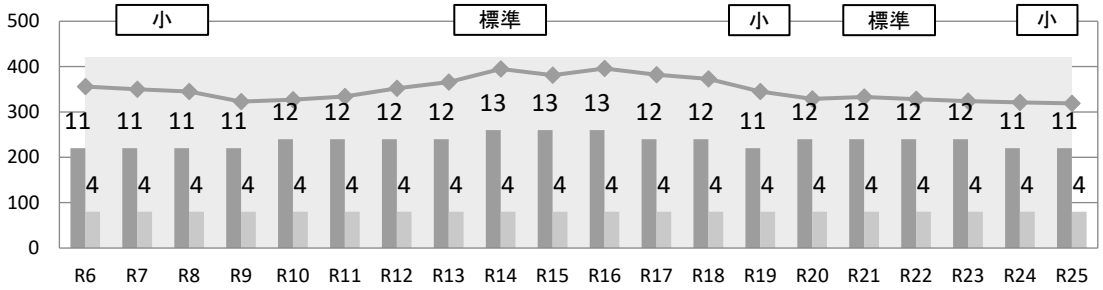
ア 基本情報

所在地	並木 3-8
指定学校変更制度	なし
小学校区	桜南・並木
隣接学区	谷田部東・桜・竹園東

R6 年度生徒数	356
R6 年度学級数	普 11　特 4
公務員宿舎関連	並木 1 丁目～4 丁目
ＴＸ関連	－

R6 年度最大保有普通教室数			21
R6 年度保有特別支援教室数			10
最大時使用教室数（R14 年度）	普通		13
	特支	特支教室	4
		普通教室転用	0
不足教室数		－	

イ 生徒・学級数の推移グラフ及び表



年度 / 学年	R6 年度		R10 年度		R15 年度		R20 年度		R25 年度	
	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数
1 年	123	4	111	4	114	4	110	4	104	3
2 年	111	3	110	4	141	5	112	4	106	4
3 年	122	4	106	4	126	4	107	4	109	4
計	356	11	327	12	381	13	329	12	319	11

⑩ 吾妻中学校 【吾妻学園】

※公務員宿舎跡地の大規模な開発が見込まれているが、開発計画や建設戸数等が未定のため、生徒数推計には反映していない。

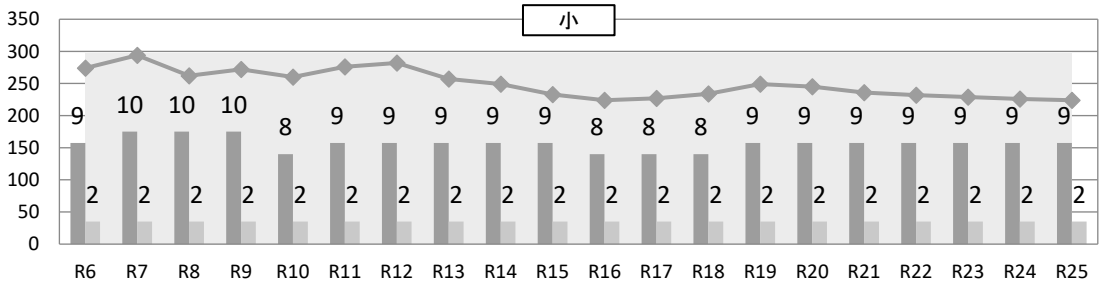
ア 基本情報

所在地	天久保 1-9-1
指定学校変更制度	なし
小学校区	吾妻
隣接学区	大穂・手代木・桜・竹園東・春日学園

R6 年度生徒数	274
R6 年度学級数	普 9　特 2
公務員宿舎関連	吾妻 1 丁目～3 丁目
ＴＸ関連	－

R6 年度最大保有普通教室数			17
R6 年度保有特別支援教室数			5
最大時使用教室数（R7 年度）	普通		10
	特支	特支教室	2
		普通教室転用	0
不足教室数		－	

イ 生徒・学級数の推移グラフ及び表



年度 / 学年	R6 年度		R10 年度		R15 年度		R20 年度		R25 年度	
	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数
1 年	83	3	99	3	83	3	79	3	75	3
2 年	100	3	92	3	79	3	80	3	75	3
3 年	91	3	69	2	71	3	86	3	74	3
計	274	9	260	8	233	9	245	9	224	9

⑪ 茎崎中学校 【茎崎学園】

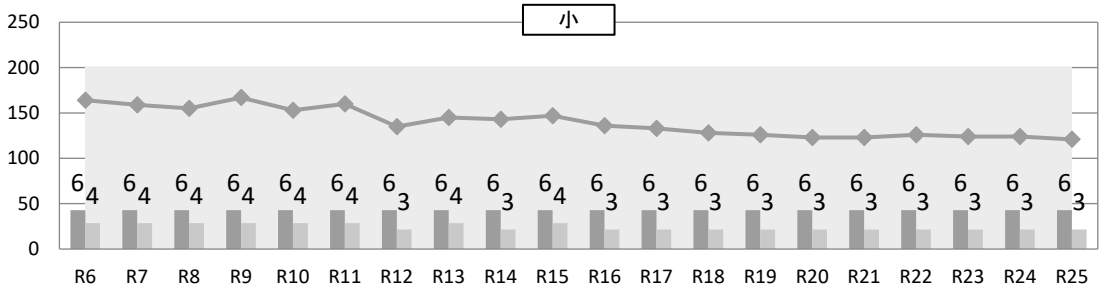
ア 基本情報

所在地	小茎 450
指定学校変更制度	なし
小学校区	茎崎第二、茎崎第三
隣接学区	みどりの南・高崎

R6 年度生徒数	164
R6 年度学級数	普 6　特 4
公務員宿舎関連	－
ＴＸ関連	－

R6 年度最大保有普通教室数			28
R6 年度保有特別支援教室数			0
最大時使用教室数 (R7 年度)	普通		6
	特支	特支教室	0
		普通教室転用	2
不足教室数			－

イ 生徒・学級数の推移グラフ及び表



年度 / 学年	R6 年度		R10 年度		R15 年度		R20 年度		R25 年度	
	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数
1 年	54	2	42	2	44	2	42	2	39	2
2 年	48	2	66	2	50	2	39	2	41	2
3 年	62	2	45	2	53	2	42	2	41	2
計	164	6	153	6	147	6	123	6	121	6

⑫ 高崎中学校 【高崎学園】

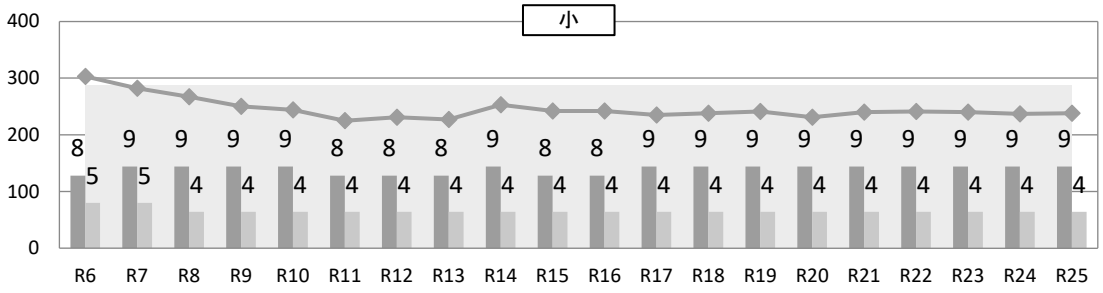
ア 基本情報

所在地	高崎 1730
指定学校変更制度	なし
小学校区	茎崎第一
隣接学区	谷田部・谷田部東・茎崎・みどりの南

R6 年度生徒数	303
R6 年度学級数	普 8　特 5
公務員宿舎関連	－
ＴＸ関連	－

R6 年度最大保有普通教室数			18
R6 年度保有特別支援教室数			2
最大時使用教室数 (R7 年度)	普通		9
	特支	特支教室	2
		普通教室転用	2
不足教室数			－

イ 生徒・学級数の推移グラフ及び表



年度 / 学年	R6 年度		R10 年度		R15 年度		R20 年度		R25 年度	
	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数
1 年	91	2	79	3	69	2	79	3	79	3
2 年	102	3	76	3	94	3	79	3	78	3
3 年	110	3	89	3	79	3	73	3	81	3
計	303	8	244	9	242	8	231	9	238	9

⑬ 研究学園中学校 【虹色学園】

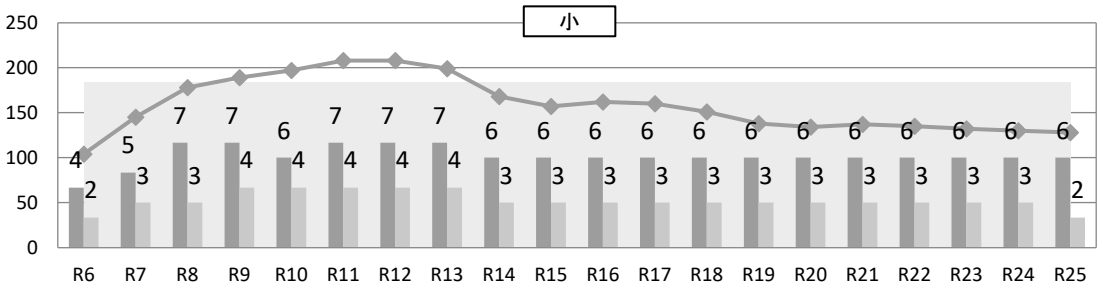
ア 基本情報

所在地	研究学園 2-26
指定学校変更制度	なし
小学校区	研究学園
隣接学区	豊里・高山・手代木・学園の森・春日学園

R6 年度生徒数	104
R6 年度学級数	普 4　特 2
公務員宿舎関連	－
ＴＸ関連	葛城地区（研究学園 4 丁目～5 丁目、学園南 1 丁目）

R6 年度最大保有普通教室数			11
R6 年度保有特別支援教室数			2
最大時使用教室数（R9 年度）	普通		7
	特支	特支教室	2
		普通教室転用	1
不足教室数			－

イ 生徒・学級数の推移グラフ及び表



年度 / 学年	令和 6 年度		令和 10 年度		令和 15 年度		令和 20 年度		令和 25 年度	
	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数
1 年	51	2	64	2	52	2	46	2	42	2
2 年	39	1	63	2	51	2	46	2	43	2
3 年	14	1	70	2	54	2	42	2	43	2
計	104	4	197	6	157	6	134	6	128	6

⑭ みどりの南中学校 【翠輝学園】

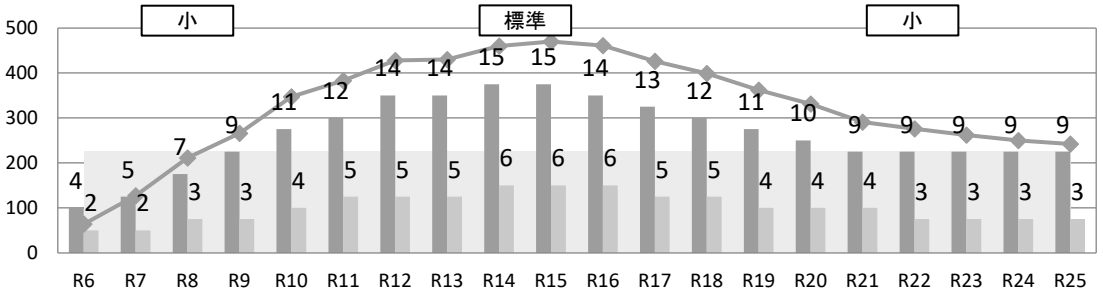
ア 基本情報

所在地	みどりの南 106-1
指定学校変更制度	みどりの学園
小学校区	谷田部南､みどりの南
隣接学区	谷田部・高崎・茎崎・みどりの学園

R6 年度生徒数	64
R6 年度学級数	普 4　特 2
公務員宿舎関連	－
ＴＸ関連	萱丸地区（みどりの南、みどりの東）

R6 年度最大保有普通教室数			9
R6 年度保有特別支援教室数			2
最大時使用教室数（R14 年度）	普通		15
	特支	特支教室	2
		普通教室転用	2
不足教室数			(15+2)-9=8 教室

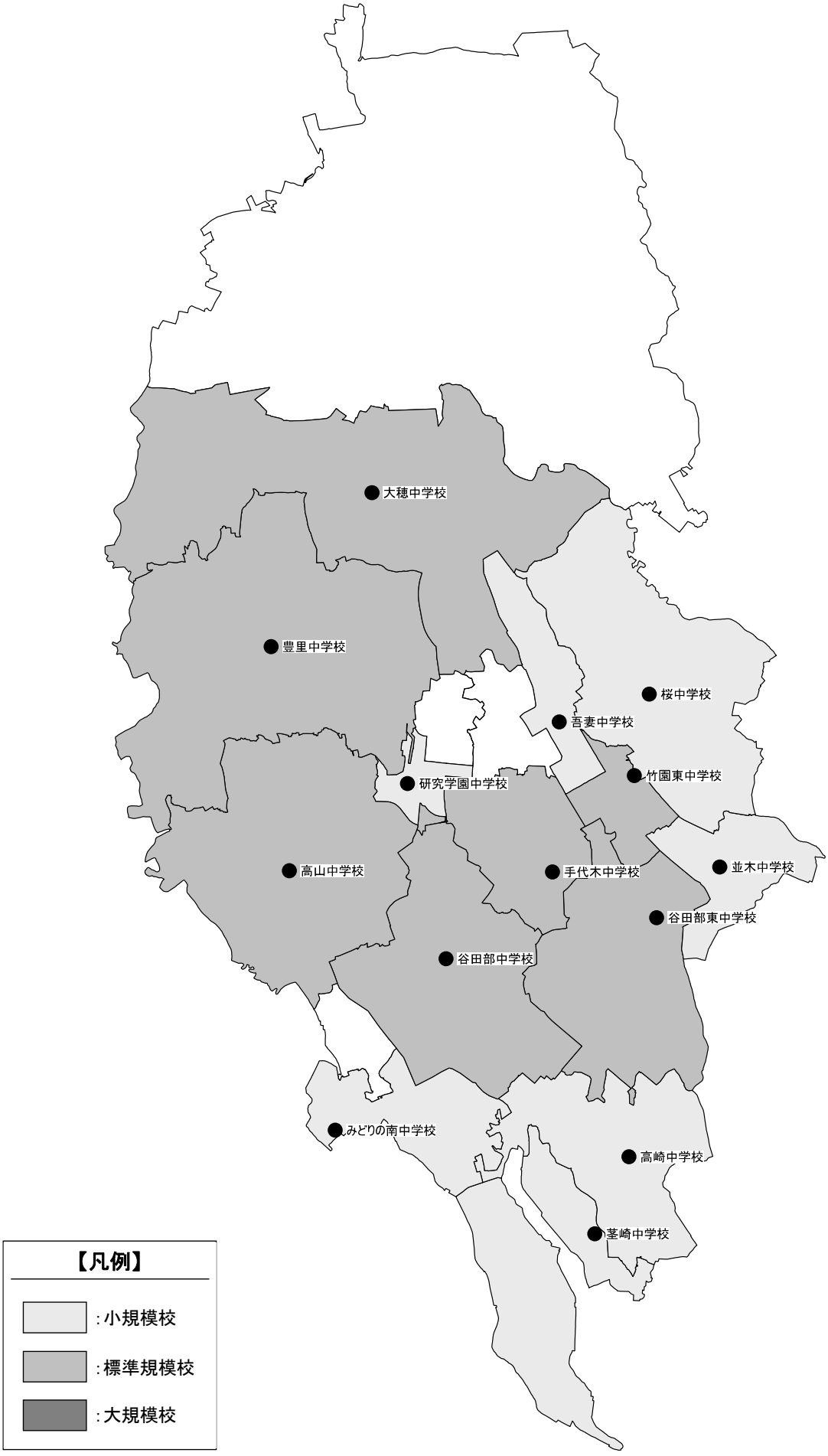
イ 生徒・学級数の推移グラフ及び表



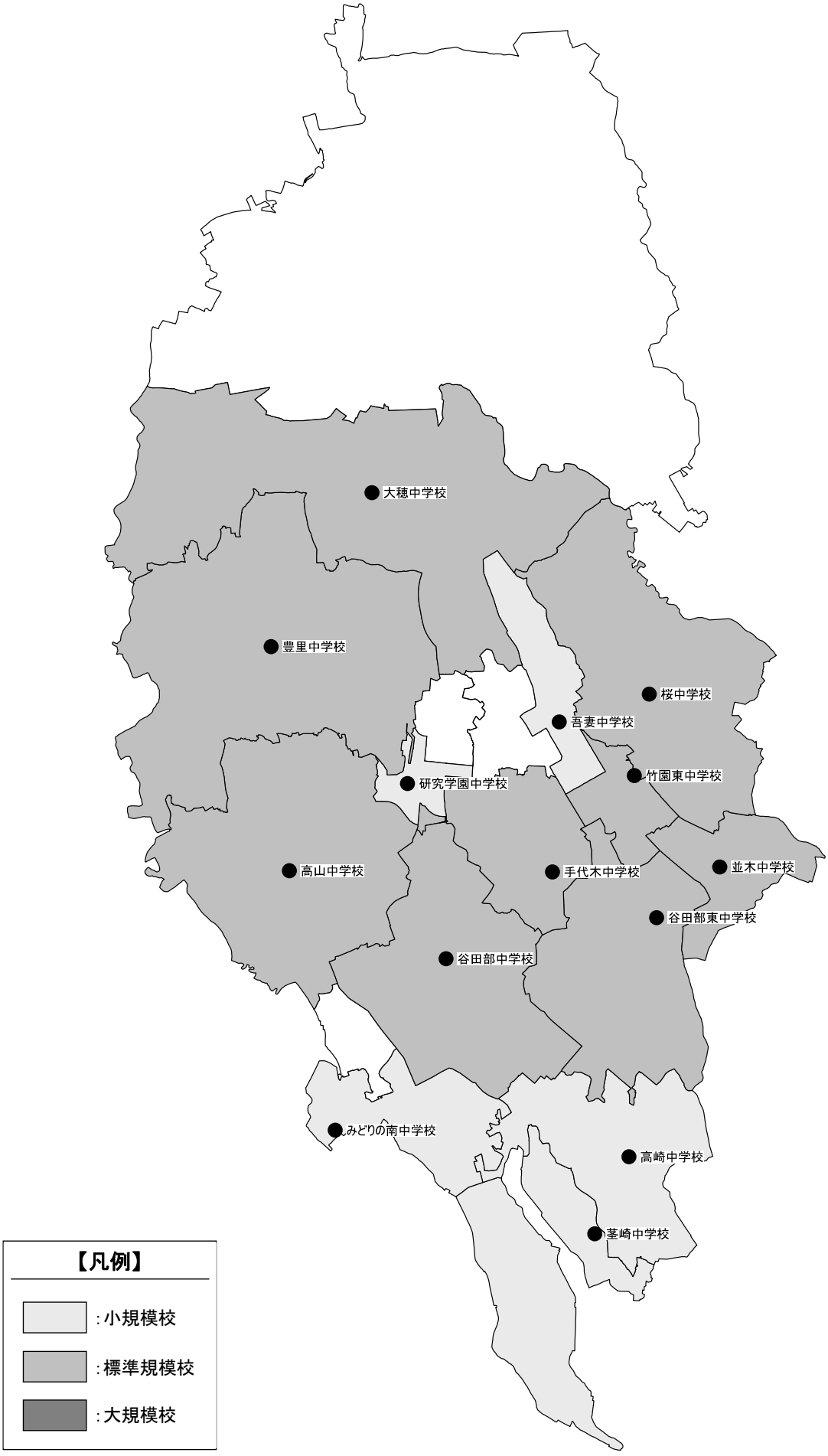
年度 / 学年	令和 6 年度		令和 10 年度		令和 15 年度		令和 20 年度		令和 25 年度	
	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数
1 年	50	2	147	5	162	5	97	3	78	3
2 年	10	1	105	3	161	5	102	3	81	3
3 年	4	1	95	3	147	5	132	4	83	3
計	64	4	347	11	470	15	331	10	242	9

（2）中学校区の期別推移図

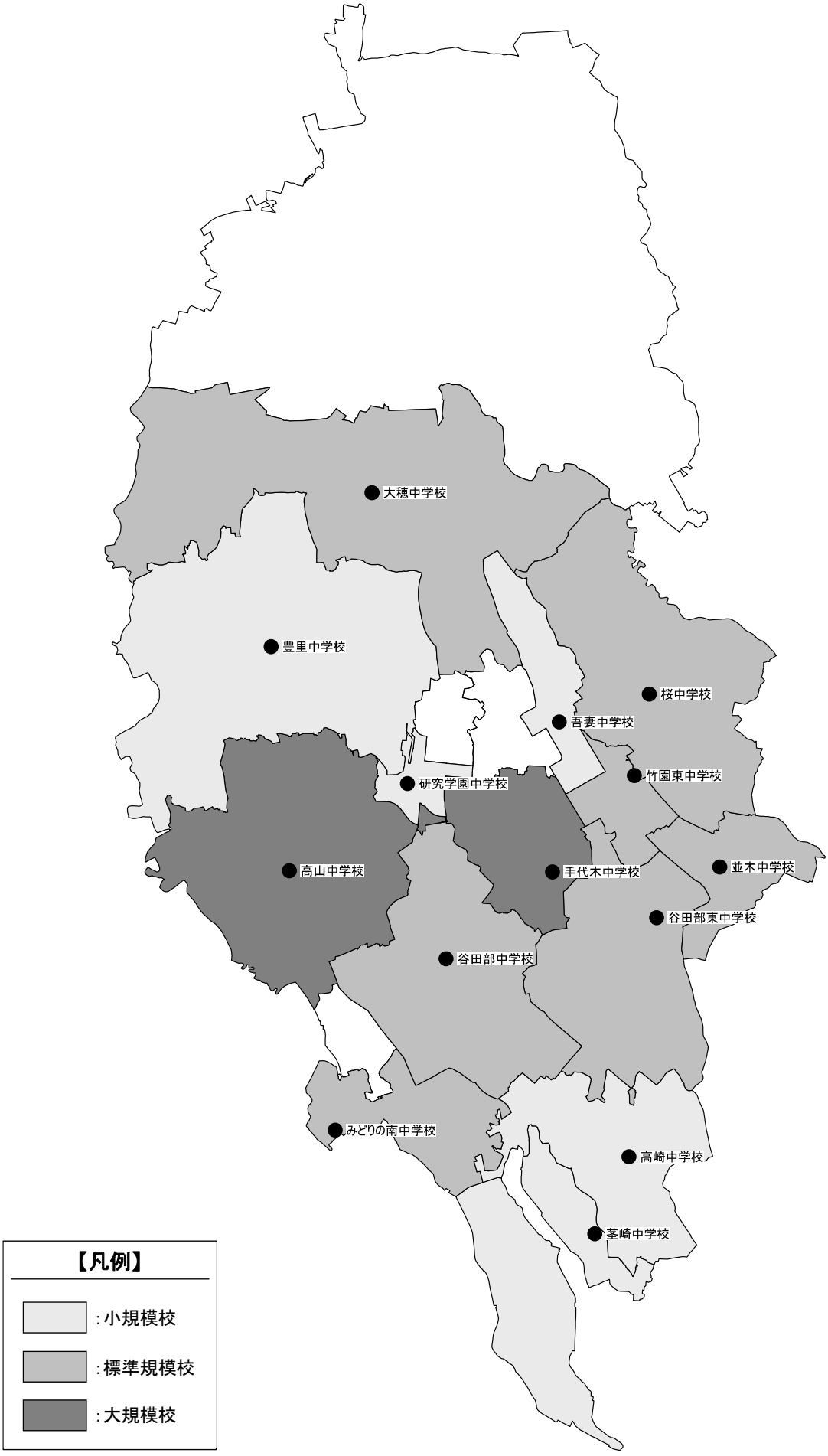
【令和 6 年度】



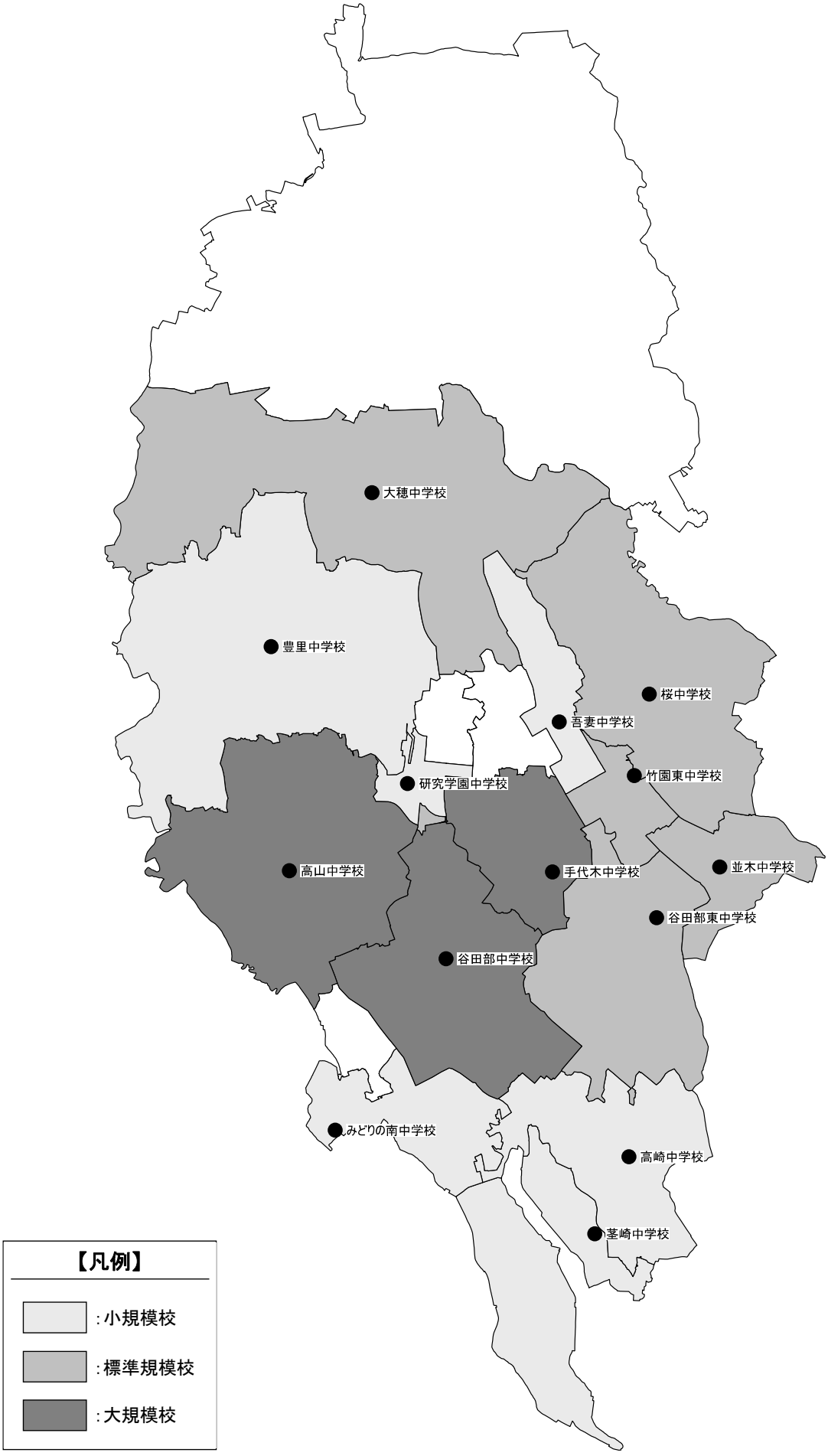
【令和 10 年度】


大穂中学校
豊里中学校
桜中学校
吾妻中学校
竹園東中学校
研究学園中学校
高山中学校
手代木中学校
並木中学校
谷田部東中学校
谷田部中学校
みどりの南中学校
高崎中学校
茎崎中学校
【凡例】
：小規模校
：標準規模校
：大規模校

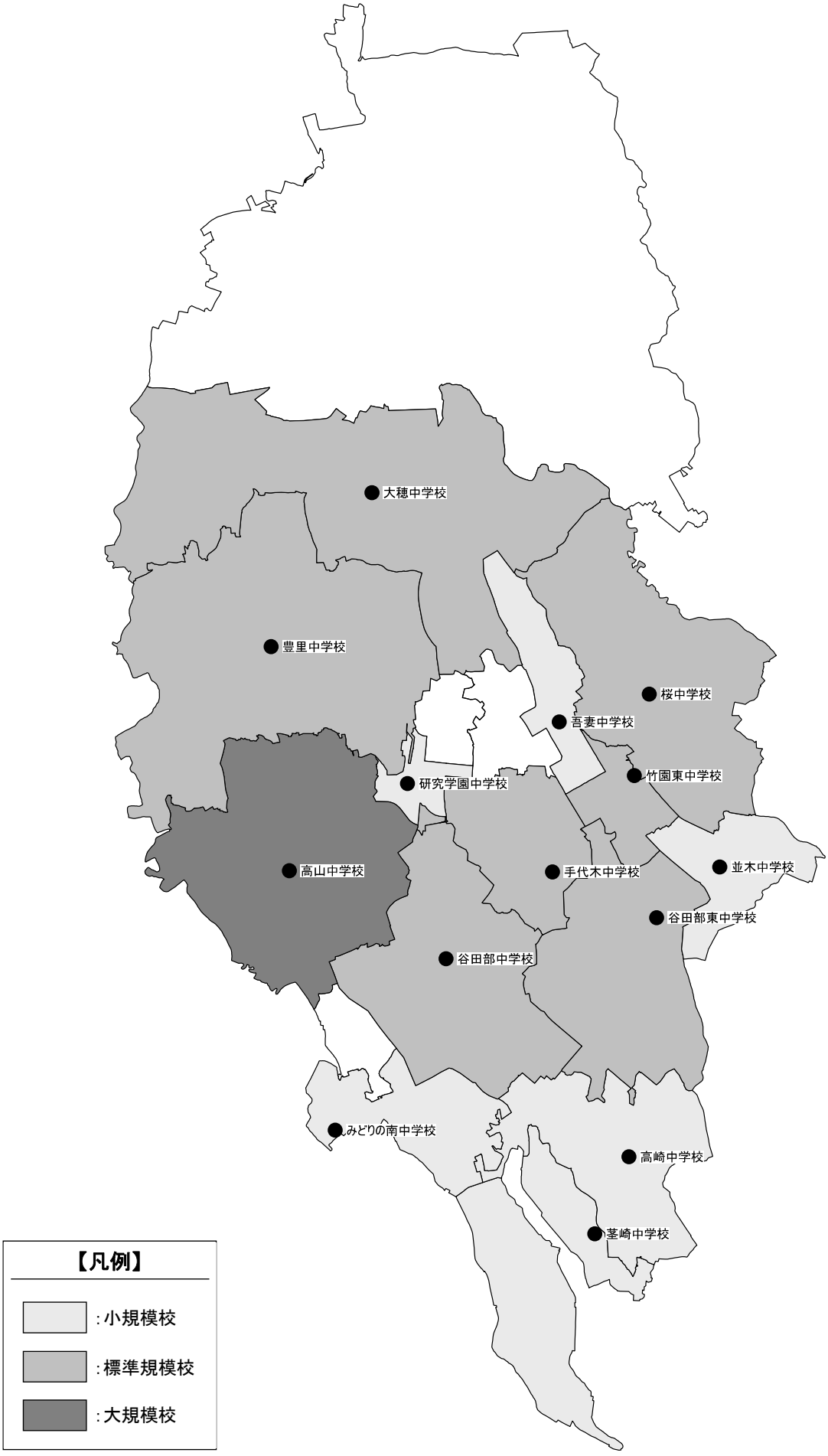
【令和 15 年度】


大穂中学校
豊里中学校
桜中学校
吾妻中学校
竹園東中学校
研究学園中学校
高山中学校
手代木中学校
並木中学校
谷田部東中学校
谷田部中学校
みどりの南中学校
高崎中学校
茎崎中学校
【凡例】
:小規模校
:標準規模校
:大規模校

【令和 20 年度】


大穂中学校
豊里中学校
桜中学校
吾妻中学校
竹園東中学校
研究学園中学校
高山中学校
手代木中学校
並木中学校
谷田部東中学校
谷田部中学校
みどりの南中学校
高崎中学校
茎崎中学校
【凡例】
:小規模校
:標準規模校
:大規模校

【令和 25 年度】


大穂中学校
豊里中学校
桜中学校
吾妻中学校
竹園東中学校
研究学園中学校
高山中学校
手代木中学校
並木中学校
谷田部東中学校
谷田部中学校
みどりの南中学校
高崎中学校
茎崎中学校
【凡例】
:小規模校
:標準規模校
:大規模校

５．義務教育学校区の将来推計

（1）義務教育学校の推移グラフ及び表

① 春日学園義務教育学校【春日学園】

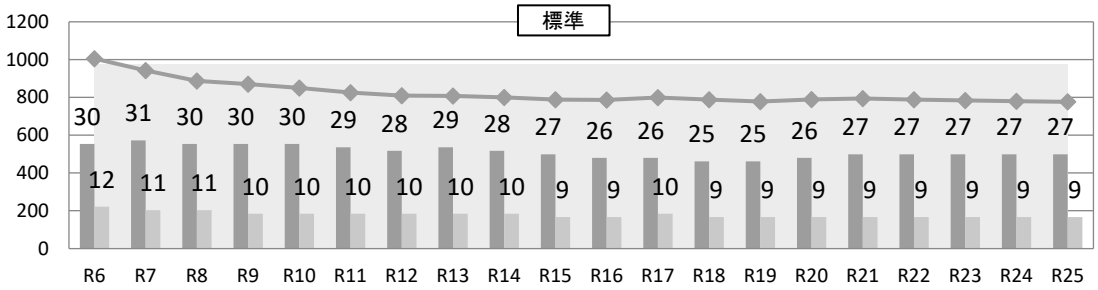
ア 基本情報

所在地	春日 2-47
指定学校変更制度	吾妻・学園の森
隣接学区（学園）	豊里学園・大穂学園・吾妻学園・光輝学園・虹色学園・学園の森

R6 年度児童生徒数	1005
R6 年度学級数	普 30　特 12
公務員宿舎関連	春日 1 丁目
ＴＸ関連	葛城地区（研究学園 6 丁目、7 丁目、学園の森 3 丁目）

R6 年度最大保有普通教室数			53
R6 年度保有特別支援教室数			11
最大時使用教室数（R7 年度）	普通		31
	特支	特支教室	11
		普通教室転用	0
不足教室数			－

イ 生徒・学級数の推移グラフ及び表



年度 / 学年	R6 年度		R10 年度		R15 年度		R20 年度		R25 年度	
	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数
1 年	92	3	99	3	92	3	90	3	87	3
2 年	112	3	110	4	95	3	90	3	89	3
3 年	101	3	83	3	96	3	94	3	92	3
4 年	96	3	91	3	86	3	97	3	93	3
5 年	111	3	106	4	83	3	98	3	96	3
6 年	129	4	119	4	109	4	100	3	97	3
7 年	112	3	81	3	88	3	77	3	73	3
8 年	120	4	77	3	66	2	76	3	75	3
9 年	132	4	84	3	73	3	67	2	75	3
計	1005	30	850	30	788	27	789	26	777	27

② 秀峰筑波義務教育学校【秀峰筑波】

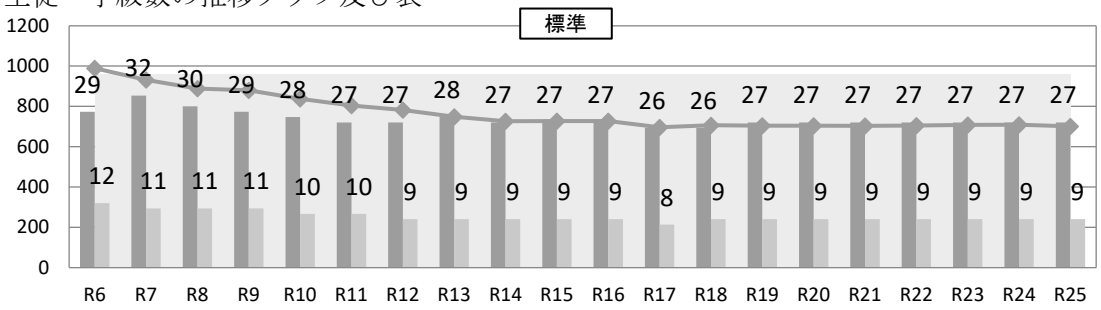
ア 基本情報

所在地	北条 5073
指定学校変更制度	なし
隣接学区（学園）	桜学園・大穂学園

R6 年度児童生徒数	989
R6 年度学級数	普 29　特 12
公務員宿舎関連	－
ＴＸ関連	－

R6 年度最大保有普通教室数			36
R6 年度保有特別支援教室数			8
最大時使用教室数（R7 年度）	普通		32
	特支	特支教室	8
		普通教室転用	2
不足教室数		－	

イ 生徒・学級数の推移グラフ及び表



年度 / 学年	R6 年度		R10 年度		R15 年度		R20 年度		R25 年度	
	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数
1 年	79	3	75	3	74	3	79	3	71	3
2 年	102	3	68	2	77	3	74	3	76	3
3 年	113	3	103	3	75	3	80	3	82	3
4 年	96	3	86	3	74	3	73	3	79	3
5 年	118	3	80	3	85	3	84	3	76	3
6 年	124	4	105	3	82	3	80	3	84	3
7 年	108	3	110	4	71	3	80	3	76	3
8 年	108	3	94	3	102	3	78	3	81	3
9 年	141	4	116	4	87	3	76	3	76	3
計	989	29	837	28	727	27	704	27	701	27

③ 学園の森義務教育学校【学園の森】

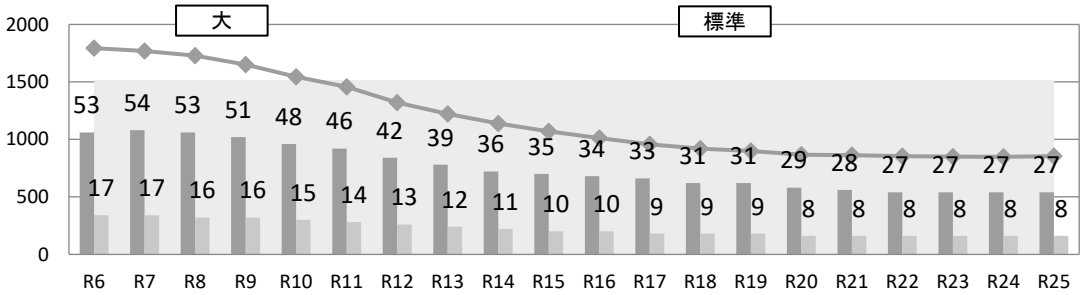
ア 基本情報

所在地	学園の森 2-15-1
指定学校変更制度	春日学園
隣接学区（学園）	豊里学園・大穂学園・春日学園・虹色学園

R6 年度児童生徒数	1794
R6 年度学級数	普 53　特 17
公務員宿舎関連	－
ＴＸ関連	葛城地区（研究学園 4 丁目～5 丁目、学園の森 1 丁目～3 丁目）

R6 年度最大保有普通教室数			76
R6 年度保有特別支援教室数			6
最大時使用教室数（R7 年度）	普通		54
	特支	特支教室	6
		普通教室転用	6
不足教室数			－

イ 生徒・学級数の推移グラフ及び表



年度 / 学年	R6 年度		R10 年度		R15 年度		R20 年度		R25 年度	
	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数
1 年	183	6	123	4	101	3	93	3	100	3
2 年	202	6	149	5	106	4	96	3	101	3
3 年	229	7	164	5	113	4	101	3	102	3
4 年	262	7	182	6	105	3	103	3	103	3
5 年	236	7	186	6	147	5	108	4	105	3
6 年	232	7	202	6	126	4	110	4	104	3
7 年	168	5	171	5	115	4	85	3	79	3
8 年	136	4	194	6	123	4	89	3	80	3
9 年	146	4	173	5	134	4	81	3	80	3
計	1794	53	1544	48	1070	35	866	29	854	27

④ みどりの学園義務教育学校【みどりの学園】

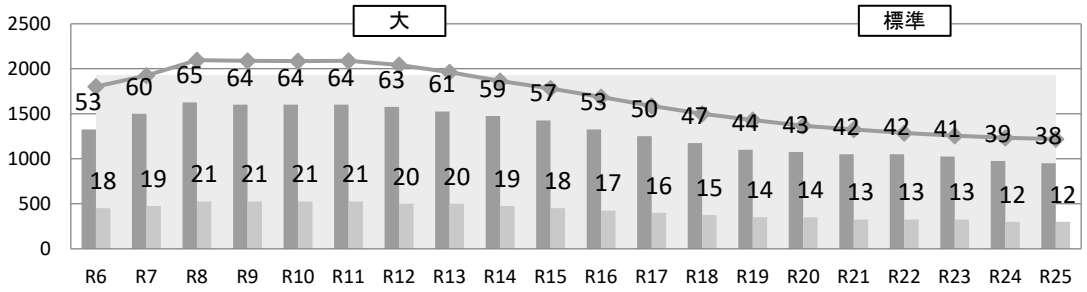
ア 基本情報

所在地	みどりの中央 12-1
指定学校変更制度	なし
隣接学区（学園）	輝翔学園・高山学園・翠輝学園

R6 年度児童生徒数	1802
R6 年度学級数	普 53　特 18
公務員宿舎関連	－
ＴＸ関連	萱丸地区（みどりの１丁目、２丁目、中央）

R6 年度最大保有普通教室数			77
R6 年度保有特別支援教室数			6
最大時使用教室数（R8 年度）	普通		65
	特支	特支教室	6
		普通教室転用	8
不足教室数			－

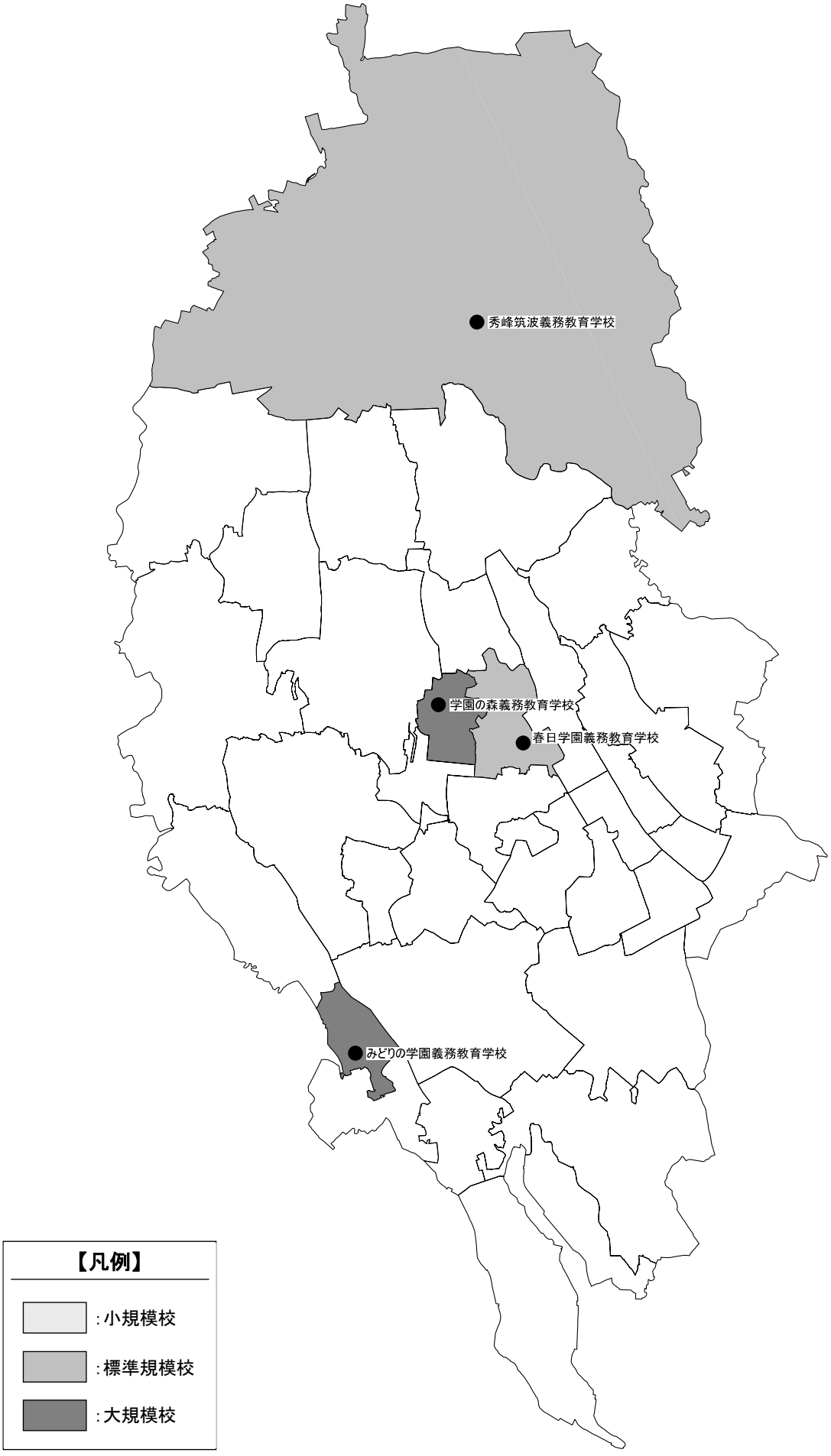
イ 生徒・学級数の推移グラフ及び表



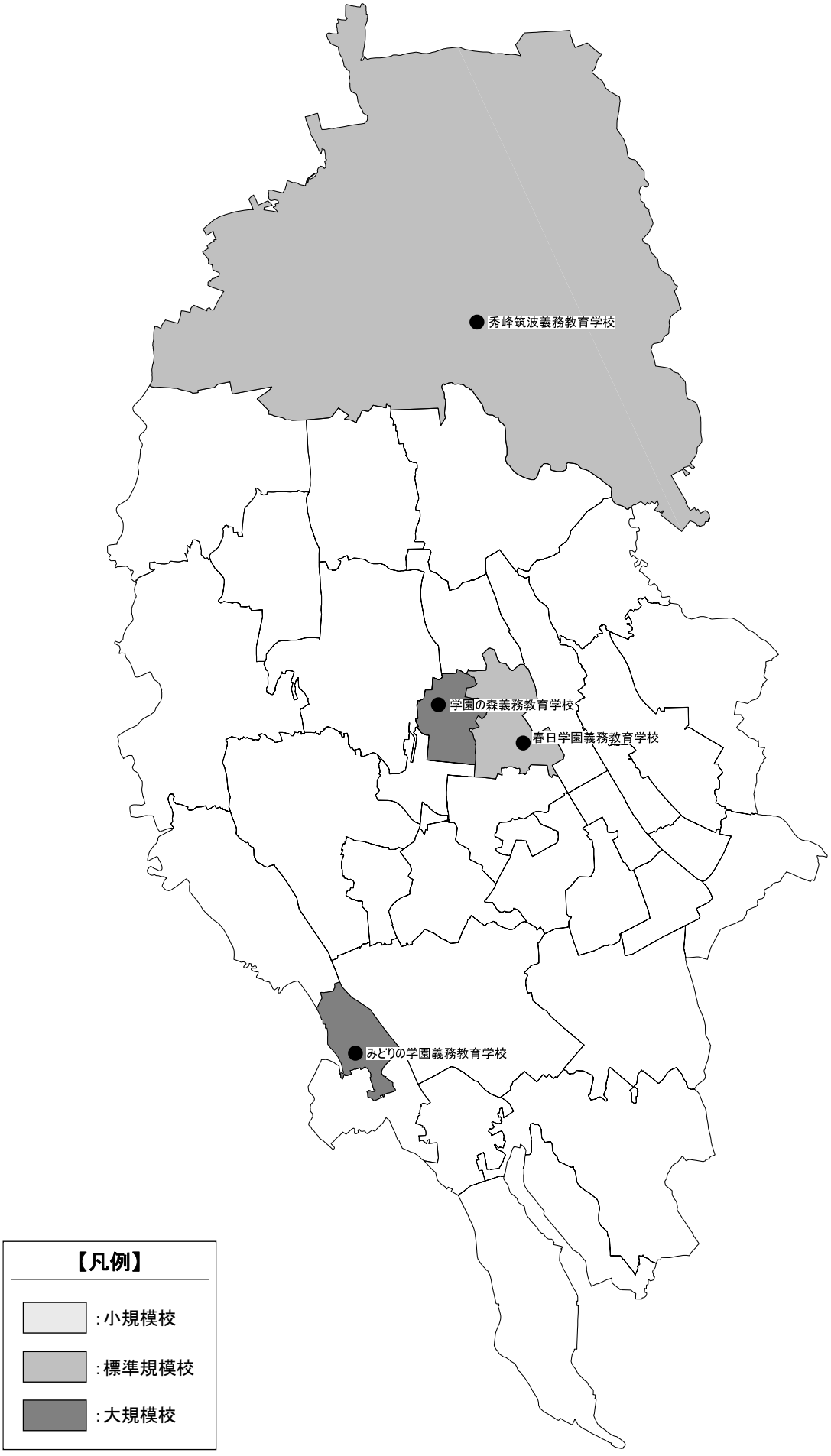
年度 / 学年	R6 年度		R10 年度		R15 年度		R20 年度		R25 年度	
	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数
1 年	246	7	215	7	161	5	131	4	129	4
2 年	261	8	235	7	167	5	136	4	132	4
3 年	261	8	257	8	180	6	143	5	134	4
4 年	219	6	259	8	183	6	151	5	138	4
5 年	198	6	252	8	212	7	159	5	141	5
6 年	207	6	268	8	219	7	170	5	145	5
7 年	169	5	231	7	211	7	154	5	130	4
8 年	115	3	194	6	225	7	162	5	133	4
9 年	126	4	174	5	223	7	161	5	137	4
計	1802	53	2085	64	1781	57	1367	43	1219	38

（2）義務教育学校区の期別推移図

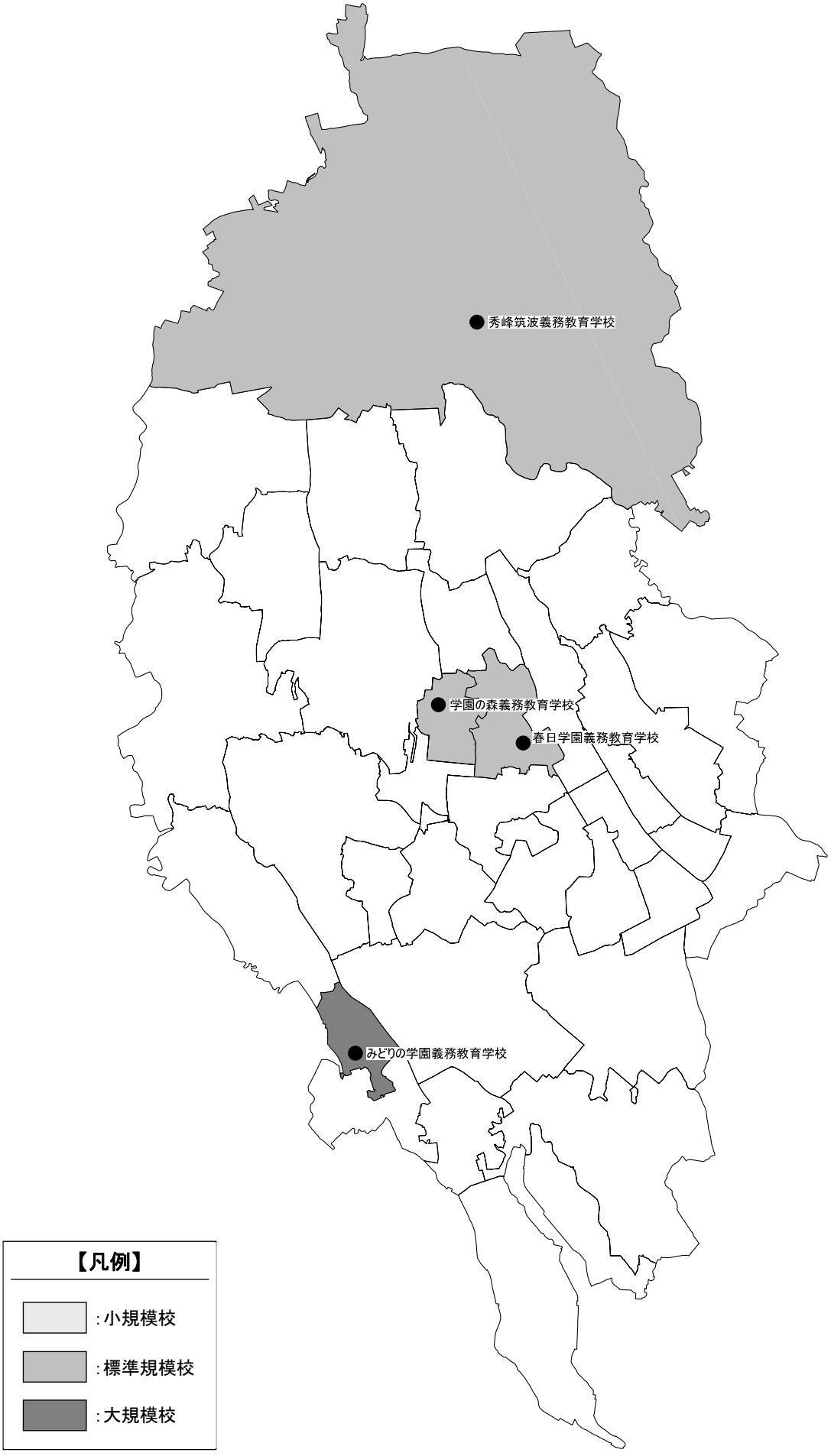
【令和 6 年度】



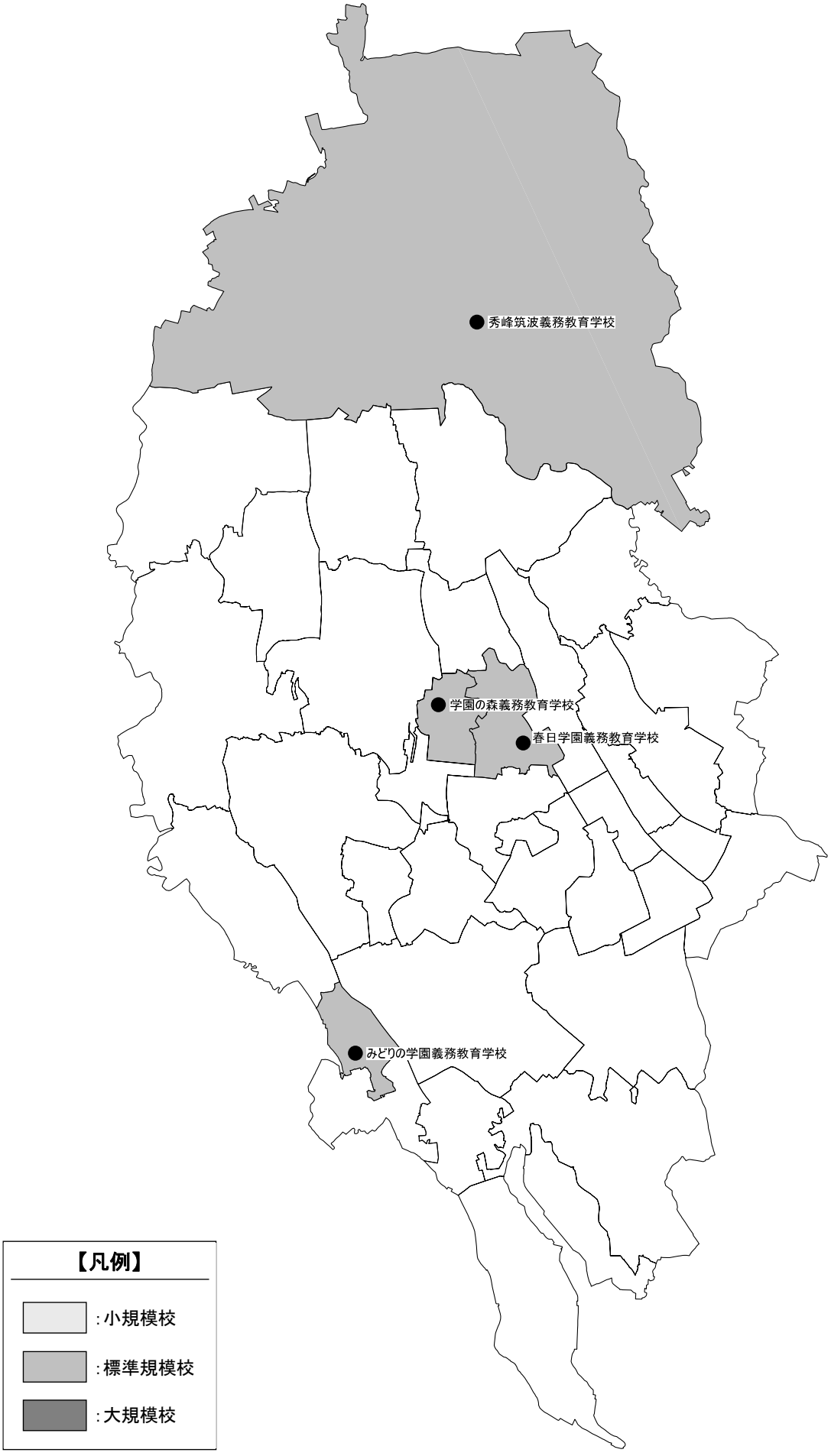
【令和 10 年度】


秀峰筑波義務教育学校
学園の森義務教育学校
春日学園義務教育学校
みどりの学園義務教育学校
【凡例】
：小規模校
：標準規模校
：大規模校

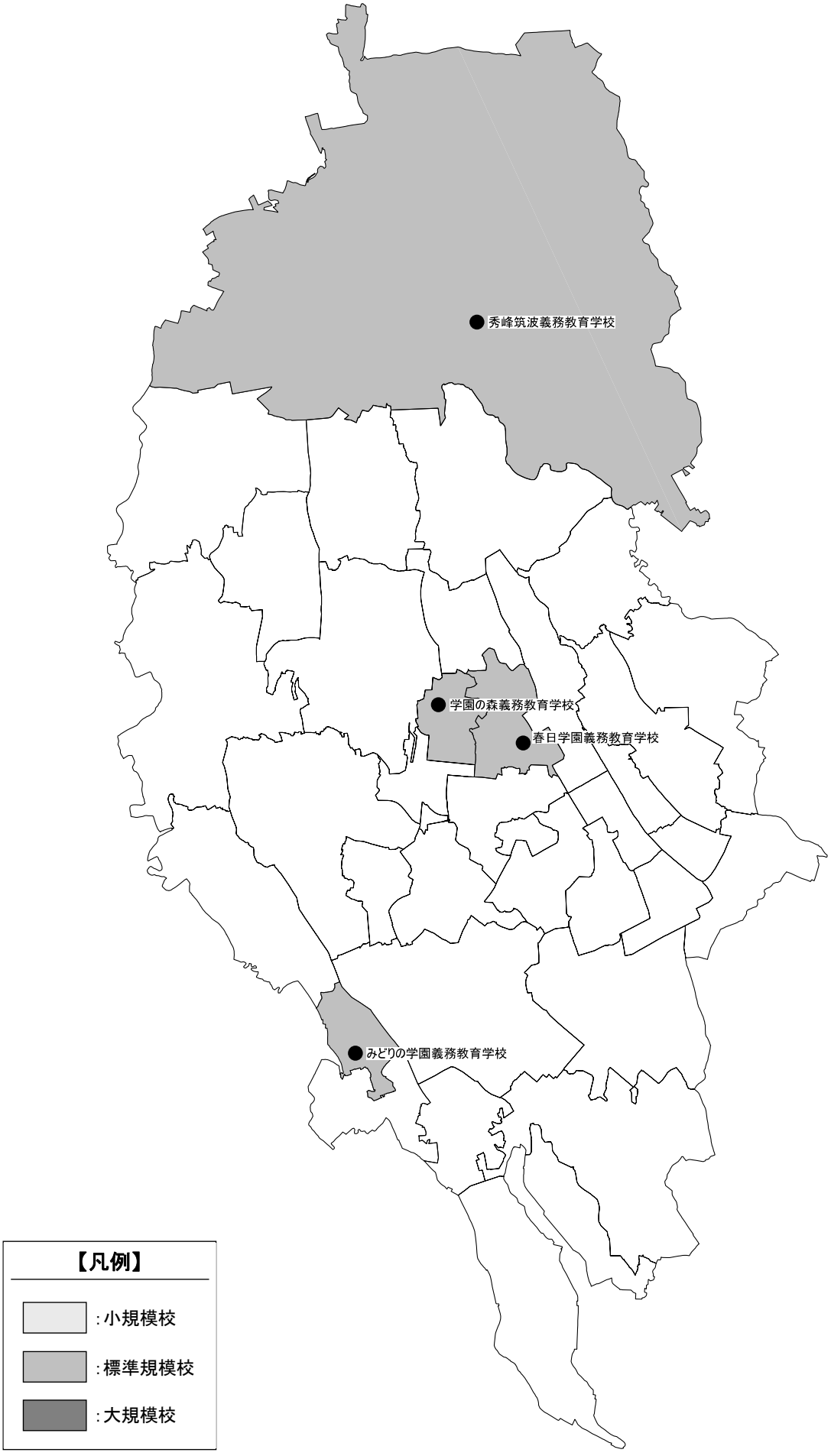
【令和 15 年度】


秀峰筑波義務教育学校
学園の森義務教育学校
春日学園義務教育学校
みどりの学園義務教育学校
【凡例】
:小規模校
:標準規模校
:大規模校

【令和 20 年度】


秀峰筑波義務教育学校
学園の森義務教育学校
春日学園義務教育学校
みどりの学園義務教育学校
【凡例】
:小規模校
:標準規模校
:大規模校

【令和 25 年度】


秀峰筑波義務教育学校
学園の森義務教育学校
春日学園義務教育学校
みどりの学園義務教育学校
【凡例】
:小規模校
:標準規模校
:大規模校

６章　学校別の配置方針

１．配置方針の検討手順

学校等の適正な配置計画の策定のため、次のような手順で検討を行います。

第１に、

■適正配置計画の「つくば市及びつくば市の学校等の現状について」と「計画見直しに当たって考慮すべき事項」に基づきます。

第２に、

■学校別の将来推計等より「児童・生徒数及び学級数の推移」を読み取ります。

第３に、児童・生徒数及び学級数の推移を

「今期学校等適正配置計画・指針における基本的な考え方」に照らして、

■学校別の動向・課題等と、その対応策としての期別の方針を一覧表としてまとめたものを『学校別の配置方針』とします。

そして第４に、学校別の配置方針をもとに、

■学区調整、学区分割、新設校の配置、新たな学区の範囲等を示した『期別の配置方針図（総括図）』を作成します。

これらのなかの、第３から第４までを小学校と中学校、義務教育学校、幼稚園に区分し設定します。

２．小学校の配置方針

（1）学校別の配置方針

①大穂学園

１校が標準規模校、３校が小規模校で推移する見込みです。

学校名	保有教室数	令和10年度の予想学級数	期別の方針 一期（R6～10）／二期（R11～15）／三期～四期（R16～25）		動向・課題	
大曽根小学校	普28 特2	普18 特6	一期	●現状の学区の維持を図る	・児童数は一期で逓減、二期から三期中頃まで逓増し、それ以降一定で推移する ・標準規模校で推移する	
			二期	●第一期の学区の維持を図る		
			三期～四期	●第二期の学区の維持を図る		
前野小学校	普8 特1	普7 特3	一期	●現状の学区の維持を図る	・児童数は二期中頃まで逓増、二期末頃に逓減し、それ以降一定で推移する ・小規模校で推移する	・児童数減の動向を注視する必要がある
			二期	●第一期の学区の維持を図る		
			三期～四期	●第二期の学区の維持を図る		
要小学校	普6 特2	普6 特2	一期	●現状の学区の維持を図る	・児童数は三期初めまで逓増し、それ以降一定で推移する ・小規模校で推移する	・児童数減の動向を注視する必要がある
			二期	●第一期の学区の維持を図る		
			三期～四期	●第二期の学区の維持を図る		
吉沼小学校	普14 特0	普6 特3	一期	●現状の学区の維持を図る	・児童数は一期末頃まで一定で推移し、それ以降逓減する ・小規模校で推移する	・児童数減の動向を注視する必要がある
			二期	●第一期の学区の維持を図る		
			三期～四期	●第二期の学区の維持を図る		

②豊里学園

１校が標準規模校、２校が小規模校で推移する見込みです。

学校名	保有教室数	令和10年度の予想学級数	期別の方針		動向・課題	
			一期（R6～10）／二期（R11～15）／三期～四期（R16～25）			
沼崎小学校	普25 特3	普12 特4	一期	●現状の学区の維持を図る	・児童数は一期末頃で逓減、二期末頃まで逓増し、それ以降一定で推移する ・標準規模校で推移する	・遠東南部の保護者や地域住民と十分に協議を行う必要がある
			二期	●遠東南部の地区について学園の森義務教育学校との学区調整を検討する		
			三期～四期	●第二期の学区の維持を図る		
今鹿島小学校	普13 特0	普6 特2	一期	●現状の学区の維持を図る	・児童数は一期中頃で逓減、二期中頃まで逓増、二期末頃で逓減し、それ以降一定で推移する ・小規模校で推移する	・児童数減の動向を注視する必要がある
			二期	●第一期の学区の維持を図る		
			三期～四期	●第二期の学区の維持を図る		
上郷小学校	普19 特5	普10 特2	一期	●現状の学区の維持を図る	・児童数は三期初めまで逓減し、それ以降一定で推移する ・小規模校で推移する	
			二期	●第一期の学区の維持を図る		
			三期～四期	●第二期の学区の維持を図る		

③輝翔学園

１校が大規模校、１校が小規模校で推移する見込みです。

学校名	保有教室数	令和10年度の予想学級数	期別の方針		動向・課題	
			一期（R6～10）／二期（R11～15）／三期～四期（R16～25）			
谷田部小学校	普37 特5	普33 特13	一期	●教室不足に陥る前に、増設等を検討する	・児童数は二期まで逓増し、それ以降逓減する ・大規模校で推移する	・TX 沿線開発に伴う児童数増加の動向を注視する必要がある
			二期	●第一期の学区の維持を図る		
			三期～四期	●第二期の学区の維持を図る		
柳橋小学校	普6 特1	普6 特1	一期	●現状の学区の維持を図る	・児童数は一定で推移する ・小規模校で推移する	・児童数減の動向を注視する必要がある
			二期	●第一期の学区の維持を図る		
			三期～四期	●第二期の学区の維持を図る		

④高山学園

１校が標準規模校から大規模校となりその後標準規模校へと推移する見込みです。その他、１校が標準規模校、１校が小規模校で推移する見込みです。

学校名	保有教室数	令和10年度の予想学級数	期別の方針 一期（R6～10）／二期（R11～15）／三期～四期（R16～25）		動向・課題	
真瀬小学校	普12 特3	普6 特3	一期	●現状の学区の維持を図る	・児童数は三期初めまで逓減し、それ以降一定で推移する ・小規模校で推移する	・児童数減の動向を注視する必要がある
			二期	●第一期の学区の維持を図る		
			三期～四期	●第二期の学区の維持を図る		
島名小学校	普28 特3	普24 特9	一期	●香取台小学校との学区調整を図る	・児童数は二期中頃まで逓増し、それ以降逓減する ・二期から四期前半まで大規模校で推移し、その後、標準規模校となる	・児童数増に対応するため、一期に香取台小学校との学区調整を検討する
			二期	●第一期の学区の維持を図る		
			三期～四期	●第二期の学区の維持を図る		
香取台小学校	普28 特4	普22 特7	一期	●島名小学校との学区調整を図る	・児童数は一期末まで逓増し、それ以降逓減する ・標準規模校で推移する	・島名小学校の児童数増に対応するため、一期に島名小学校との学区調整を検討する ・学区調整を行う場合は、児童数増となるため増築を行う
			二期	●第一期の学区の維持を図る		
			三期～四期	●第二期の学区の維持を図る		

⑤光輝学園

３校が標準規模校で推移する見込みです。

学校名	保有教室数	令和10年度の予想学級数	期別の方針		動向・課題	
			一期（R6～10）／二期（R11～15）／三期～四期（R16～25）			
葛城小学校	普29 特4	普18 特4	一期	●現状の学区の維持を図る	・児童数は一期末で増加し、それ以降逓減する ・標準規模校で推移する	・大規模マンション建設の動向を注視し、必要に応じて学区調整を検討する必要がある
			二期	●第一期の学区の維持を図る		
			三期～四期	●第二期の学区の維持を図る		
手代木南小学校	普19 特4	普17 特4	一期	●現状の学区の維持を図る	・児童数は二期中頃まで逓増し、それ以降一定で推移する ・標準規模校で推移する	・公務員宿舎廃止後の動向を注視する必要がある
			二期	●第一期の学区の維持を図る		
			三期～四期	●第二期の学区の維持を図る		
松代小学校	普23 特1	普14 特3	一期	●現状の学区の維持を図る	・児童数は一定で推移する ・標準規模校で推移する	・公務員宿舎廃止後の動向を注視する必要がある
			二期	●第一期の学区の維持を図る		
			三期～四期	●第二期の学区の維持を図る		

⑥洞峰学園

３校が標準規模校で推移する見込みです。

学校名	保有教室数	令和10年度の予想学級数	期別の方針		動向・課題	
			一期（R6～10）／二期（R11～15）／三期～四期（R16～25）			
小野川小学校	普20 特0	普12 特4	一期	●現状の学区の維持を図る	・児童数は三期中頃まで逓増し、それ以降一定で推移する ・標準規模校で推移する	
			二期	●第一期の学区の維持を図る		
			三期～四期	●第二期の学区の維持を図る		
二の宮小学校	普25 特3	普19 特3	一期	●現状の学区の維持を図る	・児童数は二期中頃まで逓増し、それ以降一定で推移する ・標準規模校で推移する	
			二期	●第一期の学区の維持を図る		
			三期～四期	●第二期の学区の維持を図る		
東小学校	普21 特0	普14 特4	一期	●桜南小学校区の大角豆南部地区について学区調整を検討する	・児童数は二期中頃まで逓減、三期中頃まで逓増し、それ以降一定で推移する ・標準規模校で推移する	・大角豆南部の保護者や地域住民と十分に協議を行う必要がある
			二期	●第一期の学区の維持を図る		
			三期～四期	●第二期の学区の維持を図る		

⑦桜学園

１校が新設され大規模校から標準規模校で推移する見込みです。その他、１校が標準規模校、２校が小規模校で推移する見込みです。うち１校は複式学級となることが見込まれます。

学校名	保有教室数	令和10年度の予想学級数	期別の方針 一期（R6～10）／二期（R11～15）／三期～四期（R16～25）		動向・課題	
栄小学校	普12 特2	普10 特2	一期	●（仮称）中根・金田台地区小学校の新設に伴う学区変更を行う	・児童数は一期中頃に新設校の開校により減少し、それ以降一定で推移する ・二期中頃まで小規模校で推移し、その後、標準規模校となる	
			二期	●第一期の学区の維持を図る		
			三期～四期	●第二期の学区の維持を図る		
九重小学校	普13 特4	普6 特2	一期	●（仮称）中根・金田台地区小学校の新設に伴う学区変更を行う	・児童数は一期中頃に新設校の開校により減少し、それ以降一定で推移する ・一期中頃から小規模校で推移する	
			二期	●第一期の学区の維持を図る		
			三期～四期	●第二期の学区の維持を図る		
栗原小学校	普16 特1	普5 特1	一期	●（仮称）中根・金田台地区小学校の新設に伴う学区変更を行う ●小規模特認校制度の導入を検討する	・児童数は一期中頃に新設校の開校により減少し、それ以降一定で推移する ・一期中頃から小規模校で推移する ・複式学級化する	・児童数減により複式学級化が見込まれるため、小規模特認校制度の導入を検討する ・児童数の状況を注視し、適宜今後の在り方を保護者や地域住民と協議する必要がある
			二期	●第一期の学区の維持を図る		
			三期～四期	●第二期の学区の維持を図る		
（仮称）中根・金田台地区小学校	普41 特6	普26 特7	一期	●栗原小学校、栄小学校、九重小学校から学区を分割し、学校を新設する	・児童数は二期中頃まで逓増し、それ以降逓減する ・三期中頃まで大規模校、その後標準規模校で推移する	
			二期	●第一期の学区の維持を図る		
			三期～四期	●第二期の学区の維持を図る		

⑧竹園学園

２校が大規模校から標準規模校で推移する見込みです。

学校名	保有教室数	令和10年度の予想学級数	期別の方針		動向・課題	
			一期（R6～10）／二期（R11～15）／三期～四期（R16～25）			
竹園東小学校	普32 特11	普25 特7	一期	●現状の学区の維持を図る	・児童数は一期中頃まで逓増し、それ以降逓減する ・二期初めまで大規模校、それ以降は標準規模校で推移する	・公務員宿舎廃止後の動向を注視する必要がある
			二期	●第一期の学区の維持を図る		
			三期～四期	●第二期の学区の維持を図る		
竹園西小学校	普36 特1	普27 特7	一期	●現状の学区の維持を図る	・児童数は一期中頃まで逓増し、それ以降逓減する ・三期初めまで大規模校、それ以降は標準規模校で推移する	・公務員宿舎廃止後の動向を注視する必要がある
			二期	●第一期の学区の維持を図る		
			三期～四期	●第二期の学区の維持を図る		

⑨桜並木学園

２校が標準規模校で推移する見込みです。

学校名	保有教室数	令和10年度の予想学級数	期別の方針		動向・課題	
			一期（R6～10）／二期（R11～15）／三期～四期（R16～25）			
桜南小学校	普24 特3	普19 特4	一期	●大角豆南部地区について、東小学校区との学区調整を検討する	・児童数は二期中頃まで逓増し、それ以降逓減する ・標準規模校で推移する	・公務員宿舎廃止後の動向を注視する必要がある ・大角豆南部の保護者や地域住民と十分に協議を行う必要がある
			二期	●第一期の学区の維持を図る		
			三期～四期	●第二期の学区の維持を図る		
並木小学校	普26 特3	普14 特4	一期	●現状の学区の維持を図る	・児童数は一期中頃まで逓増し、それ以降逓減する ・標準規模校で推移する	・公務員宿舎廃止後の動向を注視する必要がある
			二期	●第一期の学区の維持を図る		
			三期～四期	●第二期の学区の維持を図る		

⑩吾妻学園

公務員宿舎跡地の開発による児童数増が見込まれます。

学校名	保有教室数	令和10年度の予想学級数	期別の方針		動向・課題	
			一期（R6～10）／二期（R11～15）／三期～四期（R16～25）			
吾妻小学校	普28 特10	普21 特4	一期	●教室不足に陥る前に、増設等を検討する	・公務員宿舎跡地の開発により、一期末頃から児童数増が見込まれる	・公務員宿舎跡地売却後の開発計画や建設戸数等が未定であるが、児童数増に対応するため増築等の検討を進める必要がある
			二期	●第一期の学区の維持を図る		
			三期～四期	●第二期の学区の維持を図る		

⑪茎崎学園

２校が小規模校で推移する見込みです。

学校名	保有教室数	令和10年度の予想学級数	期別の方針		動向・課題	
			一期（R6～10）／二期（R11～15）／三期～四期（R16～25）			
茎崎第二小学校	普16 特6	普6 特4	一期	●現状の学区の維持を図る	・児童数は逓減する ・小規模校で推移する	・児童数減の動向を注視する必要がある
			二期	●第一期の学区の維持を図る		
			三期～四期	●第二期の学区の維持を図る		
茎崎第三小学校	普19 特3	普6 特3	一期	●現状の学区の維持を図る	・児童数は逓減する ・小規模校で推移する	・児童数減の動向を注視する必要がある
			二期	●第一期の学区の維持を図る		
			三期～四期	●第二期の学区の維持を図る		

⑫高崎学園

１校が標準規模校で推移する見込みです。

学校名	保有教室数	令和10年度の予想学級数	期別の方針		動向・課題	
			一期（R6～10）／二期（R11～15）／三期～四期（R16～25）			
茎崎第一小学校	普35 3	普18 特6	一期	●現状の学区の維持を図る	・児童数は一定で推移する ・標準規模校で推移する	
			二期	●第一期の学区の維持を図る		
			三期～四期	●第二期の学区の維持を図る		

⑬虹色学園

１校が標準規模校で推移する見込みです。

学校名	保有教室数	令和10年度の予想学級数	期別の方針		動向・課題	
			一期（R6～10）／二期（R11～15）／三期～四期（R16～25）			
研究学園小学校	普27 特4	普17 特3	一期	●現状の学区の維持を図る	・児童数は逓減する ・標準規模校で推移する	
			二期	●第一期の学区の維持を図る		
			三期～四期	●第二期の学区の維持を図る		

⑭翠輝学園

１校が大規模校から標準規模校で推移する見込みです。１校が小規模校で推移する見込みで、複式学級となることが見込まれます。

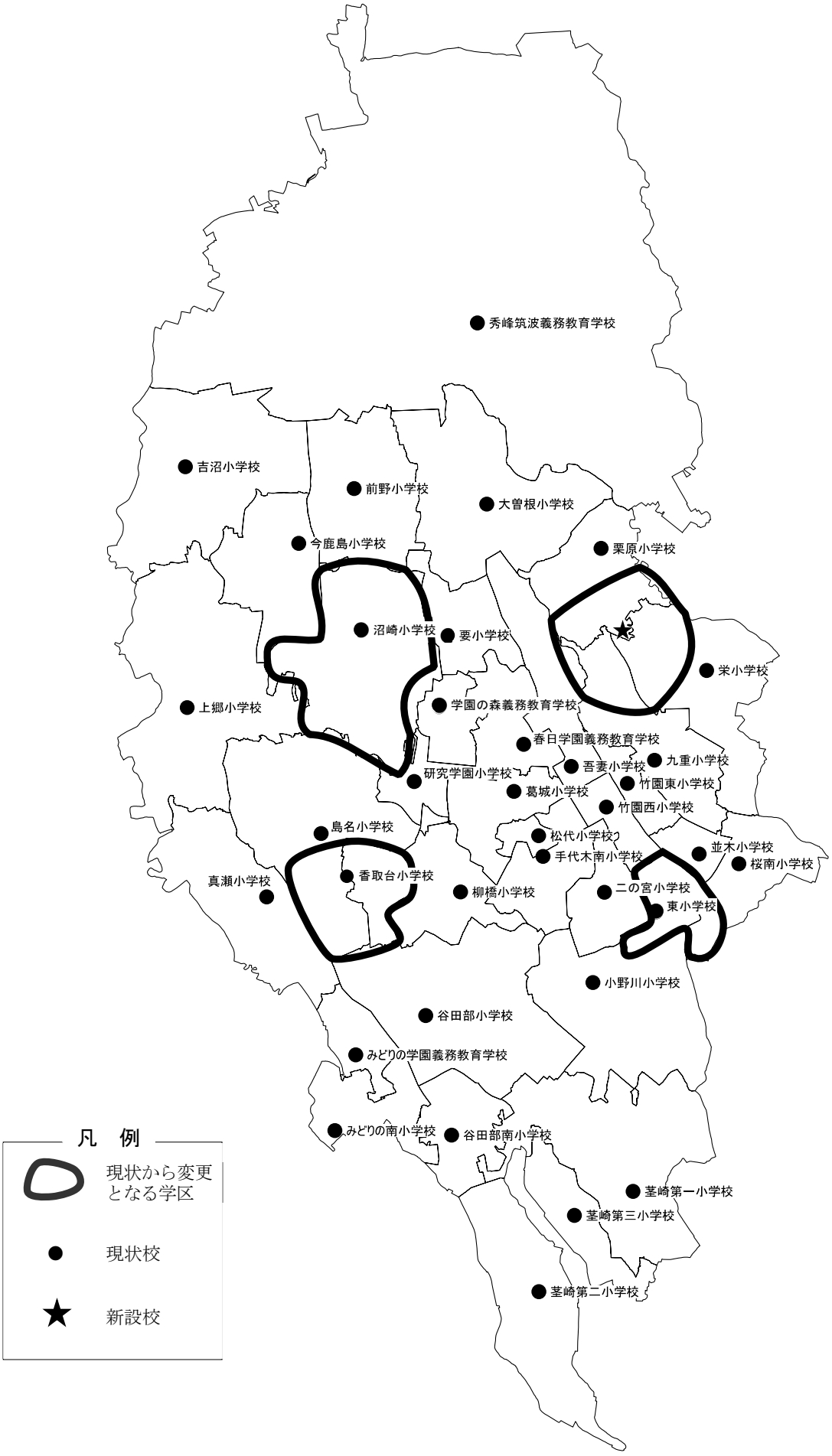
学校名	保有教室数	令和10年度の予想学級数	期別の方針		動向・課題	
			一期（R6～10）／二期（R11～15）／三期～四期（R16～25）			
谷田部南小学校	普8 特3	普4 特2	一期	●小規模特認校制度の導入を検討する	・児童数は二期末頃まで逓減、三期中頃まで逓増し、それ以降一定で推移する ・小規模校で推移する ・複式学級化する	・児童数減により複式学級化が見込まれるため、小規模特認校制度の導入を検討する ・児童数の状況を注視し、適宜今後の在り方を保護者や地域住民と協議する必要がある
			二期	●第一期の学区の維持を図る		
			三期～四期	●第二期の学区の維持を図る		
みどりの南小学校	普41 特5	普31 特7	一期	●現状の学区の維持を図る	・児童数は一期まで逓増し、それ以降逓減する ・二期中頃まで大規模校、それ以降は標準規模校で推移する	
			二期	●第一期の学区の維持を図る		
			三期～四期	●第二期の学区の維持を図る		

（2）期別の方針図

【第一期　令和６～10 年度】

【第二期　令和 11～15 年度】

【第三期以降の小学校区イメージ】



３．中学校の配置方針

（1）学校別の配置方針

①大穂学園

標準規模校で推移する見込みです。

学校名	保有教室数	令和10年度の予想学級数	期別の方針		動向・課題	
			一期（R6～10）／二期（R11～15）／三期～四期（R16～25）			
大穂中学校	普19 特5	普13 特3	一期	●要小学校区について、吾妻中学校との学区調整を検討する	・生徒数は二期中頃まで逓減し、それ以降一定で推移する ・標準規模校で推移する	・要小学校区の保護者や地域住民と十分に協議を行う必要がある
			二期	●第一期の学区の維持を図る		
			三期～四期	●第二期の学区の維持を図る		

②豊里学園

標準規模校と小規模校の間で推移する見込みです。

学校名	保有教室数	令和10年度の予想学級数	期別の方針		動向・課題	
			一期（R6～10）／二期（R11～15）／三期～四期（R16～25）			
豊里中学校	普21 特7	普12 特4	一期	●現状の学区の維持を図る	・生徒数は逓減する ・二期中頃まで標準規模校、それ以降は小規模校と標準規模校で推移する	・遠東南部の保護者や地域住民と十分に協議を行う必要がある
			二期	●沼崎小学校区の遠東南部の地区について学園の森義務教育学校との学区調整を検討する		
			三期～四期	●第二期の学区の維持を図る		

③輝翔学園

標準規模校で推移する見込みです。

学校名	保有教室数	令和10年度の予想学級数	期別の方針		動向・課題	
			一期（R6～10）／二期（R11～15）／三期～四期（R16～25）			
谷田部中学校	普27 特3	普12 特5	一期	●現状の学区の維持を図る	・生徒数は三期中頃まで逓増し、それ以降逓減する ・三期中頃まで標準規模校、それ以降は大規模校と標準規模校で推移する	
			二期	●第一期の学区の維持を図る		
			三期～四期	●第二期の学区の維持を図る		

④高山学園

標準規模校から大規模校で推移する見込みです。

学校名	保有教室数	令和10年度の予想学級数	期別の方針		動向・課題	
			一期（R6～10）／二期（R11～15）／三期～四期（R16～25）			
高山中学校	普 16 特 4	普 16 特 4	一期	●教室不足に陥る前に、増設等を検討する	・生徒数は三期中頃まで逓増し、それ以降逓減する ・二期中頃以降は大規模校で推移する	・TX 沿線開発に伴う生徒数増加の動向を注視し、保護者や地域住民と十分に協議しながら、学区分割や、(仮称)香取台中学校の新設を検討する
			二期	●第一期の学区の維持を図る		
			三期～四期	●第二期の学区の維持を図る		

⑤光輝学園

標準規模校から大規模校の間で推移する見込みです。

学校名	保有教室数	令和10年度の予想学級数	期別の方針		動向・課題	
			一期（R6～10）／二期（R11～15）／三期～四期（R16～25）			
手代木中学校	普 19 特 14	普 18 特 6	一期	●現状の学区の維持を図る	・生徒数は二期末頃まで逓増し、それ以降逓減する ・二期中頃まで標準規模校、それ以降は大規模校と標準規模校で推移する	・公務員宿舎廃止後の動向を注視する必要がある ・大規模マンション建設の動向を注視し、必要に応じて学区調整を検討する必要がある
			二期	●教室不足に陥る前に、増設等を検討する		
			三期～四期	●第二期の学区の維持を図る		

⑥洞峰学園

標準規模校で推移する見込みです。

学校名	保有教室数	令和10年度の予想学級数	期別の方針		動向・課題	
			一期（R6～10）／二期（R11～15）／三期～四期（R16～25）			
谷田部東中学校	普 20 特 8	普 18 特 6	一期	●並木中学校区の大角豆南部地区について、学区調整を検討する	・生徒数は三期初めまで逓減し、それ以降ほぼ一定で推移する ・標準規模校で推移する	・大角豆南部の保護者や地域住民と十分に協議を行う必要がある
			二期	●第一期の学区の維持を図る		
			三期～四期	●第二期の学区の維持を図る		

⑦桜学園

標準規模校で推移する見込みです。

学校名	保有教室数	令和10年度の予想学級数	期別の方針		動向・課題	
			一期（R6～10）／二期（R11～15）／三期～四期（R16～25）			
桜中学校	普19 特1	普12 特2	一期	●現状の学区の維持を図る	・生徒数は三期中頃まで逓増し、それ以降逓減する ・標準規模校で推移する	・国指定史跡地域のため、増改築が困難である。必要教室数や施設の状況により、増改築が必要となる場合は、移転を含めた検討をする必要がある
			二期	●第一期の学区の維持を図る		
			三期～四期	●第二期の学区の維持を図る		

⑧竹園学園

標準規模校で推移する見込みです。

学校名	保有教室数	令和10年度の予想学級数	期別の方針		動向・課題	
			一期（R6～10）／二期（R11～15）／三期～四期（R16～25）			
竹園東中学校	普30 特6	普18 特5	一期	●現状の学区の維持を図る	・生徒数は二期初めまで逓増し、それ以降逓減する ・標準規模校で推移する	・公務員宿舎廃止後の動向を注視する必要がある
			二期	●第一期の学区の維持を図る		
			三期～四期	●第二期の学区の維持を図る		

⑨桜並木学園

標準規模校から小規模校で推移する見込みです。

学校名	保有教室数	令和10年度の予想学級数	期別の方針		動向・課題	
			一期（R6～10）／二期（R11～15）／三期～四期（R16～25）			
並木中学校	普21 特10	普11 特4	一期	●大角豆南部地区について、谷田部東中学校との学区調整を検討する	・生徒数は三期初めまで逓増し、それ以降逓減する ・一期末頃から三期中頃まで標準規模校、それ以降は小規模校と標準規模校で推移する	・公務員宿舎廃止後の動向を注視する必要がある ・大角豆南部の保護者や地域住民と十分に協議を行う必要がある
			二期	●第一期の学区の維持を図る		
			三期～四期	●第二期の学区の維持を図る		

⑩吾妻学園

公務員宿舎跡地の開発による生徒数増が見込まれます。

学校名	保有教室数	令和10年度の予想学級数	期別の方針 一期（R6～10）／二期（R11～15）／三期～四期（R16～25）		動向・課題	
吾妻中学校	普17 特5	普8 特2	一期	●大穂中学校区の要小学校区について、学区調整を検討する ●生徒数増の状況を注視する	・公務員宿舎跡地の開発により、一期末頃から生徒数増が見込まれる	・公務員宿舎跡地売却後の開発計画や建設戸数等が未定であるが、生徒数増の状況を注視し、必要に応じて増築等を検討する必要がある ・要小学校区の保護者や地域住民と十分に協議を行う必要がある
			二期	●第一期の学区の維持を図る		
			三期～四期	●第二期の学区の維持を図る		

⑪茎崎学園

小規模校で推移する見込みです。

学校名	保有教室数	令和10年度の予想学級数	期別の方針 一期（R6～10）／二期（R11～15）／三期～四期（R16～25）		動向・課題	
茎崎中学校	普28 特0	普6 特4	一期	●現状の学区の維持を図る	・生徒数は逓減する ・小規模校で推移する	・生徒数減の動向を注視する必要がある ・高崎中学校との統合を含め、今後の在り方を保護者や地域住民と協議する必要がある
			二期	●第一期の学区の維持を図る		
			三期～四期	●第二期の学区の維持を図る		

⑫高崎学園

小規模校で推移する見込みです。

学校名	保有教室数	令和10年度の予想学級数	期別の方針 一期（R6～10）／二期（R11～15）／三期～四期（R16～25）		動向・課題	
高崎中学校	普18 特2	普7 特4	一期	●現状の学区の維持を図る	・生徒数は二期中頃まで逓減し、それ以降一定で推移する ・小規模校で推移する	・茎崎中学校の生徒数減の状況を注視し、茎崎中学校との統合を含め、今後の在り方を保護者や地域住民と協議する必要がある
			二期	●第一期の学区の維持を図る		
			三期～四期	●第二期の学区の維持を図る		

⑬虹色学園

小規模校で推移する見込みです。

学校名	保有教室数	令和10年度の予想学級数	期別の方針		動向・課題	
			一期（R6～10）／二期（R11～15）／三期～四期（R16～25）			
研究学園中学校	普 11 特 2	普 6 特 4	一期	●現状の学区の維持を図る	・生徒数は二期初めまで逓増し、それ以降低減する ・小規模校で推移する	・生徒数減の動向を注視する必要がある
			二期	●第一期の学区の維持を図る		
			三期～四期	●第二期の学区の維持を図る		

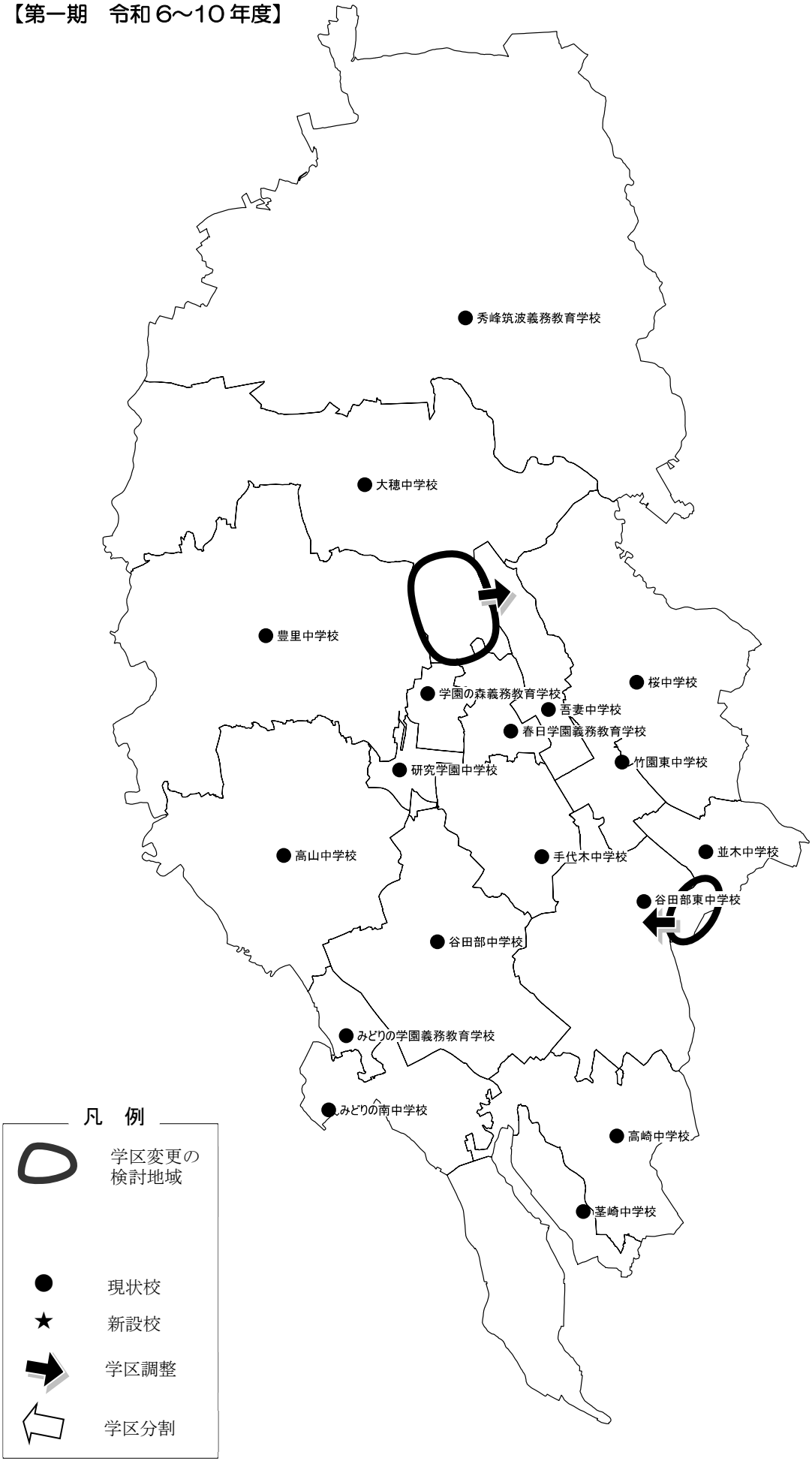
⑭翠輝学園

小規模校から標準規模校となり、その後小規模校へと推移する見込みです。

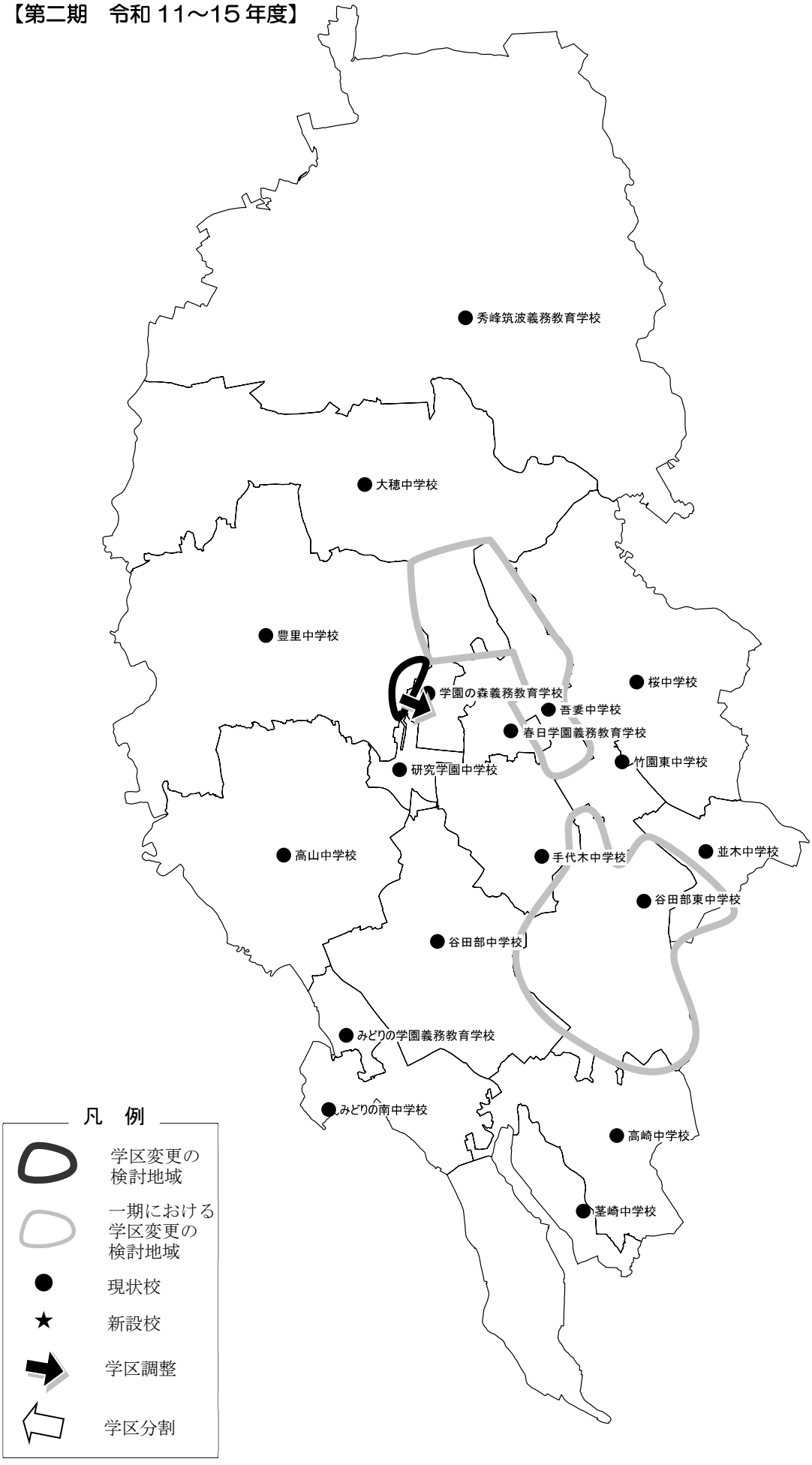
学校名	保有教室数	令和10年度の予想学級数	期別の方針		動向・課題	
			一期（R6～10）／二期（R11～15）／三期～四期（R16～25）			
みどりの南中学校	普 9 特 2	普 11 特 4	一期	●教室不足に陥る前に、増設等を検討する	・生徒数は二期末頃まで逓増し、それ以降は逓減する ・二期から三期中頃まで標準規模校、それ以降は小規模校で推移する	・TX 沿線開発に伴う児童数増加の動向を注視する必要がある
			二期	●第一期の学区の維持を図る		
			三期～四期	●第二期の学区の維持を図る		

（2）期別の方針図

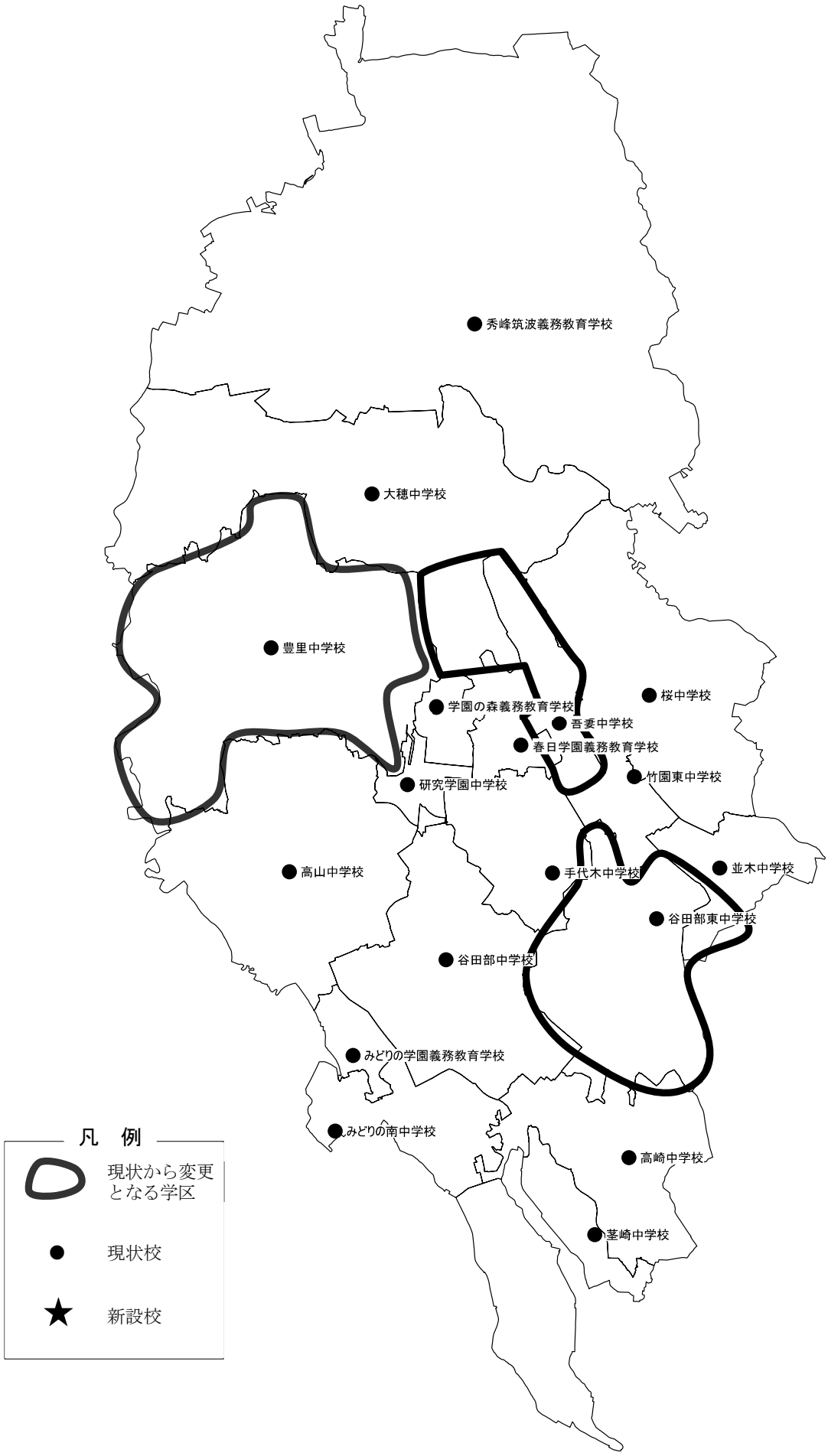
【第一期　令和６～10 年度】



【第二期　令和 11～15 年度】



【第三期以降の小学校区イメージ】



４．義務教育学校の配置方針

（1）学校別の配置方針

①春日学園

標準規模校で推移する見込みです。

学校名	保有教室数	令和10年度の予想学級数	期別の方針		動向・課題	
			一期（R6～10）／二期（R11～15）／三期～四期（R16～25）			
春日学園義務教育学校	普53 特11	普29 特10	一期	●現状の学区の維持を図る	・児童生徒数は二期中頃まで逓減、それ以降一定で推移する ・標準規模校で推移する	・葛城小学校区・手代木中学校区の大規模マンション建設の動向を注視し、必要に応じて学区調整を検討する必要がある
			二期	●第一期の学区の維持を図る		
			三期～四期	●第二期の学区の維持を図る		

②秀峰筑波

標準規模校で推移する見込みです。

学校名	保有教室数	令和10年度の予想学級数	期別の方針		動向・課題	
			一期（R6～10）／二期（R11～15）／三期～四期（R16～25）			
秀峰筑波義務教育学校	普36 特8	普28 特10	一期	●現状の学区の維持を図る	・児童生徒数は三期中頃まで逓減し、それ以降一定で推移する ・標準規模校で推移する	
			二期	●第一期の学区の維持を図る		
			三期～四期	●第二期の学区の維持を図る		

③学園の森

大規模校から標準規模校で推移する見込みです。

学校名	保有教室数	令和10年度の予想学級数	期別の方針		動向・課題	
			一期（R6～10）／二期（R11～15）／三期～四期（R16～25）			
学園の森義務教育学校	普76 特6	普48 特15	一期	●現状の学区の維持を図る	・児童生徒数は三期中頃まで逓減し、それ以降一定で推移する ・二期初めまで大規模校、それ以降は標準規模校で推移する	・遠東南部の保護者や地域住民と十分に協議を行う必要がある
			二期	●沼崎小学校区の遠東南部の地区について学区調整を検討する		
			三期～四期	●第二期の学区の維持を図る		

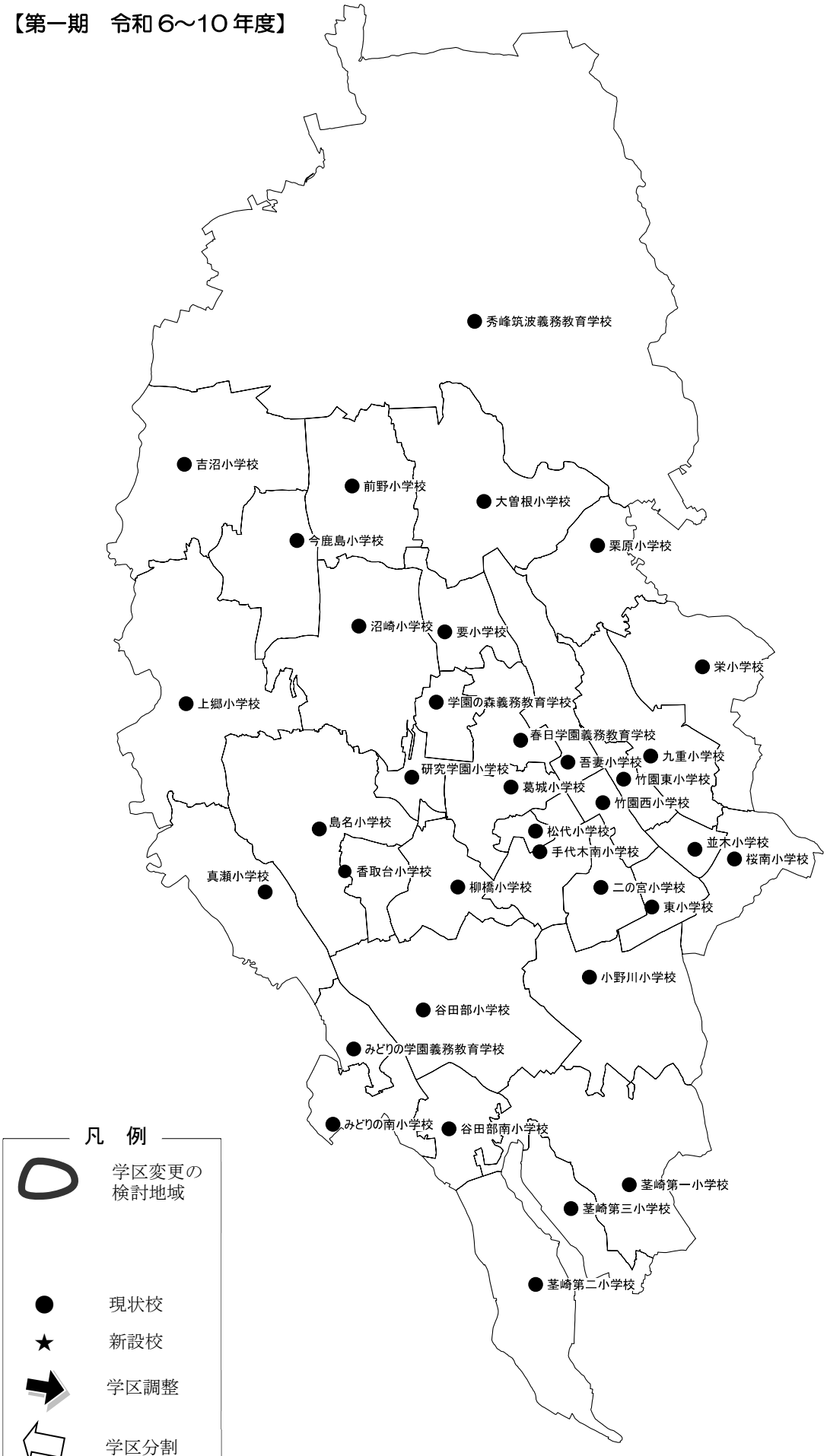
④みどりの学園

大規模校から標準規模校で推移する見込みです。

学校名	保有教室数	令和10年度の予想学級数	期別の方針		動向・課題	
			一期（R6～10）／二期（R11～15）／三期～四期（R16～25）			
みどりの学園義務教育学校	普77 特6	普64 特21	一期	●現状の学区の維持を図る	・児童生徒数は二期初めまで逓増し、それ以降逓減する ・三期中頃まで大規模校、それ以降は標準規模校で推移する	
			二期	●第一期の学区の維持を図る		
			三期～四期	●第二期の学区の維持を図る		

（2）期別の方針図

【第一期　令和６～10 年度】



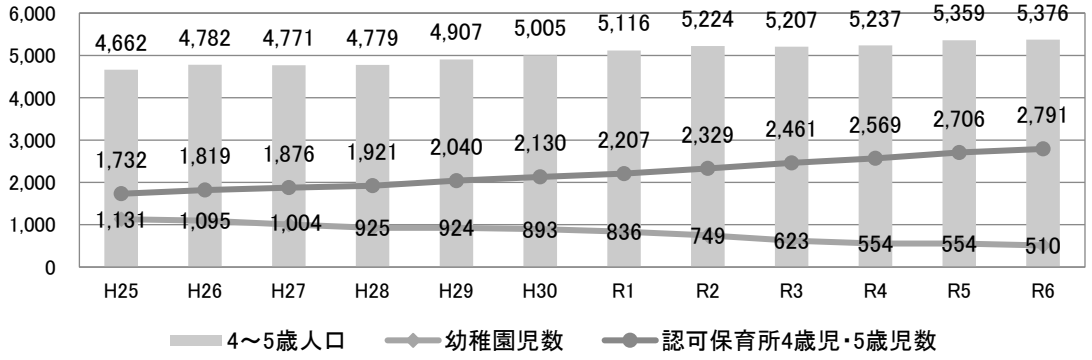
【第二期　令和 11～15 年度】

【第三期以降の小学校区イメージ】

５．幼稚園の配置方針

全国的に少子高齢化が進み人口が減少している中で、現状つくば市の人口は年々増加しており、未就学児童の人口も増加しています。しかし、共働き世帯の増加や、令和元年 10 月から実施された幼児教育・保育の無償化等により、市立幼稚園を利用する人数は減少しています。

■4 歳・５歳人口と市立幼稚園児数・認可保育所４・５歳児数（認定こども園を除く）



本市では１学級の幼児数を、満３歳の幼児の学級にあっては 18 人以下、満４歳及び満５歳の幼児の学級にあっては 30 人以下と定めて運用していますが、令和６年度現在、全 15 園中８園で、全年齢において定員の半数以下の園児数となっています。

■市立幼稚園の園児数（令和６年５月１日時点）

※着色セルは定員の半数以下

幼稚園	３歳児	４歳児	５歳児	計
大穂幼稚園	－	10	14	24
上郷幼稚園	－	5	7	12
谷田部幼稚園	－	45	55	100
島名幼稚園	－	14	26	40
手代木南幼稚園	17	15	20	52
二の宮幼稚園	－	9	15	24
桜幼稚園	－	8	13	21
竹園東幼稚園	－	10	18	28
吾妻幼稚園	－	14	16	30
桜南幼稚園	－	15	14	29
竹園西幼稚園	－	10	13	23
筑波幼稚園	－	8	12	20
東幼稚園	－	6	10	16
松代幼稚園	－	18	26	44
茎崎幼稚園	8	19	20	47

一方で、一般的に公立幼稚園は、幼稚園教育要領に基づくスタンダードな教育の実践、障害の有無等に関わらないすべての幼児への公的教育機会の保障、公的施設としての拠点機能など、様々な役割を有しているとされています。

つくば市においても将来的には少子化や人口減少が見込まれる中で、市立幼稚園については、つくば市において求められる市立幼稚園の在り方について検討し、その実現のために最適化された配置が必要となります。

そのため、市立幼稚園に対するニーズや、保育所・私立幼稚園との関係、施設整備・人員配置等の費用面なども含めた複合的な検討を今後実施していくこととし、本計画においては、個別の幼稚園の配置方針については定めず、幼稚園全体の配置について検討方針を示します。

<table>
<tr><th colspan="2">期別の方針
一期（R6～10）
／二期～四期（R11～25）</th><th>課題</th></tr>
<tr><td>一期</td><td>●市立幼稚園の在り方について検討を行い、市全体の配置方針を定める
●検討した方針に基づき、各幼稚園の園区調整・統合・移転・廃止等を進める</td><td rowspan="2">・未就学児童の教育・保育の在り方全体について、保育所・私立幼稚園等も含めた検討が必要である
・中央部エリアにおいては幼稚園が集中し、周辺部エリアにおいては園区が広大となっている状況がある
・３歳児保育や平日延長保育などを実施するに当たっては、実施のための教室や人員の確保が必要となる
・施設の老朽化がみられるため、長寿命化改修等の施設整備と合わせた検討が必要となる</td></tr>
<tr><td>二期
～
四期</td><td>●一期に検討した方針に基づき、各幼稚園の園区調整・統合・移転・廃止等を進める</td></tr>
</table>

資　料

つくば市学区審議会条例

平成元年３月29日
条例第22号

改正　平成３年３月30日条例第41号　　平成９年３月25日条例第33号
平成27年３月26日条例第18号　　平成27年12月21日条例第47号

（設置）

第１条　つくば市における学区（つくば市立の小学校、中学校、義務教育学校及び幼稚園の通学区域をいう。以下同じ。）設定の適正化を図るため、つくば市教育委員会（以下「教育委員会」という。）の附属機関として、つくば市学区審議会（以下「審議会」という。）を置く。

（平27条例47・一部改正）

（所掌事務）

第２条　審議会は、教育委員会の諮問に応じ、学区に関する事項を調査審議し、教育委員会に答申する。

（組織）

第３条　審議会は、委員25人以内をもって組織し、次に掲げる者のうちから教育委員会が任命する。

(1) 諮問に係る学区内の市立の小学校、中学校、義務教育学校及び幼稚園の長並びに父母の代表者

(2) 学識経験者

（平９条例33・平27条例47・一部改正）

（任期）

第４条　委員の任期は、当該諮問に係る事案の審議が終了し、答申したときに終わる。

（平９条例33・一部改正）

（会長及び副会長）

第５条　審議会に会長及び副会長を置く。

２　会長及び副会長は、委員の互選によって定める。

３　会長は、会務を総理し、審議会を代表する。

４　副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき、又は会長が欠けたときは、

その職務を代理する。

（平９条例33・一部改正）

（会議）

第６条　審議会の会議は、会長が招集する。

２　会長は、会議の議長となる。

３　会議は、委員の過半数が出席しなければ開くことができない。

４　議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、会長の決するところによる。

（平９条例33・一部改正）

（庶務）

第７条　審議会の庶務は、教育局において処理する。

（平３条例41・平９条例33・平27条例18・一部改正）

（委任）

第８条　この条例に定めるもののほか、審議会の運営に関し必要な事項は、教育委員会規則で定める。

（平９条例33・一部改正）

附　則

この条例は、公布の日から施行する。

附　則（平成３年条例第41号）

この条例は、平成３年４月１日から施行する。

附　則（平成９年条例第33号）

この条例は、平成９年５月１日から施行する。

附　則（平成27年条例第18号）

この条例は、平成27年４月１日から施行する。

附　則（平成27年条例第47号）抄

（施行期日）

１　この条例は、平成28年４月１日から施行する。

つくば市学区審議会委員名簿

任期：令和6年9月 18 日から答申があった日まで

No.	氏　　名	役　　職　　等	資格	備　　考
1	松本　亜希子	手代木南幼稚園園長	1号	市園長会代表
2	根本　智	春日学園義務教育学校長	1号	市学校長会会長
3	茂在　哲司	竹園東中学校長	1号	市学校長会副会長
4	中野　真粧美	学園の森義務教育学校長	1号	市学校長会副会長
5	新井　清司	谷田部小学校長	1号	市学校長会副会長
6	森田　修司	春日学園義務教育学校 PTA 会長	1号	市 PTA 連絡協議会会長
7	篠田　さゆり	竹園東中学校 PTA 会長	1号	市 PTA 連絡協議会副会長
8	野口　恵実	手代木南小学校 PTA 会長	1号	市 PTA 連絡協議会副会長
9	菊地　貴広	沼崎小学校 PTA 会長	1号	市 PTA 連絡協議会副会長
10	飯塚　康弘	茎崎第二小学校 PTA 会長	1号	市 PTA 連絡協議会副会長
11	阿部　未保子	竹園西幼稚園 PTA 会長	1号	市幼稚園 PTA 連絡協議会会長
12	古徳　君枝	筑波幼稚園 PTA 会長	1号	市幼稚園 PTA 連絡協議会副会長
13	宮本　美穂	手代木保育所父母会連絡協議会長	1号	市保育所・園父母の会連絡協議会代表
14	小森谷　さやか	つくば市議会議員	2号	市議会議員
15	小原　正彦	高見原3丁目区長	2号	区会連合会会長茎崎地区代表
16	野澤　洋夫	玉取区長	2号	区会連合会副会長大穂地区代表
17	坂本　義治	池端第一区長	2号	区会連合会副会長豊里地区代表
18	宮崎　栄二	第二小白硲区長	2号	区会連合会副会長谷田部地区代表
19	玉田　壮	桜2丁目中区長	2号	区会連合会副会長桜地区代表
20	張元　政治	小田中部区長	2号	区会連合会副会長筑波地区代表
21	沼尻　正則	宅地建物取引業協会代表（土浦・つくば支部）	2号	宅地建物取引業協会代表（土浦・つくば支部）
22	藤井　穂高	筑波大学人間系教授	2号	筑波大学
23	樋口　直宏	筑波大学人間系教授	2号	筑波大学
24	巣籠　健太郎	茨城県土浦土木事務所つくば支所次長兼事業調整課長	2号	茨城県土浦土木事務所

（注）審議会条例第 3 条（委員 25 名以内）

1号：諮問に係る学区内の市立の小学校、中学校及び幼稚園の長並びに父母の代表者

2号：学識経験者

つくば市学校等適正配置計画・指針

発行　令和７年３月
つくば市教育局学務課
〒305-0085　つくば市研究学園一丁目１番地１
電話　029（883）1111　（代表）
メール：edc030@city.tsukuba.lg.jp